

第五十回帝國議會
衆議院

治安維持法案(政府提出)委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十四年三月三日(火曜日)午前十時
四十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田 米藏君

理事 廣瀬 德藏君

理事 土屋 興君

理事 吉田 眞策君

理事 本田 義成君

理事 板野 友造君

橫山金太郎君

山榑 儀重君

杉浦 武雄君

中村 嘉壽君

內田 信也君

熊谷 巖君

山崎達之輔君

三月一日委員星島二郎君辭任ニ付其ノ

補闕トシテ清瀨一郎君ヲ議長ニ於テ選

定シ又今三日委員松浦五兵衛君降旗元

太郎君中谷貞賴君辭任ニ付其ノ補闕ト

シテ中村嘉壽君田中善立君廣瀨德藏君

ヲ就レモ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 小川 平吉君

出席政府委員左ノ如シ

內務省警保局長 川崎 卓吉君

司法政務次官 熊谷 直太君

司法參與官 岩崎幸治郎君

司法省刑事局長 山岡萬之助君

農商務政務次官 三土 忠造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

治安維持法案(政府提出)

○前田委員長 前回ニ引續キマシテ、

治安維持法案ノ委員會ヲ開キマス――

山榑君

○山榑委員 私ハ第一條ニ舉ゲラレテ

アル國體ノ變革ト云フ問題ニ付テ、モ

ウ少シ明ニ致シテ見タイト思ヒマス、

國體ノ變革ト云フ事ガ如何ニシテ可能

デアアルカト云フ問題ヲ考ヘテ見テ、我

ガ國體ハ憲法第一條ニ規定セラレテア

ル「萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」ト云フ

コトヲ、茲ニ指シテ居ラレルト思フノ

デアリマス、是ガ變革サレルト云フコ

トハ如何ニシテ可能デアアルカ、之ヲ日

本ノ歴史ニ見マスルニ、南北朝ノアノ

爭ヒノ當時ヲ考ヘテ見マスルト、天皇

ハ時ニ幽閉監禁セラレテ、或ハ島流シ

ニ遭ハレタコトハアリマス、サウシテ

政治ノ實權ハ天皇ノ許シナクシテ勝手

ニ行使セラレタノデアリマス、併ナガ

ラ其時ニ我ガ萬世一系ノ皇統ガ斷絶シ

タカト云フナラバ、斷絶シテ居ナイノ

デアリマス、再ビ醍醐天皇ガ穩岐カラ

歸ラレテ、サウシテ政權ヲ取ラレテ、依

然トシテ萬世一系ノ皇統ハ續イテ居ル

ノデアリマス、今茲ニ假ニ騷擾ガアッ

テ、畏イコトデアリマスガ、若シ左様ナ

事件ガ起ツタト致シマシテモ、再ビ日本

デハ忠臣ガ現ハレテ、サウシテ之ヲ盛返

シテ、政權ガ陛下ニ歸シタ場合ニ、矢張

吾々ハ萬世一系ノ皇統ガ連續致シテ居

ルト考ヘルノデアリマス、サウシマス

ルナラバ我ガ國體ガ變革セラレルト云

フコトハ、天皇並ニ皇族ニ危害ヲ及ボシ

テ、其皇統ヲ斷絶スル外ハ不可能デア

リマス、斯ウ云フコトニ考ヘナケレバ

ナラヌデハナイカト思ヒマス、之ヲ天

皇並ニ皇族ニ何等カ危害ヲ及ボス、即

チ幽閉或ハ監禁其他ノ方法ヲ以テ危害

ヲ加ヘズシテ、我ガ國體ヲ斷絶スルト

云フコトハ、是ハ不可能ナ事デアルト

考ヘナケレバナラヌ、サウスルト其罪

ハ刑法第七十三條ニ掲ゲラレテ居ル所

ノ罪デアリマシテ、即チ死刑ニ處スベ

キモノデアアル、而モ是ハ爲シタルモノ

ノミナラズ、又加ヘントシタルモノデ

アリマスカラ、加ヘント意思シ、企テタ

者ハ總テ死刑ニ處セラレルベキデアリ

マス、此第一條ヲ見マス、國體ヲ變革

スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シト

アリマスカラ、國體ノ變革ト云フ事ハ

先ニ申シマシタヤウナ理由ニ依ッテ、天

皇及皇族ニ對シテ危害ヲ加ヘナケレバ

是ハ不可能デアリマス、天皇及皇族ニ危

害ヲ加ヘントシテ結社スル場合ニ於テ

ハ、是ハ刑法第七十三條ノ適用ヲ受ケ

テ死刑ニ處セララルベキデアアル、然ルニ

本條ニ依リマス、十年ノ懲役又ハ禁

錮ニ處セラレルト云フコトニナツテ居

リマスガ、此點ヲ御説明願ヒタイト思

ヒマス、私ハ今ノ意味ニ於キマシテ、刑

法ニ明ニ規定ガアルノデアリマスカ

ラ、茲ニ國體ノ變革ナルモノニ付テ新

タニ法律ヲ設ケル必要ハナイト考ヘマ

ス、尙ホ山岡政府委員ハ曩ニ他ノ委員

ノ質問ニ對シテ、特別法ヲ設ケル所以

ハ、最初刑法ヲ規定シタ當時ニ於テハ、

斯様ナ罪ヲ豫想シテ居ナカッタノデア

アル、隨テ新ナ罪デアアルカラ、是ハ特別

法ヲ設ケルコトガ適當デアルト云フヤ

ウナ意味ノ御説明ヲ御加ヘニナツタ

ト思フノデアリマス、然ルニ此國體ノ

變革ト云フ運動ハ世界ニ於テモ、日本

ニ於テモ、新タニ豫想セララル、罪トハ

考ヘラレナイ、是ハ世界ノ各地ニ昔カ

ラアツタ罪デアリマス、ソレデ先程ノ意

味ニ於テ本條ヲ作ルコトハ、却テ國體

ヲ變革スル者ノ罪ヲ輕減スルヤウニナ

ル、サウシテ是ハ不必要ナル法律デハ

ナイカト思ヒマスガ、御所見ヲ伺ヒタ

イ

○山岡政府委員 御質問ノ趣旨ハ、刑

法ノ危害ヲ以テ國體ノ變革ト云フ事テ

防止スルニ十分デアアル、斯ウシテ御趣

旨ノ御質問デアリマス、ソレト本案第一條ノ關係ハ全ク間髪ヲ容レナイ關係ニナルノデ、御説ノ如キコトハ御尤ト思ヒマスガ、併ナガラ此第一條ハ刑法ノ危害罪トハ全ク趣ヲ異ニシテ居リマスル譯デアリマス、其主體ハ刑法ニ於キマシテハ陛下ノ玉體、若クハ皇族方ノ御身體ニ對シテ直接ニ危害ヲ加ヘル、斯ウ云フコトガ刑法ノ危害罪ノ本體デアリマス、ソレ故ニ直接ニ危害ヲ加ヘルト云フ事ノミニ法文ガアリマスナラバ、只今ノ疑問ハ御持チニナラナカッタラウト思フデアリマス、然ルニ只今御説明ノ如ク刑法ハ危害ヲ加ヘ、又ハ加ヘントシタル者デアリマスルノデ、是ニ於テ本案ノ第一條ノ關係ハ甚ダ密接シテ來ル譯デアリマス、刑法ニ於ケル危害ヲ加ヘルト云フコトハ只今申上ゲマシタヤウニ、皇城ノ實體ヲ害スルコトニナル、其實體ニ害ヲ加ヘントスルト云フノデアリマシテ、所謂豫備隱謀デアリマス、或ハ準備ヲ致シ、若クハ相談スルノデアリマス、相談スルト云フノ例ヲ以テ本條トノ關係ヲ申上ゲレバ、一番低イ所即チ隱謀デアリマス、犯罪ノ一番低イ所デアリマス、ソコデ危害ヲ加ヘルト云フ隱謀ヲスルト云フコトハ皇城ヲ害スル、直接ニ害スルト云フコトノ隱謀デゴザイマス、所ガ此法ニナリマスト云フトサウ云フ風ナ事トハ違ッテ、即チ萬世一系ノ天皇ガ統治スルト云フ關係ヲ破壊スルト云

フノデアリマス、陛下ノ玉體トカ何トカ云フ事トハ關係ハ無イノデアリマス、ソコデ更ニ進ンデ御質問ノ趣旨ハ、總テノ皇位ニ御坐リニナル方ニ對シテト云フ御話モアリマシタケレドモ、兎ニ角サウ云フコトニ致シマシテモ、何レモ此皇城ヲ直接ニ害スルト云フ問題ガ刑法デアリマス、此法ハサウニ非ズシテ、國體ハ天皇ガ之ヲ統治スル、其統治ノ關係ヲ破壊スレバ宜イノデアリマスカラ、刑法ノ危害罪ト云フ事トハ全ク其原因ガ違ッテ居リマス、刑法ノ危害罪ノ方デ行キマスト云フト、萬世一系ノ天皇ト云フ其事ニ對シテ直接ニ害ヲ與ヘルト云フノガ刑法デアリマス、此法ハ天皇ガ我國ヲ統治サレル、其連絡ノ關係ヲ破壊スルノデアリマス、彼ト是トハ其保護スル所ガ違ッテ居リマス、今一度繰返シテ申シマスト云フト、萬世一系ノ天皇ト云フ天皇ニ對シテノ危害ヲ加ヘルノガ刑法デアリマス、若クハ加ヘントスル、此法案ノ保護スル所ハ天皇ガ我國ヲ統治スル、其連絡ヲ破壊スルト云フノガ此法律ニ依ッテ保護セントスルモノデアリマス

○山榊委員 只今ノ御説明ハ斯様ニ伺ッテ置イテ宜シウゴザイマス、統治權ノ連續、是ハ意味ノ問題デアル、サウ云フ意味ヲ對象トシテ之ヲ變革セントスル者ハ本法ニ依リ、其統治權ヲ保持シテ居ラル、所ノ天皇ニ對シテ危害ヲ加ヘル事ヲ目的トシテ居ル場合ニハ、刑法ノ規定ニ依ルモノデアル、斯様ナ意味ニ簡單ニ諒解シテ宜シウゴザイマス

○山岡政府委員 大體ニ於テ左様デアリマス

○山榊委員 サウシマス私ガ前ニ申シマシタヤウニ、此統治權ノ連續ト云フ事ト、萬世一系ノ天皇ノ皇統ノ連續ト云フ事トハ日本ニ於テハ同一ニ見ナケレバナラナイ、法令上如何ニナッテ居ルカ知リマセヌガ、私共ノ常識上ノ國民トシテノ信念ニ於テハ左様ニ見ナケレバナラナイノデアリマス、統治權サレバ連續シテ居レバ天皇ノ皇統ハ時々切レテモ差支ナイト云フコトハ、私共ハ毛頭考ヘルコトハ出來ナイノデアリマス、外國ニ於テハ左様ナ事ガアリ得ルカモ知レマセヌケレドモ、日本ニ於テハ是ハ考ヘルコトノ出來ナイ吾々ノ信仰デアルト私ハ思フノデアリマス、サウ致シマスナラバ此二ツノモノヲ別々ニ考ヘルコトハ出來ナイノデ、一體トシテ考ヘテ行カナケレバナラス、ソレガ日本ノ國民ノ信念ノ獨特ナル所以デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシテ其意味ニ於テ此統治權ヲ斷絶スルト云フコトハ總テ萬世一系ノ皇統ヲ斷絶スルト云フ事デアル、サウシテ萬世一系ノ天皇ノ此皇統ヲ斷絶スルト云フ事ハ、矢張依然トシテ統治權ノ連續ヲ斷絶スルト云フ風ニ吾々ハ考ヘナケレバナラヌト思フノデアアル、ソレガ日本

國民ノ特有ノ信仰ナノデアリマス、サウシテ此統治權ノ主體ヲ斷絶シテ行クト云フコトハ、日本ニ於テ如何ニシテ可能デアルカト云フコトヲ言フナラバ、先程申上ゲタヤウニ天皇ニ危害ヲ加ヘル、併ナガラ直ニ他ノ皇族ヲ以テ之ヲ繼承サレルコトガ出來マスカラ、根本的ニ破壊スル爲ニハソコニ危害ヲ加ヘナケレバナラヌ、サウスレバ茲ニ初メテ萬世一系ノ天皇ノ統治シタモノト云フ我國ノ國體ガ破壊サレル、其處マデ達シナケレバ是ハ斷ジテ破壊サレルモノデハナイ、如何ニ逆賊ガ現ハレマシテ一時天下ヲ闇黒ニスルト云ヒマシテモ、此萬世一系ノ天皇ノ此皇族ガ何處カニ在マセバ、又忠臣ガ再ビ起ッテ元ニ復ヘスモノデアルト云フ信念ヲ吾々ハ持ッテ居リマスガ故ニ、吾々日本ノ國體ヲ誇リト致シテ居ルノデアリマス、可能デアルカ不可能デアルカト云フコトヲ考ヘルナラバ、ドウシテモ私ノ述ベマシタヤウニ、此皇室ヲ斷絶スルコトニ努力セザル限り不可能デアリマス、サウシテ是ハ七十三條ノ規定ニ依ルベキモノデアルカラシテ、茲ニ規定テ他ノ方面カラ考ヘマスト云フト、天皇並ニ皇族ニ危害ヲ加ヘントスル所ノ罪ニ付テハ、刑法第七十三條ヲ適用スル、但シ統治權ノ主體ヲ斷絶セントスル者ハ此治安維持法ニ依ッテ十年ノ刑ニ處スル、サウスルト日本ノ統治權ノ

主體ヲ破壊セントスルト云フ罪ハ十年
デアルト云フコトハ、果シテ適當ナル
罪デアルカ、左程ニ日本ノ統治權ノ主
體ヲ破壊スルト云フコトガ輕微ナモノ
デアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、此二
點ヲ伺ヒタイ

○山岡政府委員 只今御述ベニナリマ
シタ皇統連綿トシテアルベキコトハ我
國民ノ信念デアリマシテ、此點ニ於テハ
吾ニ於テモ洵ニ御同感デアリマス、
ソレデアリマスカラシテ我國ノ如キニ
國體ノ變革ヲ爲ス者アリヤ否ヤト申シ
マシタナラバ、恐ラク只今ノ御説明ノ
如ク、斯様ナル事ハ豫想スル必要ガナ
カラウデハナイカト云フノガ大體デア
ラウト思フノデアリマス、ソコデ規定
ヲシナイデモ宜イデハナイカ、斯ウ云
フコトニナリマス、ソレハ丁度刑法ノ
危害罪ト云フ規定ガ必要デアルヤ否ヤ
ト云フコトヲ論ズルニ稍、似タモノデ
アリマス、刑法ノ七十五條以下ニ於テ
保護スルガ如キ一體規定ガアッテハナ
ラヌト云フ位ニ考ヘネバナラヌノデア
リマス、併ナガラ矢張皇城ガ大切デア
レバアル程嚴重ニ規定シテ置カネバナ
ラス、仍テ刑法ニ於キマシテモ總テ皇
室ニ對スル關係ニ付テ規定ヲ嚴重ニ致
シテ居リマス、ソレト同ジ事ニ我ガ國
體、政體ト云フ事ヲ變革スルコトノ悞
アリト云フコトヲ茲ニ存スル場合ニ於
テ立法ヲシナケレバナラス、斯ウ云フ
事ニ際會致スト云フト、通常豫想スベ

カラザル事デモ總テ之ヲ包括シテ、茲
ニ之ヲ明示シテ、國民ニ對シテ道德上
ノ指導ヲ爲スト云フコトガ矢張必要ニ
ナルノデアリマスルカラシテ、只今ノ
御説明ノ通り、吾々ハ斯ノ如キ事ハ大
體ニ於テ無イ事デアル、即チ皇統斷絶
ナドト云フ事ハ想像スベカラザル事デ
アルト云フ御説ニハ全ク御同感デアリ
マス、唯、併ナガラ統治ノ主體、即チ天
皇ト統治ノ關係ト云フモノトノ連絡ヲ
引離スト云フコトガ、即チ國體ノ變革
ニナルノデアリマス、サウ云フ事ト直
接ニ刑法ニ於テ保護スル所ノ公益ト云
フモノトハ全然違フノデアリマス、故
ニ茲ニ之ヲ規定シテ置カネバナラス、
而シテ此國體ノ變革ヲ惹起スノニハ、
只今ノ御説明デハ有ユル方面ノ危害罪
ヲ犯サネバナラヌト云フ御説デアリマ
スルガ、サウデハナイノデアリマス、此
所ニ在リマスルノハ統治ノ主體ヲ萬世
一系ノ天皇ニ置カナカッタナラバト云フ
意味デアリマス、ソレヲ引離スルコト
ト、刑法ニ於ケル有ユル方面ノ危害罪
ヲ犯サナケレバナラヌト云フノトハ趣
ガ違ヒマス、ソレガアリマスルカラシ
テ、刑法ト比較致シマスルト云フト、此
方ガ輕イ重イノ問題ヲ致シマスルト行
爲ノ點ニ於テ輕イノデアリマス、犯罪
ノ目的トシタ點ニ於テハ、只今御説明
ノヤウニ皇統連綿トシテノ問題ト、國
體ガ其儘ニ持續サレルコト、ハ、大マ
カニ申シマスト並行シテ來ルノデアリ

マス、此所ニ謂フ所ノ行爲ハ極ク低イ、
詰リ單純ニ之ヲ目的トシテ、刑罰ヲ科
スルト云フダケノ話デアリマス、斯ウ
言フ意味ニ於テ此刑ヲ十年以下ニスル
ト云フコトガ敢テ當ラナイトハ考ヘマ
セヌ、是ガモット進ンデ行キマスと云フ
ト、即チ刑法ニ於テ保護スル關係ニナ
リ、若クハ此法律ニ於テハソレ以上ノ
事ハ考ヘテナイト云フコトヲ段々申上
ゲル、即チ此法律ハ公益ヲ直接害スル
所ノ行爲ニ付テ考ヘテ居ルノデハナ
イ、サウ云フ事ノ悞アル國體、政體ノ變
革、私有財産制度ノ否認デアリマスル
ガ、非常ニ重イ事ガアルカラシテ、此大
體ヲ申セバ大多數ニ依ッテ行ハル、著
手以前ノ行動ヲ示スノデアッテ、刑法第
七十三條以下ノ如キ場合ニ於テモ之ヲ
取締ル必要ガアル、其點ニ於テノ取締
關係デアルト云フコトヲ此前ニ於テモ
申上ゲタ次第デアリマス

トスルナラバ、吾々國民ガ常識ヲ以テ
考ヘテ居リマスル信念其モノ、主權ノ
所在——統治權ノ所在ト云フモノハ、
萬世一系ノ皇統ト云フモノト離スベカ
ラザルモノデアッテ、此萬世一系ノ皇統
ガ斷絶セラレタナラバ、日本國家ハ無
クナッテシマフコトノ吾々ハ強イ信念
ヲ持ッテ居ルノデアリマスルガ、其信念
ト矛盾致シマスガ、觀念ノ上ニ於テハ
二ツニ別ケテモ、是ハ一體トナッテ並行
シテ進ムベキモノデアルト云フノガ、
吾々國民ノ信念デアリマスルガ、是ト
甚ダ矛盾ヲ致シマス、サウシテ法律ハ
別ニ統治權上斷絶セラル、悞アリト豫
想シテ斯様ナ法律ヲ御設ケニナル、ドウ
モ私共ニ受取り難イノデアリマスル
ガ、別ニ天皇ニ何等關係ナクシテ統治
權ノ主體ガ斷絶シ得テモ、尙ホ萬世一
系ノ皇統ト云フモノハ信ジテ居ル、天
皇ノ系圖ハ存シテ居ルカ知ラスカ、統
治權ノ主體ト云フ所ノ天皇ハ續カヌコ
トニナルノデアリマスガ、ソレハ如何
ニ御考ニナルカ

○山岡委員 ソレデハ日本ノ法律ニ於
テハ萬世一系ノ皇統ト云フモノト、統
治權ノ主體ト云フモノト、此二ツノモ
ノハ觀念ノ上ニ於テハ別ガアルカモ知
レマセヌガ、其異タル觀念ノモノガ、
別々ニ變革シ得ラレルモノト豫想シテ
オキデニナルノデアリマセウカ、其點
ヲ簡單ニ御答ヲ願ヒタイト思フ

○山岡政府委員 別々ノモノト考ヘテ
居リマス

○山岡委員 サウ致シマス別々ニ變
革シ得ラレルモノト御考ニナッテ居ル

○山岡政府委員 洵ニ御質問ノ趣旨ハ
重大ナル事デアリマシテ、隨テ此點ニ
付テハ些ノ過リガアッテハナラヌ次第
デアリマス、私共ノ考ヘル所ト只今御
述ニナッタ所トハ變ッテ居ラヌノデアリ
マス、道德上ニ於テ、事實ノ關係上ニ於
テ、歴史ノ關係ニ於テ、只今ノ御質問ト
全ク同様デアリマス、唯、併ナガラ法律
論トシテ陛下若クハ皇族方ノ御身體ニ

對スル此事ハ刑法ノ危害罪ニ依ッテ保護スルノデアリマス、此法律ハ憲法ニ明ニ「萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」ト斯ウ云フ統治ノ連絡關係デアリマス、統治ノ連絡關係ヲ破壞スルト云フコトガ國體ヲ破壞スルコトカラシテ、法律關係ニ於テハ別ニ現スニ足ラヌト思フノデアリマス、事實ノ上ニ於テ考ヘマスト云フト御説ノ通りニナリマス、法律關係ニ於テ二者ノ區別ハ私ハ明瞭ダト考ヘマスガ、段々述べマシタ點ハ左様ナ點デアリマスカラ、歴史的、道德的、或ハ事實上ノ關係カラ見タ事ト之ヲ混同致サヌヤウニ致サナケレバナラヌト思ヒマス、私ノ只今マデ申上ゲマシタ事ハ、何卒左様ニ御丁承ヲ願ヒマス

○山榊委員 サウ致シマス私共國民ノ日本ノ統治權ニ關スル信念、並ニ萬世一系ノ皇統ニ關スル信念ニ付テ御同感デアルト云フコトデアリマスルカラ、私ハ非常ニ之ヲ喜ブノデアリマスガ、觀念ノ上ニ於テ法律的ニ觀ルト、此二ツノ觀念ガ異ッテ居ル、是モ私ハ同感デアリマス、異ッテ居ル觀念デアルカラシテ、之ヲ別ニ法律的ニ扱ッタト云フ御説明デアルト思ヒマス、サウスルト重ネテ御尋致シマスガ、其統治權ノ主體ヲ變革スルト云フ意味ニ付テノ刑法ノ規定ハ、何等無ッタノデアリマスカ、此事ヲ伺ヒタイ

○山岡政府委員 此點ノ皇室ニ對スル罪ニ於キマシテハ、不敬ノ行爲ニ對シ

マシテハ不敬罪ニナリマス、ソレカラ暴動ヲ以テ致シマスレバ内亂罪ニナリマス、サウ云フ關係以外刑法ニハゴザイマセヌ、ソレカラ尙ホ出版、新聞等ニ於テ左様ナ事ヲ述べマスレバ、國憲ノ紊亂、若クハ朝憲紊亂ト云フコトニ依ッテ處罰サル、コトニナルノデアリマス

○山榊委員 此問題ノ質問ハ大體政府ノ意ノ在ル所ハ了承致シマシタガ、併シ私ハ賛成スルト云フノデアリマセヌガ、質問ハ此程度ニ止メテ私ノ質問ハ終リタイト思ヒマス、先日確カ谷原君ト、後ニ杉浦君ノ質問ニ對シテ、小川司法大臣ノ答辯セラル、所ニ依リマス、產業ヲ公營ニ移スト云フコトハ、若シ其場合ニ於キマシテ賠償ヲスルナラバ差支ナイト考ヘル、ソレヲ賠償ニ依ラズシテ產業ヲ公營ニ移スト云フコトハ宜シクナイ、其產業ヲ公營ニ移スト云フコトノ範圍ヲ更ニ明ニシタイ、其產業ヲ公營ニ移スト云フコトハ主ナル產業ヲ比較的殆ド網羅シテ公營ニ移ス、此場合ニ於キマシテモ尙ホ賠償スレバソレデ差支ナイト云フ御答ニナッタヤウニ記憶致シテ居リマスガ、唯今モ左様ニ御考ニナッテ居ルト心得テ宜シウゴザイマセウカ

○小川國務大臣 大體ニ於テ御質問ノ通りデアリマス、前回デアリマシタカ此賠償ノ事ニ付テノ御質問ガ他ノ委員カラ出マシタノデ、賠償スレバ宜イト云フコトハ、賠償其モノハ所有權ノ制度ヲ認メルカラ宜イノデアルカラ、本法ノ規定ハ私有財産制度ヲ否認スル者ヲ罰スルノデアリマスカラ、所有權ヲ根本カラ否認シテ、人ノ財産ヲ取上ゲテ公營ニ持ッテ行クノハ宜シクナイ、隨テ認メテ賠償スル分ハ差支ナイト云フ意見デアリマス、然ラバ賠償ヲセヌデ取ッタ場合ハドウデアアルカト云フコトガ出タノデアリマス、都市計畫等ノ場合ニ僅カノ土地ヲ賠償ヤラズニ市有ニシテシマフコトハ、何人ガ考ヘテモ明瞭ナ話デアリマスガ、個人ノ所有權制度ヲ否認シテ取上ゲルノデナイ、即チ憲法ニアリマス公益ノ爲ニ一部ノ土地ヲ取上ゲルノデアリマスカラシテ、私有財産制度ヲ否認シテ所有權ヲ無視シテヤルノデナイ、所有權ハ尊重シテ居ッテ、色ミナ必要ノ爲ニヤルノデアリマスカラ、是ハ本法ノ意味デナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○山榊委員 ソレデハ經濟關係ニ於テハ、生産ト消費ト二ツノ方面、生産經濟ニ於テハ之ヲ公營ニ移ス、消費經濟ニ於テハ個人ノ自由ニ消費ヲ認メル、斯ウ云フコトヲ考ヘテ、サウシテ生産ノ主ナルモノヲ公營ニ移ス、現在ノ露西亞ニ於キマシテモ總テバナイ、主ナルモノヲ公營ニ移ス、其主ナルモノヲ公營ニ移スト云フ場合ニ、問題ガ將來ニ於テ存在シテ差支ナイト云フ御意見デアリマセウカ

○小川國務大臣 此總テノ生産ノ機關ヲ移スト云フコトデアリマシタガ、生産ノ機關ヲ移セバ財産モ共ニ移スト云フ御考デアラウト思ヒマスガ、サウ云フ根本カラ所有權ノ制度ヲ否認セズニ實行シ得ルコトハ私想像シテ居ラス、根本カラ所有權ヲ無視シテ人ノ財産ヲ否認シテ始メテ實行ノ出來ルコトデアッテ、是ハ人民カラ取上ゲテ或者ニ移スト云フコトハ否認シナケレバ實行ガ出來ヌ、若シサウ云フ事ガ出來ルコトデアレバ、本法ニ於テハ私有財産制度ヲ否認シナケレバ宜イノデアリマス

○山榊委員 ソレデハ短ク伺ッテ置キタイ、生産機關ノ主ナルモノヲ殆ド公營ニ移シ、サウシテ消費ハ個人ノ自由ニスル、斯ウ云フコトニナル、サウスルト自己ノ消費ニ於テ或ル財産制度ヲ認メラレタ、サウ云フ理想ヲ假定致シマシテ、サウシテ之ガ司法大臣ノ見ラル所デハ、私有財産ヲ否認スルカ否ヤ

○小川國務大臣 ドウモ假定ノ御話ガ能ク分リマセヌガ、總テノ生産ヲ公營ニスル、例ヘバ製造工場ヲ取上ゲテシマフ、又田地畑ヲ取上ゲテシマフ、物ヲ生産スルモノハ皆公有トカ國有ニスル場合デアリマス、サウ云フコトハ今日ノ私有財産制度ト云フモノヲ根本カラ無視シテ、殆ド總テノ法律勅令モ皆止メテシマハナケレバ出來ナイ事デアリマス、サウ云フ場合ハ丁度露西亞ノヤウナモノニナルト思ヒマス、サウ云フ場合ト云フモノハ根本カラ所有權ヲ

否認シナケレバナラス、私ハサウ云フ事ハアリ得ルモノデナイト思ヒマス、想像ノ出来ナイコトデアルト思ヒマス、故ニ或ル部類ノ生産工場ナラバ、工場ト云フモノハ人民ノ衣食住ニ一番大切ナ著物デアアル、然ルニ個人ガ大變ニ製造シテ困ル、是ハ皆一箇所ニ集メテ一種ノ公營ニシヤウトカ國營ニシヤウト云フコトガアツテモ、私有財産ヲ破壊シテ人ノ物ヲ沒收シテ取ツテシマウト云フノデナイ、私有財産ハ認メテ、經濟政策ノ上カラ所有權ノ形ニ變更ヲ加ヘ、其財産權ト云フモノヲ此方ノ方ニ移シテ來ル、財産權ハ認メテ居ルカラ、之ヲ移スニ付テハ相當ノ金ヲ與テヤル、其範圍分量ニ於テ増シマシテモ、性質ガ變ラナケレバ宜シイト云フ考デアリマス

ナイト云フ御意見ノヤウニ拜承致シマス、モウ一際ノ所デ突破スレバ私有財産否認ダト云フコトニ考ヘマス、ソレハ其程度ニ止メテ置キマシテ次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、今日社會ノ思想ガ惡化シテ、非常ニ利己的ニナツタト言フテ憂ヘテ居ル人ガ澤山アリマス、併ナガラ社會ノ人ガ利己的デアルト云フコトハ敢テ今日ニ始ラナイ、資本主義竝ニ私有財産制度ノ根本ハ利己主義カラ出發シテ居リマス、ソレカラ道德家ノ取遣ノ爲ニ人心ガ墮落腐敗シツ、アルコトヲ憂ヒマシテ、サウシテ人間ノ最高理想トシテハ、人間ガ人格ヲ自ラ認メ、又他人ノ人格ヲ認メ、是ガ純化サレテ神ノ如クナル時代ガ來ルナラバ、社會ハ斯様ナ私有財産制度並ニ資本主義ノ制度ハ自然の必要ガ無クナル、サウシテ社會ガ理想的ノ社會デアアル、斯様ニ考ヘル所ノ、眞面目ナ立派ナ人格者道德家ガ世ノ中ニハアルヤウデアリマス、サウ云フ人ガサウ云フ人間ノ最高理想トシテノ進化ヲ目標ト致シマシテ、是ガ實現ヲ期スル爲メニ、茲ニ結社ヲスル場合ニ於テ之ヲ考究スルト云フコトナラバ、本法ニ觸レナイト云フ御答辯デアアル、併シ考究スルニ非ラズシテ、之ヲ實現スル爲メニ出來ルダケ眞ニ自己ニ目醒メ、社會ニ目醒メテ、本當ニ純化サレタル佛ノ心持ヲ持ッヤウニ、教育的、宗教的ニ奮闘努力スルト云

フ爲メニ結社ヲ作ツテ、盛シニ日本國內ニ運動ヲ始メタトスレバ、此人間最高ノ理想カラ出發シタ所ノ運動ハ、本法ニ觸レルモノデアリマセウカ

○小川國務大臣 餘程御質問ガ微妙ナ關係ニ立入ッテ行キマスノデ、法律ノ解釋トシテハ、餘程注意シテ申上ゲナケレバ過チヲ來スト思ヒマス、只今御説ノ通り、理想トシテハ色ミナ理想ガ昔カラアルノデアリマス、近頃ハ西洋カラモ澤山來テ居リマスガ、日本ニ於テモ支那ニ於テモ一種ノサウ云フヤウナ説ヲ持ッ人ガ大分アリマシテ、政府ノナイ方ガ人類トシテハ幸福デアルト云フヤウナ説ハ東洋ニモアリマス、サウ云フ學說ハ決シテ實行ガ出來ナイノデ、餘リ流行ラズニ今日マデ參ッタノデアリマシテ、サウ云フコトデアレバ今日デモ大シタ害ハ無イト思ヒマス、私個人トシテモサウ云フコトハ面白イト思ッテ研究モシテ居リマス、故ニ今ノヤウナ理想郷ヲ現出スルコトヲ研究スルト云フ學術研究、或ハ意見ノ交換ト云フコトデアリマスレバ、無論一向差支ナイノミナラズ、却テ私共ハ結構ナル事ト思ヒマス、サウ云フ理想ヲ現實ニ調和スルコトヲ圖ッテ行クカラコソ、始めテ人類社會ハ進歩スルノデアリマス、併ナガラソレヲ實行シヤウト云フ考デ相談シタリ集ッタリシテ、今日之ヲ實行シヤウト云フコトニナレバ、此法律デ罰シナケレバナラスノデアリマス、現

ニ共產主義者等ノ仲間ニ於テ、ソレヲ人類ノ爲メニ宜イト信ジテヤッテ居ル者モアリマス、之ヲ實行シヤウト云フ爲ニ集會ヲシタリ、結社ヲシタリ、相談ヲシタリシマスルト罰スル、所謂研究ノ範圍ヲ脱シテ實行スルコトニナレバ、罰スルト云フ風ニ申上ゲルヨリ他ハナイト思ヒマス

○山樺委員 サウ云フ理想ヲ懷ク者ガアリマシテモ本法ニハ觸レナイ、之ヲ研究スル者ガアツテモ本法ニハ觸レナイ、之ヲ研究スル爲メニ結社シテモ是ハ本法ニ觸レナイ、但シ是ガ實行ヲ企テルナラバ本法ニ觸レルト云フコトデアリマスガ、此實行ヲ企テルト云フコトニ又二様アル、宗教家ノ使命道德家ノ使命ハ、一人デモサウ云フ人ヲ多ク作ッテ、是ガ實現ヲ期スルノガ目的デアリマシテ、唯、サウ云フ思想ヲ懷イテ自ラ樂シンデ居ルノデハ、是ハ眞ノ宗教家、道德家ト云ヘナイト思ヒマス、是ガ實現ヲ期スル爲メニ説教ヲシ、一人デモ自分ノ味方ニ加ハル者ヲ殖スト云フコトガ目的デアアル、サウスレバ左様ナ宗教家道德家ガ之ヲ實現セシメンガ爲メニ爲シツ、アル説教、或ハ之ニ加盟ヲ勧誘スルト云フヤウナ行動ハ、是ハ本法ニ觸レルモノデアリマセウカ

○山岡政府委員 問題ガ細カクナリマスカラ、私カラ御答辯ヲ致シタイト思ヒマス、今日現實ニ之ヲ行ハントスルナラバ、是ハ理想デハナイ、現今ノ社會

○山樺委員 サウスレバ此問題ハ斯ウ云フコトニナル、生産ノ部分ヲ公營ニ實際ニ移シテ行ク場合ニ賠償ヲスル、其賠償サレタモノニ何等カノ經濟的ノ價值ヲ持ッコトガ出來ルナラバ、ソレハ經濟財産ノ私有デナイカラ差支ナイ、ソレヲ重ネテ行キマスト可能ナル範圍ガ極メテ少クナツテシマフノデアリマス、其少クナツテシマフ時ニ於テハ、私有財産ガ破壊サレタカ否カノ境目ニナリマス、其境目ノ問題ハ極メテムツカシイ問題デアリマスカラ、若シソコマデ境目ヲ突破シナケレバナラス際ドイ所マデモ國有ニ移シテモ、其時ハ差支

ナイト云フ御意見ノヤウニ拜承致シマス、モウ一際ノ所デ突破スレバ私有財産否認ダト云フコトニ考ヘマス、ソレハ其程度ニ止メテ置キマシテ次ノ問題ニ移リタイト思ヒマス、今日社會ノ思想ガ惡化シテ、非常ニ利己的ニナツタト言フテ憂ヘテ居ル人ガ澤山アリマス、併ナガラ社會ノ人ガ利己的デアルト云フコトハ敢テ今日ニ始ラナイ、資本主義竝ニ私有財産制度ノ根本ハ利己主義カラ出發シテ居リマス、ソレカラ道德家ノ取遣ノ爲ニ人心ガ墮落腐敗シツ、アルコトヲ憂ヒマシテ、サウシテ人間ノ最高理想トシテハ、人間ガ人格ヲ自ラ認メ、又他人ノ人格ヲ認メ、是ガ純化サレテ神ノ如クナル時代ガ來ルナラバ、社會ハ斯様ナ私有財産制度並ニ資本主義ノ制度ハ自然の必要ガ無クナル、サウシテ社會ガ理想的ノ社會デアアル、斯様ニ考ヘル所ノ、眞面目ナ立派ナ人格者道德家ガ世ノ中ニハアルヤウデアリマス、サウ云フ人ガサウ云フ人間ノ最高理想トシテノ進化ヲ目標ト致シマシテ、是ガ實現ヲ期スル爲メニ、茲ニ結社ヲスル場合ニ於テ之ヲ考究スルト云フコトナラバ、本法ニ觸レナイト云フ御答辯デアアル、併シ考究スルニ非ラズシテ、之ヲ實現スル爲メニ出來ルダケ眞ニ自己ニ目醒メ、社會ニ目醒メテ、本當ニ純化サレタル佛ノ心持ヲ持ッヤウニ、教育的、宗教的ニ奮闘努力スルト云

フ爲メニ結社ヲ作ツテ、盛シニ日本國內ニ運動ヲ始メタトスレバ、此人間最高ノ理想カラ出發シタ所ノ運動ハ、本法ニ觸レルモノデアリマセウカ

○小川國務大臣 餘程御質問ガ微妙ナ關係ニ立入ッテ行キマスノデ、法律ノ解釋トシテハ、餘程注意シテ申上ゲナケレバ過チヲ來スト思ヒマス、只今御説ノ通り、理想トシテハ色ミナ理想ガ昔カラアルノデアリマス、近頃ハ西洋カラモ澤山來テ居リマスガ、日本ニ於テモ支那ニ於テモ一種ノサウ云フヤウナ説ヲ持ッ人ガ大分アリマシテ、政府ノナイ方ガ人類トシテハ幸福デアルト云フヤウナ説ハ東洋ニモアリマス、サウ云フ學說ハ決シテ實行ガ出來ナイノデ、餘リ流行ラズニ今日マデ參ッタノデアリマシテ、サウ云フコトデアレバ今日デモ大シタ害ハ無イト思ヒマス、私個人トシテモサウ云フコトハ面白イト思ッテ研究モシテ居リマス、故ニ今ノヤウナ理想郷ヲ現出スルコトヲ研究スルト云フ學術研究、或ハ意見ノ交換ト云フコトデアリマスレバ、無論一向差支ナイノミナラズ、却テ私共ハ結構ナル事ト思ヒマス、サウ云フ理想ヲ現實ニ調和スルコトヲ圖ッテ行クカラコソ、始めテ人類社會ハ進歩スルノデアリマス、併ナガラソレヲ實行シヤウト云フ考デ相談シタリ集ッタリシテ、今日之ヲ實行シヤウト云フコトニナレバ、此法律デ罰シナケレバナラスノデアリマス、現

ニ共產主義者等ノ仲間ニ於テ、ソレヲ人類ノ爲メニ宜イト信ジテヤッテ居ル者モアリマス、之ヲ實行シヤウト云フ爲ニ集會ヲシタリ、結社ヲシタリ、相談ヲシタリシマスルト罰スル、所謂研究ノ範圍ヲ脱シテ實行スルコトニナレバ、罰スルト云フ風ニ申上ゲルヨリ他ハナイト思ヒマス

○山樺委員 サウ云フ理想ヲ懷ク者ガアリマシテモ本法ニハ觸レナイ、之ヲ研究スル者ガアツテモ本法ニハ觸レナイ、之ヲ研究スル爲メニ結社シテモ是ハ本法ニ觸レナイ、但シ是ガ實行ヲ企テルナラバ本法ニ觸レルト云フコトデアリマスガ、此實行ヲ企テルト云フコトニ又二様アル、宗教家ノ使命道德家ノ使命ハ、一人デモサウ云フ人ヲ多ク作ッテ、是ガ實現ヲ期スルノガ目的デアリマシテ、唯、サウ云フ思想ヲ懷イテ自ラ樂シンデ居ルノデハ、是ハ眞ノ宗教家、道德家ト云ヘナイト思ヒマス、是ガ實現ヲ期スル爲メニ説教ヲシ、一人デモ自分ノ味方ニ加ハル者ヲ殖スト云フコトガ目的デアアル、サウスレバ左様ナ宗教家道德家ガ之ヲ實現セシメンガ爲メニ爲シツ、アル説教、或ハ之ニ加盟ヲ勧誘スルト云フヤウナ行動ハ、是ハ本法ニ觸レルモノデアリマセウカ

○山岡政府委員 問題ガ細カクナリマスカラ、私カラ御答辯ヲ致シタイト思ヒマス、今日現實ニ之ヲ行ハントスルナラバ、是ハ理想デハナイ、現今ノ社會

制度ヲ破壊スルコト云フコトニナリマス、理想ト云フコト勿論理想ヲ現實ニ速ニ行フト云フ理想カモ知レマセヌガ、理想ハ大體ニ於テ高邁ナモノデアアル、遠キ將來ヲ見テ、大キナ或モノヲ描キ、之ニ向ッテ著々進ンデ行カウト云フノガ理想デアラウト思ヒマス、今ガ今茲ニ或ル制度ヲ自分ノ考通リニシテシマフト云フコトニナリマス、現實ニ在ノ制度ヲ破壊スルコトニナリマス、御言葉ハ理想ノ方カラ用キラレテ居リマスケレドモ、ソレハ即チ現在ヲ破壊スルコトニナリマス、之ニ牴觸スルコトニナラウト思ヒマス、ソコデ此法律ノコトヲ特ニ申ス必要ハゴザイマセヌケレドモ、兎ニ角法律ハ現在ノモノデアリマシテ、現在ヲ如何ニスルカト云フコトガ法律デアリマス、遠キ將來ヲ考ヘテ理想ニ向ッテ進マウト云フコトハ、只今御説ノ如ク宗教家、道德家ノ考ヘルコトデアリマシテ、其思想ヲ現實ニ行ハレルト云フコトニナリマス、矢張ソレハ今日ノ私有財産制度ニ牴觸スルノデアアルカラ、此法律ニ依ッテ罰スルヨリ他ハナイノデアリマス

ル者デアリマス、一人デモ多ク之ニ加ハッテ心ヲ純潔ニシテ行ク、ソレニ依ッテ一歩々々現在ノ制度ガ碎カレツ、アルノデアアル、何レモ理想ヲ趁ウテ居ルコトニ何等ノ相違ナイト考ヘナケレバナラヌ、是ガ要スルニ時間ノ問題デアアル、程度ノ問題デアアルト思ヒマスガ、其點ヲ簡單ニ御答ヲ願ヒタイ

○山岡政府委員 現實ニ私有財産制度ニ變革ヲ來スベキコトヲ説イテ行クト云フノデアアッテ、即チ是ハ實行ノ域ニ入ッテ居ルモノト考ヘラレルノデアアリマス、研究ヲシ、サウシテ此理想ニ於テ進ムノト進マヌノト區別シテ御考慮願ヒタイ

○山榊委員 左様ナ理想ヲ持ッコトニ於テ何等御異議ハナイト云フコトデアリマスガ、此理想ヲ實現スル爲ニ、宗教家、道德家ハ今既ニ一歩々々進ミツ、アルノデアアリマス、革命ニ依ッテ之ヲ行ハントスル——之ヲ急速ニ行ハントス

○山榊委員 私人理想ガ善イカ惡イカト云フコトハ、先刻カラ是ハ問題外ニシテ居ル、之ヲ實現スル手段ヲ問題ニシテ居ルノデアリマス、宗教家、道德家ガソレニ向ッテ一歩々々近ツキツ、アルノデアアリマス、既ニ實行ヲ爲シツ、アルノデアアリマス、其時期ガ今年明年ト云フヤウニ考ヘルカ、百年千年ノ先ト考ヘルカ、其時間ノ相違ニ過ギヌノデアリマス、實現ヲ期シツ、アルト云フコトハ敢テ相違ガナイト考ルノデアアリマスガ、是モ尙ホ實現ヲ期シツ、アラザルモノデアアルト御考ニナルノデアアリマス、唯、急速ニ行ハントスル者ハ本法ニ觸レル、サウ云フヤウニ解釋シナケレバ論理ニ合ハナイト思フ、若シ左様ニ解釋致シマスルナラバ、此所ニ

ハサウ云フコトガ現レテ居リマセヌ
○山岡政府委員 ソコガ只今質問應答ノ一致シテ居ナイ點デアリマス、理想家ニシテモ道德家ニシテモ、今日ノ所有權ノ根本ヲ否認スルコト云フコトヲ理想トスルコトハ、今日ノ法律トシテハ認許シナイ、唯、ソレガ五百年千年後ニ實現スルベク努メルト云フコト、ソレハ假定ノ事實デアリマス、現實ニハ影響シナイコトデアラウト考ヘル、此法ハ現實ニ効果ガ現レナケレバ本法ニ牴觸シナイ
○山榊委員 サウ致シマス、斯ウ云フコトニナル、現在ニ於テハ否定シナイ、併シソレハ應テ否定サルベキ時代ガ來ルト云フコトヲ目標トシテ進ミツ、アル、斯ウ云フコトニナリマス、サウシマス、共產主義者、理想主義者ニシテモ、現實ノ法律ノ下ニ於テハ、此治安維持法ナドガ出ルト困ルト云フノハ、是ガ出ルト是非之ニ服從シナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘテ居ルカラデアアル、斯ノ如キ制度カラ免レタイト云フ信念ニ於テハ、道德家、宗教家ハ同一デアアルト思フ、現在ノ制度ガ存續シテ居ル限りハソレニ服從シナケレバナラヌ、併シソレガ理想ノ社會デナイカラ、斯ウ云フ社會デナイ所ニ行カナケレバナラヌト云フ點ニ於テ、是ハ一致シテ居ルノデアアリマス、隨ッテ問題ハ之ヲ急速ニ行ハントスルカ、或ハ順次ニ行ハントスルカ、此點ノ相違ガアルト認メザルヲ

得ナイ、然ルニ本法ニ於テハ左様ナコトガ少シモ現レテ居ナイト考ヘルガ、如何ニ質問應答ヲ重ネマシテモ同ジ事ヲ繰返スニ過ギマセヌカラ、私ハ此程度ニ止メタイト思ヒマスガ、先日ノ新聞ヲ見マスルト京都ノ一燈園ノ人ハ甚ダ恐怖ヲ懷イテ居ル、何故ナラバアノ一燈園ニハ私有財産制度ハ無い、彼等ガ儲ケテ來タモノハ皆共同ニシテ、サウシテ共同生活ヲシテ居ル、ダカラ本法ニ觸レ、バ十年許リ食ハナケレバナラヌノデ、非常ナ恐怖ヲ感ジテ居ルト云フコトガ新聞ニ現レテ居ル、是ハ考ヘル必要ガアルノデアアリマシテ、他ニモ斯ウ云フ理想ノ村ヲ造ラウト考ヘル者ガアル、ソレ等ハ即チサウスルコトガ本當ノ社會デアアルケレドモ、現在ノ日本ニ於テハ出來ナイカラ、自分等同志ダケハ相集ッテ、私有財産制度デナイ生活ヲシタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテサウ云フ生活ヲ爲ス者ガアルカモ知レマセヌ、現ニサウ云フ者ガアルノデアリマス、是ハ本法ニ觸レルモノデアアルカ否カラ伺ヒタイト思ヒマス
○山岡政府委員 只今ノ御質問ニ對シテハ、本法ニ觸レナイモノデアアルト御答ヲ致スノデアアリマス、即チ自分ノ財産ヲ御互ニ持寄ッテ處分シヤウ、所有權ノ發動トシテ各自ガ勝手ニ使フガ宜シイ、斯ウ云フ譯デアリマス、本法ノ取締ラントスル所ハ、他人ノ財産ヲ根柢カラ破壊シヤウ、斯ウ云フ所ニ危險ガア

ルノデアリマスガ、御互ガ寄ッテ理想郷ヲ造ッテ生活シヤウ、是ハ毫モ本法ニ關係シナイ事デアリマス

○山榊委員 私ノ尋ヤウガ惡カッタカモ知レマセヌガ、茲ニ私有財産ナキ社會ヲ考ヘテ、其社會ヲ同志ヲ以テ今茲ニ或地區ヲ限ッテ行ッテモ、本法ニ觸レヌト云フコトデアリマス、サウスレバ、是ハ自分等ダケデヤッテ居ルノデアアルガ、日本ノ社會ハ斯クアルベキモノデアアルト云フコトヲ目標トシテ、隣リノ村モ其隣リノ村モ之ニ化セシメヤウ、斯クシテ漸次日本全國ヲ蠶食シテ行カウ、斯ウ云フ觀念ノ下ニ今一地區ヲ限ッテ、自分ノ理想ノ私有財産制度ナキ社會ヲ實現シタラ如何デアリマスカ

○山岡政府委員 後ニ御述ニナリマシタ事ハ、次第々々ニ蠶食シテ日本ノ全體ニ私有財産無キモノヲ實現シヤウトスルノデアリマスカラ、サウ云フ事ハ第一條第三條ニ牴觸スル所デアリマス

○山榊委員 他ノ問題ニ移リマス政府ノ説明ニ依リマスルト、本法ハ共產主義者並ニ無政府主義者ヲ對象トシテ居ルト云フコトデアリマスルガ、今日ノ政體ヲ變革スルニ他ノ方法モアルノデアリマシテ、專制政治ニ變ラシメヤウト云フコトモ亦政體ヲ變革スルモノト考ヘルノデアリマスルガ、ソレモ本法ノ對象トシテ居ルノデアリマスルカ否カ

○小川國務大臣 無論其通り議會制度ヲ否認スル、壞スコトハイカスト云フ

ノデス

○山榊委員 ソコデ御尋致シマスガ、無政府主義者ヲ非常ニ恐レテオキデニナルガ、先日內務大臣ヨリ星島君ノ御質問ニ對シテ、無政府主義者ナルモノノ定義ガアッタノデアリマスルガ、斯ノ如キ定義ノ無政府主義者ト云フモノガ、共產政治ニ果シテ存在シテ居ルダラウカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラス、今日ノ露西亞ノ政治ハ決シテ無政府ノ政治デハナイ、立派ニ選舉ニ依ッテ得ラレタ所ノ役員ニ依ッテ、サウシテ國家ハ權力ヲ以テ有ユル施設ヲ爲シテ居リマス、サウスルト是ハ昔露西亞ノ中ニウロツイテ居ッタヤウナ、虛無無政府主義ノモノトハ違フノデアリマス、國憲ヲ否認シテ、サウシテ全ク個人ノ私有ニ委スト云フノデアリナイ、露西亞ノ此現實ノ政治コソ、或意味ニ於テハ專制ヲ否認シテ、或意味ニ於テハ極端ニ專制的ナ「クーデター」ヲ幾度モ行ッテ居ルノデアリマス、サウスルト政府ハ無政府主義者ヲ對象トシテ本法ヲ行ハウト云フナラバ、モウ少シ今日ノ事實ヲ考ヘテ見ナケレバナラス、左様ナ國憲ト云フモノヲ全然否認シ、軍隊ノ力モ否認シ、今日ノ國家ノ政治組織ニ於テ行ハレテ居ル所ノ勢力ヲ否認シテ居ル所ノ主義者ト云フモノガ、或ハ何所カノ隅ニ在ルカモ知レマセヌガ、現實ノ運動トシテ之ヲ考ヘテ見ルト甚ダ困難デ、露西亞ノ政治ヲ普通ノ共和

政治ト比較致シマスルナラバ、大シタ相違ハナイノデアリマス、斯ウ考ヘナケレバナラスト思フ、サウスルト此問題ハ露西亞ノ此狀態ヲ對象トシテ居レル、サウ云フコトハ屢、政府ノ御答辯ニアルノデアリマス、サウスルト根本ニ違フ所ト現實ノ政府ヲ倒スト云フコトニ於テ違フノデアッテ、代議政體ト云フモノヲ壞スノデアリナイ、斯様ニ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、隨テサウスルナラバ無政府主義者ヲ取締ルト云フコトハ意味ヲ爲サヌコトニナル、斯様ニ考ヘルノデアリマスルガ、其點ヲ御伺致シマス

○小川國務大臣 一寸先達ノ內務大臣ノ答辯ヲ私聽漏シテ居ッタデアリマスルガ、無政府主義者ヲ取締ルト申シマシタ所デ、無政府主義ノミデハナイノデアリマス、第一條ノ國體政體ト云フ分ハ先刻モ申上ゲマシタ通り、又今日マデモ度々申上ゲマシタ通り分ッテ居ルノデアリマスルガ、無政府主義ハ即チ只今山榊君ノ御話ノ通り、政府ヲ否認スル者ガ伊太利アタリニアッタ、露西亞アタリニアッタアノ事デセウガ、無政府主義ナルモノハ——然ルニ今同ノ國體政體ト云フ方ハ政府ハ之ヲ認メテ、例ヘバ共和政體ニスルト云フヤウナ、或ハ今御答致シタヤウナ譯デ、議會ヲ潰シテシマフト云フコトハイカナイト云フ法律デアリマス、ソレデ無政府主義者ト云フ者ノミヲ取締ルト云フ意

味デアッタトスレバ、ソレハ言葉ガ足りナカッタノデアリマス、無政府主義者ナル者ガ先ヅ以テ國體ヲ變改スル、政體モ破壞シナケレバ無政府ニナラヌカラ、斯ウ云フモノガ今日マデ御承知ノ通り現ニ日本ニモ出來テ居ッタ、今デモアリマセウ、アッタモノデアリマスカラ、先ヅ日本ニ於テ此國體政體ヲ破壞スルト云フコトヲ始メテ來タモノデアリマスカラ、サウ云フ言葉デ御答申シテ置イタノデアッテ、無政府主義ト云フ言葉デハ足ラナイノデアリマス、説明ハ出來ナイノデアリマス、國體政體ノ變革ヲ企テルト云フ譯デ廣ク致シタ、只今ノ御質問ノ中ニ述ベラレタ事柄ハ私モ其通り考ヘテ居ル、露西亞ノ如キハ無論無政府主義デハナイ、有政府ト稱シテ宜カラウト思フ、「ソヴェット」共和主義立法トカムヅカシイ名前ヲ附ケテ居ルガ、事實ニ於テハ中央ニ權力ヲ持ッタ立派ナ政府ガアッテ、サウシテヤッテ居ルノデアリマスカラ、所謂勞農專制政府ト私共ハ言ウテ居ル、勞農專制——勞働者ト農民トガ專制ヲシテヤルト云フコトデアリマセウ、日本デモ現ニ今日アッタ分ニ付テ見マシテモ、マア一番大キナ事件デ、一番戰慄スベキ事件デアアル所ノ彼ノ難波大助ノ如キ、難波大助ノ調書ヲ調べテ見マスト、彼人ハ無政府主義ヲ初メ奉ジタ、併シ無政府主義デハ徹底シナイ、共產主義デナクテハイカス、共產主義ト云フコトモ、

是ハ其定義ヲ與ヘテ説明スルトキニ
ナッテ、多少其範圍廣狹等ニ於テ違ヒ
ガアリマセウガ、今日吾々ノ最モ恐レ
テ居ル所ノ共產主義ナルモノハ、所謂
露西亞ノ共產黨デアッテ、唯、財産ヲ平
均ニ分ケルト云フモノデハナイ、所謂
勞農ノ專制政治ヲシヤウト云フ譯デア
リマセウ、ソレデ大助ノ如キハ一旦無
政府主義ヲ奉ジタケレドモ、是ハ徹底
セヌト云フノデ、共產主義ニナッテ、勞
農ノ專制ノ時代ヲ實現シナケレバナラ
ヌ、斯ウ云フコトニナッテ來タ、彼ハ共
産主義ト云フモノニナッテシマッタト云
フ譯デ、今日ノ我國ノ狀況等モ私ハサ
ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、一時無政府主
義ト云フモノヲヤッタ者ガアルガ、是ガ
段々ドノ位ノ部分カ知リマセヌガ、其
或ル部分ト云フモノハ無政府デハ徹底
シナイ、共產主義デヤラウト云フ風ニ
ナッテ居ル、御説ノ通り無政府主義ト露
西亞トヲ一緒ニスルノハ間違ッテ居ル
ト私モ考ヘテ居ル

○山榊委員 サウ致シマス此政治ノ
組織ヲ變ヘルト云フコトハ、唯、其選舉
ノ組織ヲ變ヘルダケガ——國務大臣ニ
ナル、國務大臣ノ資格ハ如何ト云フ問
題ガ變ッテ來ル、殊ニ人民ノ意思ヲ基礎
トシテ、其選舉ニ基イテ政治ガ行ハレ
ルト云フ組織ニ於テハ何等異存ガ無イ
ノデアル、サウスルト結局一番政府ノ
恐レル所ノ問題トナルモノハ、私有財
産制度ノ問題ガ根本デアリマス、國體

ノ問題ハ既ニ先程モ申シマシタヤウ
ニ、私ノ見解デハ本法ニ別ニ設ケル程
ノ必要モナイト思フ、政體ヲ變更スル
ト云フ者ハ無イ、代議政體ヲ變更スル
ト云フ者ハ無イ、左様ナ全然無政府ヲ
主張スル所ノ者ハ、今無イト云フコト
ヲ政府當局ニ於テモ認メテ居ル、サウ
シテ露西亞ノ狀態ハ代議政體ノ或ル種
ノ形式デアアル、詰リ組織上ノ變化ニ過ギ
ナイノデアッテ、根本的ノ——茲ニ述ベ
ラレル所ノ變革デハナイコトニナルノ
デアリマス、サウスルト是モ問題ニナラ
ナイ、結局問題ニナル所ハ此私有財産
制度ノ問題ダケガ問題ニナルバカリデ
アリマス、今言ハレルヤウニ共產主義
ヲ主張セラレル所ダケガ問題トシテ殘
ル、ソレガ此法ヲ設ケルト云フコトノ
根本精神ニナッテ居リハシナイカト思
フノデアリマス、サウシテ其私有財産
制度ヲ否認スルト云フコトモ色々意味
ガアルト云フコトハ、先程質問應答ヲ
致シマシタ結果ニ依ッテ明デアルト思
フノデアリマスルガ、ソコデ政府ハ之
ヲ急速ニ行フノガイケナイト、斯ウ云
フ御意見ノヤウデアリマス、議會政治
ヲ行フコトガ善イカ惡イカト云フ問題
ニナレバ、先日來質問應答ガアリマシ
テ、議會ハ上奏スル所ノ權利ハ有ッテ居
ルト云フ御意見デアッタヤウデアリマ
ス、サウスルト此上奏目的ダケノ行爲
ヲ爲シ得ルノデアリマスカラ、ソコデ
日本ノ議會ノ中ニサウ云フ私有財産制

度ヲ否認スル所ノ、サウシテ其現實ノ
狀態ニ於テハ上奏ノ權利ダケヲ行使ス
ル目的ヲ以テ、茲ニ共產主義者ノ政黨
ガ組織サレタト致シマスルナラバ、之
ヲ政府ハ御認メニナル御積リデアアルカ
ドウカ
○小川國務大臣 一寸私訂正シテ置キ
マスガ、無政府主義者ガ無イト申上ゲ
タノデアアリマセヌ、無政府主義者ハ
澤山アッタノデアリマス、又今デモアリ
マセウガ、中ニハソレガ段々共產主義
ニ變ッテ行ク者モアル、只今ノ上奏ノコ
ト、憲法ノ變更ノコトニ付キマシテハ、
先般山岡政府委員カラ申上ゲデアリマ
スカラ、山岡政府委員カラ申上ゲル方
ガ誤ガナクテ宜カラウト思ヒマス
○山岡政府委員 政黨ヲ組織致シマシ
テモ、憲法ニ於テ保障致シテ居リマス、
私有財産ノ制度ノ根本ヲ否定スル所ノ
政黨ト云フモノハ、警察關係ニ於テ公認
スベキ政黨ニナルトハ思ハヌノデアリ
マス、又假ニ警察關係ガ認許シテモ、本
法ニ於テ斯ノ如キモノ、存在ハ許スベ
カラザルモノト思ヒマス、先般星島委
員カラ御質問ガアリマシテ、此法律ノ
保有スル所ハ所有權ノ基礎、私有財産
制度ノ根本ヲ否認スルダケデアッテ、其
他ノ憲法上ノ財産關係ニ關スルモノハ
敢テ本法ニ關係ガナイノデアリマシ
テ、其範圍内ニ於テ所有權使用收益ノ
關係等ニ付テ、色々ト經濟學社會學ノ
原則カラシテ改革ヲ企テタリ、綱領ヲ

掲ゲタルモノハ認メラレルノデアリマ
ス、唯、根柢ヲ否認スルモノダケハ、政
黨トシテ認メラレナイト、斯ウ云フコ
トヲ申上ゲタノデアリマス
○山榊委員 私ノ質問ハ是デ終リマシ
タ
○前田委員長 次ノ質問者ハ吉田眞策
君ニナリマスガ、晝ニナリマスカラ午
後ニナリマスガ
○吉田委員 サウシマセウ
○前田委員長 マダ五分程時間ガアリ
マスカラ私カラ一寸伺ヒマス、今ノ政
體ヲ變革シト云フノハ、代議政體ガ根
本デアアルカラ、衆議院ヲ否認スルコト
ガ即チ政體ヲ變革スルコトガイカスト
云フヤウナ御説明デアリマスガ、日本
ノ憲法ノ編制ノ歴史ニ依ルト、立法、司
法、行政三權分立ノ精神ニ依ッテ作ラレ
テ居リマスガ、裁判所ヲ廢止スルト云
フヤウナコトハ政體ノ變革ニ這入リマ
スカ
○岩崎政府委員 三權分立ノ制度ハ我
國ノ統治ノ態樣ニ付テノ根本ノ制度デ
アリマシテ、之ヲ否認スルコトハ勿論
政體ノ變更ニ這入ルノデアリマス
○前田委員長 裁判所ヲ否認スルト云
フコトハ、政體ノ變革ニ這入ルト了承
シテ宜シウゴザイマスガ
○岩崎政府委員 勿論デアリマス
○前田委員長 然ラバ司法裁判ニ限ラ
ズ、政府モ三權分立ノ精神カラ云ッテ、
行政府トシテ對立シテ居ルノデアリマ

スガ、議會ニ最高ノ權力ヲ與ヘテ、議會ガ政府ニ代テ總テノ事ヲ執行スルト云フヤウナ場合ニモ、本法ハ適用ガアルノデアリマス。

○岩崎政府委員 議會ハ憲法ニ書イテアリマス事柄ニ付テ、協賛スル權限ヲ持ツテ居ルコトハ勿論デアリマシテ、行政ノ任ニ當ル者ハ行政府ヲ以テスルト云フコトハ、我國憲法ニ規定シテアルコトデアリマスカラ、サウ云フ事ニ付テノ變革ヲ加ヘルト云フコトハ又政體ノ變革ニナルノデアリマス、要スルニ三權分立ノ區劃ニ付テ變革ヲ加ヘルト云フコトハ許サナイ精神ト考ヘマス。

○前田委員長 過日來内務大臣、司法大臣其他政府委員ノ說明ニ依リマス、立憲政治ノ根本ハ代議政體デアアルガ故ニ、衆議院ノミガ此法條ノ對象デアルガ如ク說明サレマシタガ、立法、司法、行政ト云フ如キ三權分立ニ付テノ質問ガ無カッタカラ御答ガ無カッタノデアリマセウカ、又大臣ガ別ノ御考カラア、云フ御答辯ニナッタノデアリマセウカ。

○山岡政府委員 只今委員長ノ仰セノヤウニ、此司法行政ノ方面ノコトハ質問モ別段ゴザイマセマシタノデ、政府トシテモ未ダ言明シタ所ハ無イノデアリマス、而シテ今マデ述ベマシタ所ハ、此所ニアル文字ハ政體デアリマスガ、法律ハ現在ヲ基礎トシテ書カレマスノデ、此政體ト云フノハ立憲政體ト云フ

コトハ疑ガナイノデアリマス、其立憲政體ト云フノハ何デアアルカト申シマスレバ、勿論皆様ノ御承知ノ如クニ、今日ノ立憲政體ハ代議制ヲ以テ基礎トシタル政治デアアル、斯ウ云フコトデアリマスカラ、段々國務大臣ヨリ申上ゲタ所ハ、代議制ヲ基礎トシタル政體デアアル、斯ウ云フ意味ニ於テ申上ゲタノデアリマス、即チ代議制ヲ基礎トシタル立法部ヲ持ツ所ノモノガ、立憲政體デアルト云フコトハ疑ノナイモノデアリマス、而シテソレガ主ナル根幹デアアル、然ラバ立法部ト云フモノガアル以上ハ、茲ニ司法行政ト云モノガ當然結付イテ來ル次第デアリマスノデ、今マデ申上ゲタ所ハ其根幹ヲ申上ゲタ次第デアリマ

ス。

○前田委員長 サウ致シマス。三權分立ノ精神カラ、憲法ハ出來テ居ルノデアルカラ、立法、司法、行政ノ根幹ヲ變革スルモノハ政體ノ變革ナリト云フ御說明デアリマシタガ、サウ丁承シテ宜シウゴザイマス。

○山岡政府委員 只今マデ段々政府ノ方面カラ申上ゲタノハサウ云フ筋デアリマス、尙ホ今日司法行政等ニ付テモ御問ガアリマスノデ、此點ニ付テハ更ニ午後ニ申上ゲルコトニ致シマス。

○前田委員長 是デ休憩致シマシテ、午後一時ヨリ開會スルコトニ致シマス。

午後零時一分休憩

午後一時三十九分開議

○前田委員長 午前ニ引續イテ是ヨリ審議ヲ進メマス、小川司法大臣

○小川國務大臣 先刻委員長ヨリ御質問ノ點ニ付テ、岩崎政府委員ヨリ御答シタノデアリマスガ是ハ取消シマス、ソレデ今日マデ内務大臣並ニ私等ヨリ申述ベマシタ如ク、立憲政體ノ根本ト云フ意味デアリマシテ、即チ民選ノ機關ニ依ッテ立法ニ參與スル議院制度ト云フコトガ根本デアアルカラシテ、ソレヲ變革スル者ヲ罰スル趣意デアリマス、裁判所トカ行政府トカ云フコトハ、三權分立カラ行キマシテ當前ニ相對デアルト云フコトニ解釋致シマスレバ這入ルカモ知レマセヌガ、實際ニ於テ議會ガ存在シテ立法ヲ致シマス以上ハ、ソレヲ行フ司法行政ハ當然アルベキ管

デアリマス、又今日ノ實情ニ於テ議會制度ヲ認メテ置イテ、而シテ裁判所トカ行政府ヲ無クシテシマフト云フコトハ實際ハ行ハレナイノデアリマス、道理上亦アルベカラザル事デアリマスカラ、此法律ハ代議政體ヲ壞スト云フコトニ御承知ヲ願ヒマス。

○山岡委員 此治安維持法ガ制定セラレ、ニ至リマス。動機ヲ考ヘマスノニ、國務大臣ヨリ屢、御說明ノアッタヤウニ、政體ヲ變革スル、即チ大體ニ於テ俗ニ謂フ無政府主義ノ運動ヲ取締ル、ソレカラ私有財産制度ヲ否認スル、俗ニ謂フ共產主義ヲ取締ル積デアルト云フ

コトデアリマス、何故ニ斯ル無政府主義並ニ共產主義ガ現レルカ、サウシテ之ヲ主張スル者ハ如何ナル人デアアルカト云フ事實ヲ考ヘテ見マス。之ヲ主張スル者ハ無產者若クハ無產者ニ同情ヲ表スル所ノ者ガ大多數デアルト考ヘルノデアリマス、多クノ財産ヲ有スル者ガ、私有財産制度ヲ破壞スル如キ主張ヲスル氣遣ハナイノデアリマス、例外トシテ「トルストイ」ノヤウナ人ガアリマスガ、現ニ事實トシテ現レテ居ッテ取締ラネバナラヌト考ヘテ居ラル、モノハ、サウ云フ理想家ノ團體ニ非ズシテ、現實ニ活動ヲ開始スル或勢力ヲ得ツ、アル無產者階級ノ人々デアアル、國務大臣ハ無產者勞働者ノミヲ對象トシテ居ナイ學者デモ取締ルト仰シヤイマシタガ、事實ニ於テハ勞働者農民ノ無產者階級、或ハ知識階級ニ於テモ無產者ガ主張スルコトハ事實デ、隨テソレヲ對象トシテ居ル此無產者ガ色ミナ點ニ於テ、今日ノ社會組織ニ付テ不平ヲ懷ク根本問題ガアル此根本問題ヲ如何ニシテ解決スルカト云フコトハ、國家ノ政策ヲ考フル者トシテ種々ノ事ガアル、貧乏人ガ愚圖々々言フナ、今日ノ社會組織ニ對シテ愚圖々々言フナラバ、斯ウ云フ法律ヲ作ッテ縛ッテシマフゾ、斯ウ云フ態度デ行ク譯ニ行クマイト思フ、今日ノ國家ノ性質ハ國民ノ一部ノ爲メデナク全體ノ爲メデアリマスカラ、資産ヲ持ッ者モ持タザル者モ共ニ保

護シテ、幸福ナル生活ヲ爲サシメナケレバナラヌノデアリマス、日本ノ今日ノ産業組織ニ於テ無數ノ無産者ガ現レテ居ル、此産業組織ト無産者ノ關係ヲ如何ニ調和シテ、お互ニ幸福ナル生活ヲ送ッテ行クヤウニスルカト云フコトハ、政府トシテ考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、ソレヲ考ヘズシテハ是等ノ問題ハ解決サレナイノデアリマス、此法案ガ是等無産階級カラ湧起ッテ來ル所ノ運動デアル、其運動ヲ取扱フノニ、此法律ダケヲ以テ十分ナリト考ヘラレルカ、殊ニ無産者ノ腹ノ中カラ起ッテ來ル叫ヲ如何ニ取扱フカ、斯ウ云フコトハ國家ノ上カラ極メテ重要デアルト思ヒマスカラ、サウ云フ無産者ノ要求ニ對シテ、政府ハ如何ナル態度ヲ執ッテ居ラレルカ、無産者ガ其權利ヲ得ル爲ニ、其幸福ヲ圖ル爲ニ運動スル所ノ同盟罷業ニ對シテハ、治安警察法第十七條ニ於テ是ガ取締リシテ居ルノデアリマス、默認シテハ居ルガ、之ヲ公認サレテハ居ナイ、尙ホ勞働組合法モ未ダ提出サレナイ、勞働爭議調停法ト云フモノヲ提出サレザリマス、未ダ提出サレテ居ナイ、斯ウ云フヤウニ無産者ガ或要求ヲシテモ、ソレニハ何等手ヲ付ケズニ居リナガラ、其爲ニ不平ヲ懷イテ或種ノ社會ノ組織ノ變革ヲ叫ビタル者ヲ重刑ヲ以テ縛ッテ行カウ、斯ウ云フコトダケヲシテ居ラレルノデアリマス

ガ、先程申シマシタ治安警察法第十七條、勞働組合法、勞働爭議調停法、是等ニ付テ産業ヲ管理シテ居ラレル所ノ農商務省ノ當局トシテ、如何ニ御處置ニナル御積リデアルカ、政府ノ御決心ノ在ル所ヲ承リタイト思フノデアリマ

業ノ先進國デアリマスカラ、次ニ起ッタ獨逸ニ於テモ、佛蘭西ニ於テモ此傾向ガ甚シクナリ、是ニ於テカ歐羅巴大陸ニ於テハ所謂社會政策ト云フコトガ起ツテ來、ソレト同時ニ社會主義ト云フ一ツノ主義ガ起ッテ參リマシタ、苦吉利ナドモ段々此形勢ニ鑑ミマシテ、資本家ニ對抗スル爲ニ「ブレイトユニオン」我ガ日本ハ是等ノ國ヨリ見マスルト非常ニ遅ク出達致シマシタガ、世界ノ商業ノ組織ノ變遷ノ狀況ヲ見マス、云フト、自然ノ儘ニ放任シテ置キマスナラバ、即チ經濟狀態ノ推移ニ委シテ政治上何等ノ作用ヲ加ヘヌト致シマス、資本家ハ益、大キイ資本ニナリ、無産階級ハ幾年經ッテ頭ガ上ラナイ、此形勢ヲ見マシテ政府ト致シマシテハ、只今ノ政府ノミナラズ、歴代ノ政府並ニ各政黨政派ニ於キマシテモ、此不調和ヲ政治ノ作用ニ依ッテ之ヲ緩和シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、之ヲ緩和致シマスルニハ或ハ産業政策、或ハ思想政策、或ハ社會政策ノ方面カラ見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ點カラ例ヘバ思想政策ニ於テモ社會政策ノ主義ヲ加味致シマシテ、擔稅力ノ大キイ者ニハ其比例以上ニ多ク課ケ、擔稅力ノ少ナイ階級ノ人ニハ成ベク減免稅ノ方針ヲ執リマシテ、先年所得稅法ノ改正ヲ致シマシタ時分ニモ、資本家ガ對抗致シタ程ノ改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ將來ノ租稅政策ニ

付キマシテモ、此方針デ進マナケレバナラヌト思ッテ居リマス、又産業方面カラ見マシテモ成ベク中小工業者ナド、單獨ノ競争デハ大資本家ニ敵ハナイカラ、力ノ弱イ者ヲ集メテ其地位ヲ向上セシメ利得モ増進セシメ、資本家ト對抗シ得ラル、ヤウニシナケレバナラヌ、此精神カラ産業組合ガ出來、畜産組合ガ出來、水産組合ガ出來タノデアリマス、今回農商務省トシテ提案致シテ居ル重要輸出品工業組合、或ハ輸出組合ノ如キモ國家ノ貿易政策ガ主デアリマスケレドモ、一面社會政策ヲ考ヘ加味シタノデアリマス、御承知ノ通り是等ノモノニ於キマシテハ、所得稅、營業稅ヲ免除シテ居リマス、又一面ニ於キマシテ國家ノ施設ト致シマシテ社會的施設ヲ行ッテ居リマス、思想政策ニ於テ産業政策ニ於テ總テノ方面カラ、成ベク有産階級ト無産階級ヲ融和セシメ、サウシテ上下舉ッテ鞏固ナル社會ヲ組織シ、鞏固ナル國家ヲ造リ、決シテ極端ニ趨ルヤウナコトノナイヤウニ致シ、是デ以テ最大多數ノ最大幸福ヲ増進致シテ行ク方針デアリマス、尙ホ其他一部ノ誤ッタル考カラ、或ハ國體政體ノ變革ヲ企テル、或ハ私有財產制度ヲ否認スルト云フヤウナ目的ヲ以テ、無考ナ行動ヲ致ス者ニ對シマシテハ、一ツノ法律案ヲ出シテ之ヲ取締ル、ソレニ依ッテ救ヒ得ザル者、又考ノ間違ッタ者ヲ治スル、斯ウ云フ考デアリマスガ、吾々産業ヲ管理致シテ

業ノ先進國デアリマスカラ、次ニ起ッタ獨逸ニ於テモ、佛蘭西ニ於テモ此傾向ガ甚シクナリ、是ニ於テカ歐羅巴大陸ニ於テハ所謂社會政策ト云フコトガ起ツテ來、ソレト同時ニ社會主義ト云フ一ツノ主義ガ起ッテ參リマシタ、苦吉利ナドモ段々此形勢ニ鑑ミマシテ、資本家ニ對抗スル爲ニ「ブレイトユニオン」我ガ日本ハ是等ノ國ヨリ見マスルト非常ニ遅ク出達致シマシタガ、世界ノ商業ノ組織ノ變遷ノ狀況ヲ見マス、云フト、自然ノ儘ニ放任シテ置キマスナラバ、即チ經濟狀態ノ推移ニ委シテ政治上何等ノ作用ヲ加ヘヌト致シマス、資本家ハ益、大キイ資本ニナリ、無産階級ハ幾年經ッテ頭ガ上ラナイ、此形勢ヲ見マシテ政府ト致シマシテハ、只今ノ政府ノミナラズ、歴代ノ政府並ニ各政黨政派ニ於キマシテモ、此不調和ヲ政治ノ作用ニ依ッテ之ヲ緩和シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、之ヲ緩和致シマスルニハ或ハ産業政策、或ハ思想政策、或ハ社會政策ノ方面カラ見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ點カラ例ヘバ思想政策ニ於テモ社會政策ノ主義ヲ加味致シマシテ、擔稅力ノ大キイ者ニハ其比例以上ニ多ク課ケ、擔稅力ノ少ナイ階級ノ人ニハ成ベク減免稅ノ方針ヲ執リマシテ、先年所得稅法ノ改正ヲ致シマシタ時分ニモ、資本家ガ對抗致シタ程ノ改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ將來ノ租稅政策ニ

立至ッタノデアリマス、英吉利ハ一番産業ノ先進國デアリマスカラ、次ニ起ッタ獨逸ニ於テモ、佛蘭西ニ於テモ此傾向ガ甚シクナリ、是ニ於テカ歐羅巴大陸ニ於テハ所謂社會政策ト云フコトガ起ツテ來、ソレト同時ニ社會主義ト云フ一ツノ主義ガ起ッテ參リマシタ、苦吉利ナドモ段々此形勢ニ鑑ミマシテ、資本家ニ對抗スル爲ニ「ブレイトユニオン」我ガ日本ハ是等ノ國ヨリ見マスルト非常ニ遅ク出達致シマシタガ、世界ノ商業ノ組織ノ變遷ノ狀況ヲ見マス、云フト、自然ノ儘ニ放任シテ置キマスナラバ、即チ經濟狀態ノ推移ニ委シテ政治上何等ノ作用ヲ加ヘヌト致シマス、資本家ハ益、大キイ資本ニナリ、無産階級ハ幾年經ッテ頭ガ上ラナイ、此形勢ヲ見マシテ政府ト致シマシテハ、只今ノ政府ノミナラズ、歴代ノ政府並ニ各政黨政派ニ於キマシテモ、此不調和ヲ政治ノ作用ニ依ッテ之ヲ緩和シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、之ヲ緩和致シマスルニハ或ハ産業政策、或ハ思想政策、或ハ社會政策ノ方面カラ見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ點カラ例ヘバ思想政策ニ於テモ社會政策ノ主義ヲ加味致シマシテ、擔稅力ノ大キイ者ニハ其比例以上ニ多ク課ケ、擔稅力ノ少ナイ階級ノ人ニハ成ベク減免稅ノ方針ヲ執リマシテ、先年所得稅法ノ改正ヲ致シマシタ時分ニモ、資本家ガ對抗致シタ程ノ改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ將來ノ租稅政策ニ

立至ッタノデアリマス、英吉利ハ一番産業ノ先進國デアリマスカラ、次ニ起ッタ獨逸ニ於テモ、佛蘭西ニ於テモ此傾向ガ甚シクナリ、是ニ於テカ歐羅巴大陸ニ於テハ所謂社會政策ト云フコトガ起ツテ來、ソレト同時ニ社會主義ト云フ一ツノ主義ガ起ッテ參リマシタ、苦吉利ナドモ段々此形勢ニ鑑ミマシテ、資本家ニ對抗スル爲ニ「ブレイトユニオン」我ガ日本ハ是等ノ國ヨリ見マスルト非常ニ遅ク出達致シマシタガ、世界ノ商業ノ組織ノ變遷ノ狀況ヲ見マス、云フト、自然ノ儘ニ放任シテ置キマスナラバ、即チ經濟狀態ノ推移ニ委シテ政治上何等ノ作用ヲ加ヘヌト致シマス、資本家ハ益、大キイ資本ニナリ、無産階級ハ幾年經ッテ頭ガ上ラナイ、此形勢ヲ見マシテ政府ト致シマシテハ、只今ノ政府ノミナラズ、歴代ノ政府並ニ各政黨政派ニ於キマシテモ、此不調和ヲ政治ノ作用ニ依ッテ之ヲ緩和シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、之ヲ緩和致シマスルニハ或ハ産業政策、或ハ思想政策、或ハ社會政策ノ方面カラ見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ點カラ例ヘバ思想政策ニ於テモ社會政策ノ主義ヲ加味致シマシテ、擔稅力ノ大キイ者ニハ其比例以上ニ多ク課ケ、擔稅力ノ少ナイ階級ノ人ニハ成ベク減免稅ノ方針ヲ執リマシテ、先年所得稅法ノ改正ヲ致シマシタ時分ニモ、資本家ガ對抗致シタ程ノ改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ將來ノ租稅政策ニ

立至ッタノデアリマス、英吉利ハ一番産業ノ先進國デアリマスカラ、次ニ起ッタ獨逸ニ於テモ、佛蘭西ニ於テモ此傾向ガ甚シクナリ、是ニ於テカ歐羅巴大陸ニ於テハ所謂社會政策ト云フコトガ起ツテ來、ソレト同時ニ社會主義ト云フ一ツノ主義ガ起ッテ參リマシタ、苦吉利ナドモ段々此形勢ニ鑑ミマシテ、資本家ニ對抗スル爲ニ「ブレイトユニオン」我ガ日本ハ是等ノ國ヨリ見マスルト非常ニ遅ク出達致シマシタガ、世界ノ商業ノ組織ノ變遷ノ狀況ヲ見マス、云フト、自然ノ儘ニ放任シテ置キマスナラバ、即チ經濟狀態ノ推移ニ委シテ政治上何等ノ作用ヲ加ヘヌト致シマス、資本家ハ益、大キイ資本ニナリ、無産階級ハ幾年經ッテ頭ガ上ラナイ、此形勢ヲ見マシテ政府ト致シマシテハ、只今ノ政府ノミナラズ、歴代ノ政府並ニ各政黨政派ニ於キマシテモ、此不調和ヲ政治ノ作用ニ依ッテ之ヲ緩和シテ行ク、斯ウ云フ方針ヲ執ッテ居ルノデアリマス、之ヲ緩和致シマスルニハ或ハ産業政策、或ハ思想政策、或ハ社會政策ノ方面カラ見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ點カラ例ヘバ思想政策ニ於テモ社會政策ノ主義ヲ加味致シマシテ、擔稅力ノ大キイ者ニハ其比例以上ニ多ク課ケ、擔稅力ノ少ナイ階級ノ人ニハ成ベク減免稅ノ方針ヲ執リマシテ、先年所得稅法ノ改正ヲ致シマシタ時分ニモ、資本家ガ對抗致シタ程ノ改正ヲ致シタノデアリマス、尙ホ將來ノ租稅政策ニ

居リマス當局ト致シマシテハ、大體右申スヤウナ方針デ進ム積リデアリマス

○山樺委員 大體ノ方針ヲ了承致シマシタガ、今無産階級ガ國家ニ向ッテ要求シテ居ル所ノ、先程申シマシタ治安警察法第十七條ノ撤廢、勞働組合ノ制定、並ニソレヲ基礎トシタ勞働爭議調停法、斯ウ云フモノヲ要求シテ居ルノデアリマスガ、勞働運動ガ熾ナ今日、是ハ勞働運動ヲ導ク或ル一ツノ方法デアリマスガ、産業ノ當局トシテ之ヲ如何ニ御取扱ニナル御積リデアリマセウカ、勞働運動ノ進リガ廳テ共產主義トカ、無政府主義トカ云フモノニ向ッテ來ルノデアリマス、彼等ガ正當ナ團體ヲ造ツテ要求スル、其要求ヲ抑ヘ付ケルト云フコトハ、廳テ又他ノ方面ニ噴出シテ來テ、或ハ無産政黨ノ叫聲ヲ揚ゲルノデハナカラウカ、先日來私ハ勞働團體ノ代表者ニ會ッテ見ルト、吾々ハ必シモ共產主義ヲ主張スルノデハナイケレドモ、非常ニ失業者ガ多クナリ、生活ガ困難ニナッタ時ニ、壇上ニ一タビ立ツナラバ、不都合ナル資産階級ヲ吾々ハ團結シテ打毀シテシマヘト云フコトガ、ツイ口カラ飛出シテシマフト言ッテ居リマシタ、其事情ハ確ニ國デ考ヘナケレバナラヌ點ガ在ルト思ヒマス、彼等ガ正當ナル團結權ヲ持ッテ、正當ナル産業組織ニ於テ今日ノ社會組織ニ於テ要求セントスル所ノ方法ヲ今尙ホ阻止セラ

レツ、アルノデアリマスガ、之ニ付テ農商務省ノ方デハ如何ニ御考ニナッテ居リマセウカ、此三ツノ勞働立法ト稱セラレテ居ル所ノモノヲ、御制定ニナル御積リガアルノデアリマセウカ如何デアリマセウカ、之ヲ御伺シタイト思ヒマス

○三土政府委員 當局トシテハ斯様ニ見テ居ル、所謂工場勞働者ノ勞働運動、或ハ農村ニ於ケル小作爭議、斯云フモノハ段々人智ガ開ケ、且ツ經濟組織ノ變ッテ來ルニ從ッテ自ラ起ッテ來ル問題デアアル、所謂契約條項ヲ中心ニシテ、有利ナル契約ヲ締結スル爲ニ、自己擁護ノ立場カラ運動ヲスルト云フコトハ當然ノ事デアアル、現在然ラバソレヲ抑制シテ居ルデハナイカト云フ非難ヲ屢々スルノデアリマスガ、私共ノ見タ所デハ政府ハ少シモ抑制シテ居ラヌト思フ、正當ナ手段ニ依ッテ正當ナル權利ヲ主張シ、正當ナル要求ヲ主張スルト云フコトニ付キマシテハ、何モ是ハ取締ル必要ハ無イト思フ、唯、此間ニ於テ動モスレバ矯激ニ趨ッテ暴行ニ涉ルトカ、脅迫ニ涉ルトカ云フコトハ、是ハ無論社會ノ治安ノ上カラ取締ラナケレバナラヌノデアリマス、現在ニ於キマシテハ治安警察法第十七條ニ依ッテ、主トシテ工業勞働者ノ方面デアリマスガ、誘惑煽動ヲ取締ッテ居リマス、是モ私共ノ見ル所デハ、誘惑煽動ト云フコトハ法ノ制定當時ニ於テハ、餘程廣イ意味

ニ解シテ居ッタヤウデアリマスガ、段々民衆ノ自覺ガ進ミ、又爲政者ノ理解モ進ミ、色々苦心經驗ヲ重ネマシタ結果、此頃ハ誘惑煽動ト申シマシテモ、餘程狹イ範圍ニ解セラレテ、萬己ムヲ得ザルノ外ハ誘惑煽動ノ取締ヲ適用シテ居ラヌト思フ、司法關係ニ於テモ警察關係ニ於テモ餘リヤッテ居ラヌ、此上ハ治安警察法第十七條ヲ廢シテ、勞働組合法ヲ作ッテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、小作爭議ナドニ付テハ治安警察法第十七條ハ適用サレテ居ラヌヤウデアリマス、唯、組合法ヲ作ルニ付キマシテ、政府ニ於テモ御承知ノ通り色々調査シテ居ル、大體出來タ案モアリマスルガ、中々此問題ハ社會上産業上餘程ノ重大ナ問題デアリマシテ、制定ノ遺方ニ依ッテハ却テ勞働者ガ自ラ苦シムヤウナコトガ起ル、兎ニ角國家ノ存立ヲ安全ニシ、産業ノ發展ヲ促スト云フ目的ト、勞働爭議トガ相一致シナケレバナラヌ、唯、權利ダケ主張スレバ産業ハドウナッテモ構ハヌト云フコトハ自繩自縛デアリマスカラ、是ハ爲政者トシテ餘程廣ク考ヘ、深ク注意シテ、適當ナル日本ノ現在ノ狀態——現在ノ社會狀態、現在ノ思想狀態ニ適合スルヤウナモノヲ作ラナケレバナラヌト思ヒマシテ、餘程研究調査ヲ致シタノデアリマス、或ハ遠カラズ左様ナ立法ガ出來ルダラウト思ヒマス、又一面ニ於テ小作法ノ制定モ隨分要求サレタノデア

リマスガ、是亦多年ノ慣行ガ地方ニ依ッテ違ヒマスルシ、全國ニ一率ナ小作法ヲ制定スルコトハ、果シテ小作人ノ利益ニナルカナラヌカ、ト云フコトモ考慮シナケレバナラヌ、色々考ヘテ居リマスガ、兎ニ角世界ノ大勢ノ趨ク所、是ハドウモ日本ノ國家ヲ向上シナケレバナラヌコトハ、唯、其法ヲ如何ニ作ルカト云フコトガ問題デアリマス、今日ニ於テモ無暗ニ人權ヲ蹂躪スルヤウナ取締テ居ルヤウニハ思ハレマセヌ、段々勞働爭議ト云フモノハ起リマセウカ、是亦一面ニ資本家モ自覺シ、勞働者モ自覺シテ參リマスルト、極端ナ手段ヲ用キズ——爭議ハ絶エマセヌケレドモ、圓滿ニ解決シテ行クヤウニ段々ヤッテ行ケルヤウニ私ハ思ヒマス

○吉田委員 私ハ内務省ノ關係ノ御方ニ少シ質問シテ見タイノデアリマスガ、御答辯ヲ得マスレバ仕合ト思ヒマス、ソレハ治安維持法ガ議會ニ出ルヤ、全國ニ多數ノ反對ノ聲ガ揚ッテ來タノデアリマス、是ハドウ云フ原因ニ基イテ揚ッタカト云フコトヲ御調査ニナッタコトガアリマスガ、又御調査ニナッタスレバ、其原因ニ付テ内務省ノ御觀察ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○川崎政府委員 別ニ此頃起ッテ居リマス問題ニ付テノ調査ハアリマセヌガ、恐ラク勞働運動ナドヲセラレテ居ル所ノ人ガ、或ハ此法律ガ出來レバ其

第五類第十八號 治安維持法案(政府提出)委員會議錄 第五回 大正十四年三月三日

運動ニ害ガアルト云フ風ニ考ヘテ居ラル、ノデハナイカト思フ、併シ屢、政府委員カラ説明サレマシタ如クニ、純真ナル勞働運動ヲ阻止スルト云フ考ハ更ニ無イノデアリマス、其點ニ多少誤解ガアリハセヌカト思ヒマス、尙亦「煽動」ト云フ文字ガアル爲ニ、玉石混淆ト云フヤウナ虞ガアルト云フ意味ニ於テモ反對ガ私ハアリハセヌカト思フ、此點モ屢、他ノ政府委員カラ説明セラレマシタ如クニ、此法律ガ相當サウ云フ點ニ付テハ注意ヲシテ居リマスガ、ソコ等ノ點ニ付テ多少マダ誤解ガアリハセヌカト思ヒマス、特ニ調査シタコトハゴザイマセヌ

○吉田委員 私ハ思想ノ取締ハ思想ヲ以テ取締ルベキモノデアッテ、此思想ニ基イテ思想ヲ善導スルガ理想デアラウト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスルト今日ノ場合此法律案ヲ出サナケレバナラヌヤウナ立場ニ至ラシメタト云フコトニ付テハ、是マデノ思想取締或ハ善導等方面ニ於テ缺陷ガアッタノデハナイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○川崎政府委員 思想ノ取締ヲ思想デヤルト云フコトハ洵ニ御同感デアアルノデアリマス、此法律ハ思想ノ範圍マデ立入ッテ居ル意味デハナク、ソレガ何等カノ行爲、例ヘバ結社ヲ組織スルトカ、實行手段ヲ講ズルトカ云フ、何等カノ行爲ニ出ヅル者ヲ取締モノデアリマ

ス、而シテ斯様ナ法律ヲ要スルヤウニナツタノハ、今日マデノ思想ノ善導ニ付テ缺陷ガアッタノデハナイカト云フ御質問ニ對シテハ、是ハ成程缺陷ト言ヘバ或ハ缺陷ト言ハナケレバナラヌカモ知レマセヌガ、唯、事柄ガ非常ニムヅカシイ事柄デ、殊ニ唯、内地ダケノ問題デナクシテ、外來ノ思想ノ爲ニ非常ニ惡化サレテ居ル關係モアリマスノデ、此事ハ單リ取締方面バカリデハナイ、社會教育ノ全般、或ハ各種ノ産業政策、社會政策等各般ノ事カラ、斯ウ云フ問題ノ起ラナイヤウニスルコトガ一番宜イニ相違ナイノデアリマス、中ミサウ十分ニ出來ナイト云フコトハ、各國トモサウナツテ居ルデアラウト思フノデアリマス、此事ハ此法律ガ出來マシテモ、思想ノ善導ニ付テハ固ヨリ十分盡サナケレバナラヌコト、思ヒマス

○吉田委員 サウスルト現時思想ノ善導ニ基テ政府ノ政策、並ニ將來ニ於テドウ云フ政策ヲ持ッテ臨マレル御計畫ガアルノデゴザイマスガ、ソレガアレバ承リタイノデアリマス

○川崎政府委員 是ハ勿論思想ノ善導ト云フ方面カラ言ヒマスルナラバ、寧ロ警察方面デアリマセヌ、警察ノ方ハ出來マシタ行爲ニ對シテ取締ルト云フコトニシテ居ルノデアリマス、是ハ文部省ノ所管ノ教育ト云フ事ガ最モ大切デアラウト思ヒマスルシ、又内務省トシマシテハ、社會局ニ於テ各般ノ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、只今御話ノアリマシタ勞働組合トカ、或ハ爭議調停トカ、或ハ勞働者ノ保險ト云フコトヲ致シテ居リマスルシ、種々之ニ對スル政策ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレハ寧ロ箇所々々ハ當事者カラ御説明アッタ方ガ相當デアルト思ヒマス、只今農商務省ノ方カラモ御説明ガアリマシタ如ク、各省ニ於テ相當考慮シテ居ルコト、思フノデアリマス

○吉田委員 次ニハ司法省ノ御方ニ御尋シテ見タイノデアリマス、此法案デ國體ノ變革又ハ政體ノ變革ト云フコトニナツテ居リマスガ、先程司法大臣ノ御説明ニ依リマスレバ、矢張以前ノ如ク民選議員ノ制度ヲ否認スルノヲ指スノデアルト云フ御答辯デアリマシタガ、サウナルト政體ノ如キモノハ、憲法ガ見マスルト樞密院モ貴族院モ含ッテ居ルヤウニ信ジテ居リマス、「帝國議會ハ貴衆兩院ヲ以テ組織ス」斯様ナ場合ニ貴族院ヲ廢止シナケレバナラヌト云フ議論ハ這入ラナイモノト信ジマスガ、左様デゴザイマスカ

○山岡政府委員 此政體ノ變革ト申シマスレバ、段々申上ゲタヤウナ譯デ、立憲政體ノ一トシテ立法ノ機關ヲ構成スルコトヲ要シ、之ヲ構成スルニ付テ代議制ヲ要スル、ソレガ根據デアリマシテ、ソレヲ變革スルコトハ即チ前カラ申上ゲタヤウニ根本ヲ改メルノデアリマスカラ、立法院ノ代議院デアアルモノヲ破壤スルト云フコトニナルノデアリマス、是故ニ立法院ガ其質ヲ失ヒマスレバ茲ニ變革サレタコトニナル、ソコデ今日ノ事實上憲法カラ申シマスルト、只今仰セニナリマシタヤウニ貴衆兩院ヲ以テ組織スル、ソレハ憲法ノ形式上書表ハシテ居ルノデアリマス、茲ニ所謂立憲政體ト申シマスレバ代議士ヲ基礎トシタル立法院デアリマス、ソコデ貴族院ハ此見地カラ行キマスルト云フト、代議士ヲ基礎トシタル立法院トハ言ハナイ、是故ニ此變革ノ問題ニ付テハ貴族院關係ハ別問題デアリマス、唯、貴族院ヲ廢シテ宜シイト云フコトハ、段々政府ノ側ヨリ申上ゲマシタヤウニ廢止ト云フヤウナコトハ今日考ヘテ居リマセヌ、又ソレガ適當デアルトハ申シテ居ラスノデアリマス

○吉田委員 政體ノ變革ト書イテアリマスガ、是ハ普通ノ觀念ニ於キマシテハ國家組織ノ大要ヲ指シテ居ルヤウニ信ジテ居ルノデアリマス、而シテ司法大臣、内務大臣ノ御説明ニ依リマスルト、根本ノ所謂代議制ヲ破壤致シマシテ此法令ニ觸レルモノデハナイカ、サウ致シマスルト此「政體」ト云フ文字ハ餘リ廣汎過ギハシナイカト思フ、廣クシテ法律ガ指シテ居ルモノヨリ範圍ガ廣イト云フ結果ニナリハシナイカト思ヒマスガ、政府ノ御所見ハ如何デゴザイマスカ

○山岡政府委員 其點ハ御説ノ通りデ

アリマシテ、「政體」ト云フ字ハ憲法ノ形式上カラ申シマスレバ、憲法ニ書キ表ハシタ各條章中、之ニ關係致シマスルモノヲ謂フノデアリマス、單リ代議士ヲ基礎トシタル立法院ト云フ意味デハナイノデアリマス、唯、是ハ變革ト云フコトニ結付ケテ御考慮ヲ願ヒタイ、之ヲ變更スルコトニナレバ或ハ「變改」ト改メルカ、「變更」トスルヨリ外ナイ、サウナルト廣イ意味ヲ持ツノデアリマス、即チ政體ト云フ關係ガ廣イノデアリマスカラ、ソレヲ少シデモ直セバ變更トカ變改ト云フコトニナル、併シ此所ニハ「變革」ト書イテアリマシテ、此變革ト云フ行爲ニ依ッテ「政體」ト云フ字ハ廣クトモ根本ヲ覆サレナクテハナラナイ、斯ウ云フ趣旨ニナルト考ヘマスノデ、今日マデ左様ニ申上ゲタ次第デアリマス

○吉田委員 サウスルト寧ロ司法大臣ノ御説明ノ如ク、之ヲ「政體」ナンカト云フ文字ヲ使ハズシテ、所謂民選議員制度ヲ破壞スルト云フ意味ニ御考ニナルカ分リマセヌガ、サウナルト吾モモ疑義ガナクナッテ非常ニ明白トナルガ如何デゴザイマスカ

○小川國務大臣 政府ノ解釋ハ、今日ノ實際ヲ申シマスレバ、貴族院トカ樞密院ハ這入ラナイ、サウスレバモウ少シ良イ言葉ハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ區々デアラウト思ヒマス、今日ノ言葉ヲ使ッテアトハ解釋ニ任セ

タノデアリマスガ、今吉田君カラ述ベラレタヤウナ言葉ノ方ガ、此法律案ノ趣意ヲ言ヒ表スニ適當デアルカモ知レマセヌ、其言葉ニ付テハ尙ホ研究モシ是以上明確ナ言葉ガアレバ之ヲ改メルニ吝デナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○吉田委員 其次ニ私有財産制度ノ問題デアリマスガ、之ニ關シマシテハ是マデ屢々御説明ガアリマスシ、又御質問モアツタノデアリマスガ、政府ノ御説明ニ依リマス、所謂生産機關ノ總テヲ國有ニスルトカ、サウ云フ問題デアッテモ、賠償ヲシテ國有ニスルト云フコトニナレバ私有財産制度ノ根本ヲ崩サヌノデアルカラ、此法律ニハ該當シナイト云フ御説明ノヤウニ承リマシタ、所ガ憲法ノ二十七條ヲ見マスルト「日本臣民ハ其ノ所有權ヲ侵サル、コトナシ公益ノ爲必要ナル處分ハ法律ノ定ムル所ニ依ル」公益ノ場合ニ於テハ賠償ニ拘ラズハ國有ニ爲スコトヲ得ルト信ズルノデアリマス、サウスルト賠償論ガアルカラ、賠償スルト云フコトハ私有財産制度ヲ認メルノデアルカラ宜シイト云フコト、少シ矛盾シナイカ、大部分ノ財産ヲ國有ニスルト云ウテモ、公益ナラバ總テノモノガ出來ルト信ジマス、併シ私有財産ヲ國有ニスルコトハ出來ナイト思ヒマス、故ニ是マデノ政府ノ御説明ノ通りデハ賠償ト云フコトガ根據ニナレバ、此憲法ノ二十七條

ト衝突スルヤウニ考ヘマス、隨テ此法律案ガ無効ニナリハシナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、此點ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 此點ハ私有財産制度ノ否認ト云フコトニ關シマシテハ、重要ナル關係ヲ有ッテ居リマスノデ、成ベク之ヲ明瞭ニナルヤウニ申上ゲタイト思ヒマス、生産財ノ總テヲ公有ニスル國有ヨリモ寧ロ公有ト云フ方ガ宜イカモ知レナイト思ヒマスガ、公有ニスルト云フコトガ、ソレガ賠償ニ依ッテ行ハレルト云フコトヲ段々政府側カラ申上ゲタコトハ、賠償ト云フコトハ所有權ヲ認メルト云フコトヲ前提トシナケレバナラス、即チ對價ヲ給スルト云フコトニ於テ所有權ノ必要ト働ガアルト思ヒマス、之ヲ沒收スルト云フコトニナレバ、所有權ヲ認メヌ觀念ニナルト思ヒマス、デアリマスカラ生産財ノ總テヒマス、デニスレバ、名ハ公有デスガ沒收シ公有ニスレバ、名ハ公有デスガ沒收シタト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フコトニナルト私有財産制度ヲ否認シタコトニナリマス、之ニ反シテ所有權ノ存在ヲ認メテ行クカラシテ賠償ト云フコトガ出テ來ルノデアリマス、斯ルガ故ニ賠償スレバ本法ニ牴觸スルヤウナモノデナイト云フ一應ノ形ノヤウニ説明ガ今デアッタ譯デアリマス、併シ今一ツ踏込ンデ申上ゲルト、賠償ト云フコトハ要スルニ所有權ヲ認メタト云フ一ツノ徵象デアリマス、之ヲ刑

ト衝突スルヤウニ考ヘマス、隨テ此法律案ガ無効ニナリハシナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、此點ニ對スル政府ノ御意見ヲ伺ヒマス

事裁判ノ面カラ申セバ、私有財産ヲ否認シタカシナイカト云フ根本問題ニ過ギマセヌ、ソレデ所有權ヲ否認シナイト云フコトナラバ對價ヲ給シナケレバナラス、ソレヲ取上ゲタナラバ所有權ヲ否認シタト云フコトニナルノデアリマスカラ、賠償シタカ否ヤト云フコトハ一ノ證據問題デ徵象問題ニ過ギナイノデアリマシテ、之ヲ以テ絕對ニ賠償サヘスレバ私有財産ノ否認ニハナラヌト云フ譯デハナイノデアリマス、段々政府カラ申上ゲタ事ニ付テモ、茲ニ述ベ來ツタ事ヲ御參酌下サレバ宜イヤウニナッテ居ルト申上ゲテ宜イノデアリマス、サウ云フ次第デ憲法ノ二十七條ノ問題ハ所有權ヲ侵サレルコトノナイト云フノガ原則デアリマス、此原則ニ牴觸スルト云フコトハ即チ生産財ノ全部ヲ公有ニスレバ二十七條一項ニ牴觸スルノデアリマス、ソコデ二項ニ依ッテ是デ公有ニシタナラバドウカト云フ問題ニナリマス、生産財ノ總テヲ法律ニ依ッテ公有財産ニスルト云フコトガ如何ナル時代ニ於テ出來ルカ、是ハ時ノ問題デアラウト思ヒマス、サウ云フコトガ假ニドウ云フ事情カラ起キテ來ルカ、今ノ所デハ吾モハ想像スルコトガ出來マセヌ、必要ナル處分ト申セバ鐵道ノ敷地ヲ買收スルトカ、斯ウ云フ意味ノ公益ニ便ガアルカラシテ、其土地ノ所有權ニ制限ヲ加ヘルト云フ例外規定ニ止ルモノデアリマスカラ、此例外

規定ヲ解釋スルニ付テハ、大體法律ノ解釋關係ハ狹クナラウト思ヒマスガ、併シ二十七條ハ別ニ但シト云フ意味デモアリマセヌ、一項二項ニ考ヘテ居リマスカラ、二項モ共ニ法律解釋ガ出來ヤウカト思ヒマスガ、法律組織ノ全體カラ觀察致シマシテ、生産財ノ總テ公ニシテシマフト云フコトハ、二十七條ノ二項ニ依ッテモ出來ル觀念トハ信ジナイノデアリマス、是故ニ此二十七條二項ハ御説ノ如ク賠償ガアルト云フコトハ當然デアラウト思ヒマスガ、大體ハ立法スルニ當ッテハ賠償附デ今日ヤッテ居ルノデアリマス、ソレヲ少シモ賠償シナイデ一部分ヲ引上ゲルト云フナラバ宜イノデアリマスガ、生産財ノ總テヲ引上ゲルト云フコトハ、二項ニ於テモサウ考ヘルコトハ適當ト思ハヌ

ノデアリマス、要スルニ生産財ヲ公有ニ反對價值ヲ給付シナイデ取上ゲルト云フコトハ、二項ニ於テモ出來ナイデアラウト思ヒマス

○吉田委員 サウスルト公益ト云フ問題ガ、私ノ考デハ社會ノ進歩ニ伴フテ變ルモノデアルト信ズルノデアリマス隨テ此法律ノ觀念上ニ於テハ、ソコニ私ハ在ルト信ジマスガ如何デアリマセウカ

○山岡政府委員 此點ハ先程治警十七條ノ問題ガゴザイマシテ、十七條ヲ立法シタ時若クハ其數年前、即チ世界大戰前ニ於ケル適用ト今日ノ適用トノ餘

程變タコトハ事實デアリマス、是等ノ事柄ハ矢張社會ノ進歩ニ伴ウテ法律ノ適用ガ餘程變ルデアラウト思ヒマス、社會ガ漸次進シテ各方面ニモ正當ノ所有權ヲ制限シナケレバナラスト云フコトニナレバ、是ハ必ズ解決サレルト思フ、此場合ニ於テ公益ト云フ解釋ノ根本的觀念ハソレハ同ジデアリマセウ、併シソレヲ適用スル範圍ハ必ズ伸ビルコトニナラウト思ヒマス、ソレカラ現ニ司法省ノ所管ニ屬スル借地借家法ノ如キハ之ヲ大都市ニ施行シテ居リマス、是ハ實ハ所有權ニ大ナル影響ヲ及ボシテ居リマス、契約ノ自由ヲ以テ土地ハ何時ニテモ催促次第明渡スヘシ「斯ウシタ所デ建物ガ朽廢スルマデハ明渡サナイデ宜イト斯ウ制限シテ居リマス、借家ニシテモ催促ヲ受ケレバ直ニ明渡スト書イテ居ッテモ一年間ハ明ケル必要ハナイ、即チ契約者ノ意思當事者ノ意思ハ客觀的ニ全ク制限サレテ居ル、ソコデ今日東京ノ土地ハ借地權ガ非常ナ價值ヲ有ッテ居ル、元ハ借地權ハ價值ガ無カッタ、所有權ダケガ價值ガ有ッテ、借地權ハ價值ガ無カッタ、然ルニ今ハ借地權ガ價值ヲ持ツヤウニナッテ來タ、是ハ即チ法律ニ依ッテソレダケノ制限ヲ受ケテ來タ、是ハ二十七條ノ公益ノ爲必要ナル處分ヲシタト云フノヂヤナイ

他ノ立法ニ依ッテ左様ナコトニナッテ來ル、民法ニ於ケル所ノ所有權制限ハサウ云フ譯デアアルカラ段々發達シテ、世

ノ事情ノ變ルニ從ッテ變ッテ來ルコトハ御説ノ通りデアリマス、今日ニ於テ申上ゲル所ハ曩ニ御答シタ通りデアリマス

○吉田委員 只今ノ説明ヲ承リマス、此委員會ノ始ツテ以來ノ御説明ノ所謂賠償論ト云フモノハ、根據ガナクナリハシナイカト思フノデアリマスガ、如何デゴザイマス、公益デサヘアレバ賠償シヤウガスマイガ法律ヲ以テ制限出來ルト思フ、此點ヲ……

○熊谷政府委員 吉田サンノ憲法第二十七條ノ二項ヲ引カレテ、公益ノ爲ナラバ必要ナル處分ハ法律デ勝手ニ出來ルヂヤナイカ、生産材料生産機關、總テ國有ニスルコトハ差支ナイヂヤナイカ、サウスレバ一條ノ私有財産ノ制度ヲ否認シテモ一向差支ヘナイヤウニナルヂヤナイカト云フ御説ハ一應御尤デス、唯、一ツ玆ニ御注意ヲ願ヒタイノハ、憲法第二十七條二項ノ公益ノ爲必要ナル所ノ處分ハ法律デハ定メマセウ、勝手ニ定メマセウケレドモ、今日ノ程度ニ於テ人ノ物ヲ只所有權ヲ取上ゲテ賠償モセズニヤルト云フヤウナコトハ、全然アルマイト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、若シサウ云フ時代ニ到達シテ來タ、所謂星變リ物移ッテサウ云フ時代ニ到達シタナラバ、最早治安維持法案ノ必要ナイ時代ニ到達シタト云フ私ノ方ハ考デアリマス

○吉田委員 第一條ナリ第二條ヲ見マ

スト、第二條ニハ「前條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ」云々トナッテ居ル、第一條ヲ見ルト「國體若ハ政體ヲ變革シ又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知リテ」云々トアリマス、詰リ結社罪ヲ第一條第一項デハ罰シテ居ル、第二項ニ來ルト「前條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ニ關シ」トアル、前條ノ第一項ノ目的ト云フノハ結社マデヲ含ムノデアルカ、或ハ否認ノ程度ニ於テ之ヲ止メルノデアルカト云フノガ少シ疑問デアリマスガ、如何デアリマスカ

○山岡政府委員 此點ハ斯様ニ御解釋ヲ願フノデアリマス、即チ「國體若ハ政體ヲ變革シ又ハ私有ノ制度ヲ否認スルコト」ソレガ即チ事項ニナル、其事項ヲ實行スルコトガイカナイノデアリマス、其實行ヲ協議シ煽動スルコトガ二條三條デ取締ッテ居ル、斯ウ云フノデアリマス

○吉田委員 ソコデ第二條ノ協議デアリマス、例セバ爆彈ヲ造ラウデハナイカ、所謂第一條ノ目的ヲ以テマシテ人ニ話ヲスル、對手方ガソレハ考ヘモノダ、翌日ニナッテ其協議ヲスル、是ハ御免蒙リタイ、是モ私ハ協議ニナラウト思フ、其際モ前日ニ於テ相談ヲ受ケタカラ直ニ「協議」ト云ヘルノデアルカ、是モ含マレルノデアルカ

○山岡政府委員 只今ノ御質問ノ點ガ

即チ協議ニナルカナナイカノ一番困難ナ點デアリマス、協議ハ即チ兩者ガ一ツノ目的ニ向ッテ同ジ考ヲ以テ如何ナル事柄ヲシヤウカト云フコトハ、モウ疑ナク協議デアリマスガ、一方カラ申込デ斯ウヤラウデハナイカ、相手ガ之ヲ否認シテシマウト、果シテ協議ヲシタノデアアルカト云フ問題ニナリマス、茲ニ協議ト云フコトハ、兎ニ角多數ノ人ガ寄合ウテ、サウシテ變革ノ事項ニ關シテ協議ヲシテ、甲ハ爲サウ、乙ハヤメヤウト斯ウ言ッタコトハ、兎ニ角ソコニ危險性ヲ生ズルカラ罰スベキモノデアラウ、ソコデ具體的ニ今一ツ申上ゲレバ、甲ガ乙ニ對シテ此實行ヲ爲サウデハナイカト協議ヲシテ方法ヲ論ジ乙ハイヤ、左様ナ事ニ應ゼラレナイ斯ウ言ッタ時ニ、乙ハ此法律ニ依ッテ罰スベキモノデヤナカラウ、唯、甲ヲ罰スベキヤ否ヤト云フト、誠ニ極端ナ問題ニナリマスガ、其甲ハ乙ガ應ズレバ是ハ罰スベキコトニ何人モ異議ハ無カラウ、然ラバ應ジナイ場合ハドウカ、相手ガ應ジタト否トヲ問ハズ協議シタニ違ヒナイ、危險ナル行動ヲ執ッたら違ヒナイ、仍テ此法律ニ於テ罰スベキガ相當デアラウ、先ヅ斯ウ云フコトニ今日政府ノ考ハ致シテ居ルノデアリマス、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○吉田委員 サウスルト此協議ヲシタダケデ乙ガ之ヲ否認致シマス、ソレガドレダケ法域ヲ害シタカト云フコトニナル、協議ヲ持ッテ出タ人、是ガ一寸私ハ疑問デス、危險性ハアリマセウケレドモ、法域ハドレダケノモノヲ害シテ居ルカト云フコトハ問題ニナッテ來ルナリマス、法域ヲ直接ニ侵害スルト云フコトハ刑法ノ立前デアリマス、此案ハ取締法トシテ危險狀態ヲ罰スベキ、即チ法域ヲ未ダ害セズトモ害スベキ虞ノアル場合ニ於テハ保護スル、利益ガ非常ニ重大デアアルカラ、ソコデ之ヲ取締ラウト云フノデアリマス、其點ノ御了承ヲ得マシタナラバ、只今ノ問題ノ解決ハ出來ヤウト思フ、法域ガ重大デア、此法域コソ今日ニ於テハ非常ナ大切ナモノデアアル、是故ニ直接實行セズトモ、害スル虞アル所ノ行動ヲ取締ラナケレバナラヌ、仍テ此結社カラ協議煽動ト云ッテ居ル、煽動ニナリマスフト、一人ガ危險ナル行動ヲ執ッテ多數人ガサウ云ッテ傾向ヲ持ッコトヲ罰シヤウト云フノデアアル、一條ニ掲ゲテアル事柄ヲ實行シヤウトシテ、其意思ヲ發露シテ相手方ニ協議ヲシタト云フト、形式上ハ協議シタニ違ヒナイ、唯、結果カラ云ヘバ成立タナカッタ、此協議不成立ニ終リタルトキハ云々ト書イテ置ケバ除外サレマスケレドモ、犯人ノ方カラ見テ協議ヲシタト云フコトダケハ言ハナケレバナラヌト云フコトニナラウト思ヒマス

○吉田委員 第三條ノ問題デアリマス此煽動ト云フコトニナリマス、所謂意思表示、又其他ノ手段デ、相手方ガ多數ノ人ニ對シテ或ル感情ヲ傳ヘ、其結果實行スルト云フ場合ニ、是ハ煽動ダト信ズルノデアリマス、サウ致シマスト斯ウ云フ疑問ガ起キテ來ルノデアリマス、此條文デハ宣傳ハ罰シテナイノデアリマス、或ル學者或ハ知名ナ人ガ宣傳ヲ致シマス、公表致シマス、共產主義ノ公表ヲ致ス、ソレヲ多數ノ人ガ見タナラバ、アノ人ガ斯ナ議論ヲ吐カレルンダ、サウスレバ吾々ハ實行スベキデアアル、斯ウ共鳴シテ來ル人ガ澤山アラウト信ズルノデアリマス、其際ニ於テ後者ハ罰セラレル、受ケタ方ノ人ハ——是ハ受ケタト申サレヌカモ知レマセヌガ、相手方ノ方、乙ハ總テ煽動ニ應ジテ實行シタト云フコトデ罰セラレル結果ニナラウト思ヒマス、是ハ私ノ所見デアリマスガ、政府ノ意見ハドウデアリマスガ、是ハ感情ニ支配サレテ決意ヲサス力ガアルト思フ、實際宣傳ノ意思ヲ以テシテモ、相手方ノ人ハチャント罰セラレルノデアリマスカラ、サウスルトオ前ノハ宣傳デヤナイ、宣傳ノ度ヲ越エテ煽動シタ、斯ウ云フコトニナリハセヌカ、政府ノ所見ヲ聽イテ見タイ

○山岡政府委員 相當ナル人格ヲ有ッタ人ガ本法所定ノ事柄ヲ論ジタ場合ニ於テ、之ヲ讀ンダ所ノ者、若クハ聞イタ所ノ人ガ感動シタ結果、本法所定ノ事柄ヲ實行シタ場合、斯ウ云フ場合ニ於キマシテ、第三條ニ於テハ相手方ガ實行シタト否トニ關係ハ無イノデアリマスカラ、相手方ハ實行シテモシナクテモ關係ハ無イ、實行シタ場合ニ於テハ、或點マデ進ンデ來テ、暴動ノ豫備陰謀デアルトカ、或ハ治安警察法ニ謂フ所ノ犯罪デアルト云フ場合ニハ、其方デ別罪ヲ構成致スノデ、第三條ノ相手方トシテ罰スルノデアアリマセヌ、煽動ヲ致シタ場合ニ於テモ、相手方ヲ三條ニ依ッテ罰スルノデアハナイ、三條ハ煽動シタ方面ダケ罰スル、今例ニ御引キニナリマシタ新聞デアルト、或人ガ或記事ヲ書イタ、ソレガ爲ニ讀者ガ動イタト云フ場合ニ、ソレハ三條ニ於テ罰シナイノデアアリマス、隨テ相手方ガ罪ニナルカナラヌト云フコトハ三條ハ關係ガ無イ、サウスルト多少矛盾ナ取締ヲスルノデアハナイカト斯ウ云フ御非難ヲ受ケルコトハ確ニアル、即チ身分アル者ガ宣傳文ヲ書クト或青年ハソレヲ讀ンデ非常ニ感動スルガ、極ク詰ラナイ人ガ書イタトテ誰モ信ズル者ハ無イ、信ズル人ガ無イニ拘ラズ罰シテ、信ズル者ガ多イニ拘ラズ罰シナイノハ、實際ノ取締上矛盾スルデアハナイカト云フ御意見デアリマスガ、此問題ニ付テハ斯様ニ御答スルノデアアリマス、即チ思想ノ自由ト云フモノハ何所マデモ保護シナクテハナラヌ、學校デ例ヘバ社會學ノ講義ヲスル、經濟學ノ講義ヲス

ノデアリマス、現ニ先般或處デ行ハレマシタ集會、而シテ警察官ニ對シテ非常ナ抗爭シタ人ノ中ニハ、今日マデ其主義ニ付テ非常ニ熱心ナル人ガアリマス、サウ云フヤウナル人ミハ之アルガ爲ニ自分ノ主義ヲ實行スル或ハ勸メルト云フ上ニ於テ不便ト感ジテ、反對ノ運動ヲシテ居ル者ガアリハセヌカト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此事ハマダ事實ハハッキリ判リマセヌカラ、確ナ事ヲ申上ゲラレマセヌガ、此法案ガ出ルト云フコトニ付キマシテ、露西亞方面カラ既ニ反對ノ運動ヲシテ、東京ニ於ケル或有力ナル人ノ方ヘ運動ヲ起シテ居ルト云フ情報モ露西亞方面カラ得テ居ル、斯ウ云フヤウナ事モ多少原因ニナツテ居リハセヌカト思ウテ居リマス、其他學者ノ説ガ斯ウ云フ事ヲシテハ却テ宜クナイト云フ、純粹ナ意見ノ説モアリマセウシ、又主義ハ宜イケレドモガ、此法文ガ曖昧デアルト云フ反對ノ運動モアルカト思ヒマス、今ノヤウナ多少危險ノ考ヲ有ツテ居ル人ノ宣傳モアルモノト當局ハ見テ居リマス、附加ヘテ申シマス

間ガ誤解シテ居ルト仰シヤル、「政體」ト云フ文字ヲ出シテ置イテ、是ハ民選議員ダケノコトダト仰シヤルケレドモ、世間ノ人ハソレ以外ノモノト解スル方ガ寧ロ當前ナノデアアル、私ハ斷ジテ言フガ、ソレハ政府ガ誤解サレテ居ル、政府内デモ今朝程來岩崎政府委員ハ、裁判所ノ變革モ貴族院ノ變更モ政體ノ變更ダト御説明ニナツタ、未ダ二時間ヲ出ズシテ、同司法省ノ小川君ハソレハ間違ダト仰シヤル、自分ノ方ガ分ラヌ法案ヲ提案シテ置イテ、日本全國民ニ向ッテ世間ガ誤解シテ居ルト仰シヤルノハ私ハ不遜ダト思フ、餘程御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラシテモウ一言私ガ申上ゲタイノハ、露西亞ノ方カラシテ治安法反對ノ運動ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、此議會デ左様ナ事ヲ仰シヤルナラバ、私ハ具體的事實ヲ伺ヒタイ、是ハ吾々國民ヲ代表シテ立法ニ參畫シテ居ル者ニ重要ナ關係ガアリマス、本當ニ左様ナ事ガアルノデアリマス、無イ事ヲ言ッテ委員ヲ威シタリ世間ヲ威スコトナラバ是ハ狡猾デアアル、ソナ口吻デ以テ此議案ヲ通サウナドト云フコトハ狡猾ト思ヒマス、併ナガラ本當ニ露西亞ガ國交ガ恢復シタノハ一昨日デアリマス、マダ批准交換ニナツテ居リマセヌ、其時ニ當ッテ業ニ既ニ日本ノ立法院ニ干涉スルト云フコトハ、是ハ未ダ批准交換サレザルガ好イ時機デアリマス、本當

ニ承ッテ置キタイト思ヒマス、先般モ川崎局長ハ日本農民組合ノ間ニ、露西亞共產黨ノ手先ガ動イテ居ルカノ如ク暗示サレタコトガアリマス、是ハ暗示デアリマスルガ故ニ、局長モ其時分ニハ言葉ヲ慎マレテ責任ヲ負ツタ言論デナカッタノデアリマス、私ハ委員會ノ速記録ヲ拜見致シマシタ、之ニ付テハ強テ糾彈ヲ致シマセヌケレドモ、今露西亞ノ國カラシテ治安法反對ノ運動ヲシテ居ルナドト云フコトヲ此所デ仰シヤル以上ハ其事實ヲ承リタイ、私ノミナラズ他ノ委員諸君モ同感カト思ヒマス

○川崎政府委員 前問ニ付テ御答ヲ致シマスルガ、只今補足シテ申上ゲタル如クニ、學者ノ説トシテハ、斯ウ云フ法案ヲ出シテハ却テ害ニナルト云フ純眞ノ理窟カラ反對サレテ居ル人モアル、又趣旨ハ賛成デアアルケレドモガ、法文ガ曖昧デアルト云ウテ不賛成ヲ唱ヘテ居ル人モアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、デアリマスルカラ總テノ人ガ誤解スルト云フコトニ付テハ餘リ深ク申上ゲマセヌデシタガ、附加ヘテ只今ノ事ヲ申上ゲタノデアリマス、總テノ人ガ誤解ノ爲ニ運動シテ居ルト云フコトハ申上ゲテナイ、後カラ補足シテアリマスル、露西亞ノ問題ニ付キマシテハ是ハ只今申シマシタガ如クニ確ナ事ガ分ラナイ、唯、サウ云フ情報ガアル、是ハ露西亞ト云ウテモ露西亞本國デアリマセヌ、長春方面デアリマスガ、其邊カラサウ云フ情報ガアルト云フコトダケヲ申上ゲタノデアリマス、確ナ事トハ申上ゲナイ

○清瀨委員 其情報ハ誰カラ來タカ御提示ヲ願ヒタイ、勝手ニ情報ガアルナドト言ウテ、委員會ノ空氣ヲ動かサウトスルコトハ甚ダ遺憾デアリマス、若シ秘密會ノ必要ガアレバ秘密會デモ宜シウゴザイマスガ、本當ニサウ云フ情報ガ來テ居リマスレバ拜見シタイ

○川崎政府委員 是ハ私ノ方ノ警察上ノ秘密ニ屬シマスカラ、只今此處デ申上ゲル譯ニ行キマセヌ、又機會ガアッタラ其通信ヲ申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○清瀨委員 斯様ナル事ヲ爭ッテ居ッテモ益ノ無イ事デアリマスカラ、私ハ露西亞ガ運動シテ居ルト云フ局長ノ意見ハ根據薄弱ト斷定シテ、次ノ實體問題ニ移リタイト思ヒマス、倍テ此委員會及本會議デ——今國務大臣ハオキデニナリマセヌノハ甚ダ遺憾デアリマスルガ、最早審議ノ時間モ短クアリマスルカラ政府委員ニ質問致シマス、ドウカ後デ又出テ來テ取消サナイヤウニ御願シテ置キマス、此本案デハ今マデノ憲法ヲ超越サレテ、憲法ノ法文ノ上デハ立憲政治ハ貴族院衆議院兩院カラ成ル、斯様ニナツテ居ルケレドモ、憲政ノ本義カラ見レバ民選議員ガ即チ立憲政治ダト云フ、ソレデ民選ノ議員ヲ變革スルコトガ、此法律ニ謂フ政體ノ變更

ダト斯様ニ仰シヤラテ居ルノデアリマス、其文字ガ法案ノ文字ニ匹敵スルヤ否ヤハ無論甚ダ疑ハシイ、此所デ私ガモウ一步進ンデ御聽シタイ事ハ、今マデノ事ハ善カレ惡シカレ、度々仰セラレマシタガ、國民カラ選ンダ議員ノアルト云フコトバカリガ立憲政治ノ真髓デアアルカドウカ、民選議員ガ存在スルト云フバカリデハナク、此議員ニ依ッテ極メテ廣キ範圍ニ於テ立法ガ出來ル、我國ハ各國ト違ヒマシテ、萬世一系ノ陛下ヲ仰イデ居リマスカラ、事皇室ニ關スルコトハ別ト致シテ、又男ヲ女ニスルコトハ出來ナイガ、其他ノ事ハ皆出來ルト云フ傾向ノ思想ガ立憲政治ノ真髓デハナイカト思ヒマスガ、政府ノ方デハ議院サヘアレバ、議員ノ職能ハ多ク眼中ニ置クニ足ラスト云フノデアリマスカ

スルト云フコトハ、立憲政治ノ上ニ於テ遺憾ナ事ト思ヒマス、即チ政府ガ最も大切ニサレント欲スル立憲政治ガ、却テ此立法ニ依ッテ制限サレルト云フ結果ニ相成リハシマイカ

礎ヲ變革スルト云フコトハ、此第一條ニ依ッテ常ニ違法行爲デアリマス、ソレデアアルカラ刑法ノ總則ニ於テ三十五條以下ニ明文ガアリマス、是ハ甚シキ例外デアリマシテ、之ニ悞タモノハ無罪デアアル、其方面ニ於テ議員ノ職能ヲ論ジマシタノデ、犯罪成立ノ方ニ於テハ、議員ノ職能ニ付テ申サヌノデアリマス、立憲政治ヲ根本的ニ破壞スルコトハ犯罪デアアル、刑法ノ總則ニアル所ノ議院ノ職能ニ關スル上奏ハ、政府トシテハ是ガ出來ルト云フ前提カラ御答ガ致シテアリマス、此様ナ強イ上奏ヲスル場合ニ、院内ニ於テ爲スナラバ議員ノ職責トシテ違法ニナラナイ、御承知ノ如ク刑法ニ於テ議員ハ院内ニ於テ全ク言論其他總テノ行動ニ於テ自由デア

クトハ何カト云フト事實ノ問題デア

○熊谷政府委員 是マデノ國務大臣ノ答辯ニ依ッテ見マシテモ、單純ニ議院ガアレバ宜シイト云フコトデナク、國民ヨリ選バレタル所ノ、即チ國民ヲ代表スル議員ガアッテ、是ガ立法ニ參與スルコトガ即チ根本デアアルト云フコトヲ御答ニナッテ居ルヤウデアリマス、私モ亦サウ考ヘマス

○山岡政府委員 只今ノ御質問ハ、立憲政治ノ基礎ヨリ出デタル其職能デ如何ニスルカト云フ問題ト心得マス、立憲政治ヲ爲ス所ノ機關ノ働キ、即チ職制問題ニ付キマシテハ、本法ニ於テ觸レナイ積リデアリマス、即チ立憲政體ノ基礎ヲ破壞スルト云フコトヲ法域ト致シテ居リマスノデ、其立憲政體ガ存在シテ如何ナル働クスルカト云フコトハ、時代ノ趨嚮ニ從ッテ變更ヲシテ差支ナイト思ヒマス、本法ニ於テ之ヲ制限スル譯ハナイノデアリマス

○清瀨委員 先般ノ前田委員長ノ質問ニ對シテハ、憲法變更ノ上奏ヲ院内ニ於テ爲スコトハ、刑法ニ謂フ所ノ議員ノ職務上ノ行爲トシテ許サレテ居ル、併シ一朝議院外ノ政黨本部其他ニ於テ、憲法變更ノ上奏ヲ提出スルコトニ付テ協議ヲシ、又之ヲ結社ノ政綱トシ、他人ヲ勸誘スルコトハ違法ニナルト御説明ニナッタノデハゴザイマセヌカ、事微ナリト雖モ議員ノ職能ニ關スル點ニ於テハ、矢張政府ガ一番大切ダト思ッテ居ラレル立憲政治ニ、一ツノ疵ヲ付ケルコトニ相成リハセヌカ

○山岡政府委員 此點ハ頗ル關係スル所ガ重大デゴザイマス、立憲政體ノ基

○清瀨委員 左様致シマスルト、先般前田委員長ノ御質問ニ依リ、政府ノ御趣旨ノ一端ヲ拜承致シマシタガ、憲法變更其他重要ナル議院ノ上奏權ノ行使ニ付テ、苟モ不便ヲ來スヤウナ制限ヲ

○山岡政府委員 此點ハ頗ル關係スル

○清瀨委員 左様致シマスルト、上奏ガ立憲政體ノ根本ニ反スルヤ否ヤノ判斷ヲ議院外ノ者ガシナケレバナラヌ、院外デ以テ吾々ガヤル事ガ、目的ハ議院ニ上奏案ヲ提出シテ、法律案トシタイト云フ目的デアリマス、ソレガ出來ヌカバ多ク議院外ノ人ガ判斷ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フ結論ニ到著スルノデアリマス、私ノ間ヒマシタノハ議院ガ在ルト云フノデハナクシテ、議會デ立法ヲ行フノヲ、上奏ニ依ルナラバ直接行動ニ依ルコトガイケナイ、議院トシテ議院ノ決議デアルナラバ、諺ニ謂フ男ヲ女ニスルノデナケレバ、其他ノ事ハ何デモ出來ルト云フノガ議院政治ノ精神デハナイカ、政府ノ方デモ憲法ハ衆議院ト貴族院ト一ツニシテ、立憲ノ根柢ヲ保護スルト云フノデ、法律デ憲法ガ私ハ自由ニ出來ルトハ申シマセヌガ、之ヲ明白ニスル爲ニ極端ノ例ヲ出スト云フト、議會ノ立法機關ノ方デスルナラバ、私ハ所有權否認論者ト斷言シマセヌガ、所有權否認モ議會ニ於テ法律トスレバ出來ルンダ、議會

ニ於テ法律トシテ出來ル以上ハ、之ヲ斯ウ云フ徹底シタ考ガ今日ノ立憲政治ノ趣意デハナイカト思フ、サウスルト此法ヲ御提出ニナッタノハ、矢張立憲主義ヲ尊重サレテ、貴族院ヤ樞密院ナドヲ破壊シテモ——否認シテモソレヲ罪トハセヌガ、衆議院ヲ否認スルダケハ假令命令ニ依ラサル場合デモ、罪トスルト言ッテ、言葉ノ上ニハ衆議院ヲ尊重シナケレバナラヌコトノヤウデアアルケレドモ、其内實ハ議院ノ立法、代議士ノ活動、政黨ノ結社ニ拘束ヲ加ヘテ居ルカラ、ソレハイカヌ、是ハソレ自身我國ノ立憲制ニ害ノアルモノト、吾ミハ代議士ノ立場トシテ痛切ニ考ヘルカラ之ヲ更メテ伺フノデアリマス

○山岡政府委員 此法律ニ依リマシテ、立憲政體ノ上ヨリ來ル所ノ議院ノ職能ヲ制限スルガ如キ事柄ガアリマシタナラバ、重大デアルト云フコトハ御同感デアリマス、此法律ニ於テ毫モ制限スル考ハ無いノデアリマス、又之ニ依ッテ制限スルト云フコトガアッテハナラヌノデアリマス、ソコデ申上ケマスガ、法律ニ依ッテ此私有財産制度ヲ破壊スルコトガ、私共ハ出來ナイト思フノデアリマス、即チ憲法二十七條ヲ變更シナイ限りハ、私有財産制度ノ根柢ヲ破ルト云フ譯ニハ行カヌト思フノデアリマス、ソコデ此二十七條ヲ改正致シマスルニハ、議會ヲ通シテ云フ意味ニ於テモ上奏スル外ハナイノデアリマ

ス、此所デ上奏ノ權限ヲ議會ガ行使スルコトハ職務行爲デアッテ、毫モ差支ナイガ、之ヲ法律ニスルコトハ議院ノ職能デナイノデアリマス、一樣ニ出來ルト云フコトニハ此法律ニ制限ハセラレナイノデアリマス、而シテ院内外ノ行動ニナリマシタル行爲ハ、院外ニ於テ行動シテモ差支ナイト云フコトハ、段々御説ノアッタ所デアリマスルガ、此所ハ結局議院外ノ行動ト分離シタ職能行爲トシナケレバナラナイ、ソレヨリ引離サレタルモノデ議員ト雖モ議院外ノ行動ハ一個人ノ行動デアッテ、ソレハ職務行爲デアアルヤ否ヤニ依ッテ分レルノデアリマス、職務行爲デアルト認定スル立場ニ立テバ無罪デアアル、政府ニ於テハ職務行爲デナイト斯ウ考ヘル次第デアリマス、ソコガ説ノ分レル所デアリマス

○清瀨委員 結局政府ノ御考ハ憲法二十七條ガアル結果、私有財産廢否ノ法律ハ、我が憲法ニ於テ議院ノ權限外ダト斯ウ云フコトヲ言ハレル、是ハ憲法ノ解釋及兩院ノ權能ノ上ニ重大ナル關係ヲ持ッコト、思ヒマス、元來憲法二十七條ハ私有財産制ノ規則デハナイノデス、山岡政府委員ハドウ考ヘテ居ルカ知ラヌガ、憲法二十七條ハ所有權ノ上カラノ規定デ、私有財産制度ト所有權ノ制度トハ一致スルモノデナイ、私有財産制度ノ根本ハ法律ハ此沿革ヲ持ッテ居リマセヌ、寧ロ契約自由制度ガ私

有財産制度カラ來テ居ル、契約自由ト所有權ノ制度トガ相合シテ今日ノ資本主義ト相成ッテ、ソレヲ根據トシタル條文ガ私有財産制度トナッテ居ル、憲法二十七條ヲ引用サレテ吾ミノ權能ヲ——吾ミノ權能ト言ッテハ僭越デアリマスガ、日本ノ憲法ガ議院ニ與ヘタル此權能ヲ變更スルコトハ私ハ不當ト思ヒマス、ソレハ措イテ私ハ此日本ノ憲法ノ文字解釋論ヲ今シテ居ルノデハナイガ、或ハ後ニスルカモ知レマセヌガ——今政府委員ガ憲法ニハ貴衆兩院アルト云ハレルケレドモ、常識上カラ申シマスルト、立憲政治ノ本義ハ衆議院ニアリト謂ハナケレバナリマセヌ、サウ云フ意味カラ論シテ、此法律ト云フモノハ私財ノ變更、私有財産ノ問題ニ關スル議院ノ立法權ヲ制限スルコトニナリハセヌカ、斯ウ云フ事デアリマスカラ、諄イヤウデアリマスガ一番大切ナ事デアリマスカラ、御答辯ヲ得タイ

○山岡政府委員 議院ニ於キマシテ私有財産ニ關スル法律ヲ作リマスルコトハ、極ク廣イ權能ヲ持ッテ居リマスガ、先頃モ引例致シマシタ借地借家法ノ如キ、契約ノ自由ヲ全然無視シテ、法律デ私有所有權ヲ保護致シテ居ル、是ハ自由意思ニ依ッテノ處分ガ出來ル、ソレハ所有權ノ意味デアリマス、成程帝國議會ニ於テ制限スルト云フコトハ、サウ云フ次第デ所有權ヲ幾多ノ制限ヲ加ヘルコトハ一般ノ法制ニ於テ認メテ居

ル、又帝國議會ニ於テ今後モ幾多ノ法律ニ依ッテ制限サレルコト、思ヒマス、併ナガラ唯、私有財産制度ノ否認ニナリマスレバ、私有財産ノ根據ハ個人ノ所有權ヲ侵スヘカラス、斯ウ云フコトガ基礎ト考ヘルノデアリマス、即チ共產主義ノ極ハ總テ財産ヲ取上ゲテ、且ツ其國民ヲ平等ナラシムルト云フ所マデ行ッテ、所有權ヲ失ハシムルト斯ウ云フデアリマスガ、憲法二十七條ニ於テ日本臣民ハ所有權ヲ侵サル、コトナシトナッテ居リマスカラ、私有財産ノ根柢ヲ否認シテ憲法二十七條ニ違反スルモノト云フ點ハ、決シテ二十七條ニ關係ハ無いノデアリマスカラ、今後契約ノ自由ニ於テモ法律ニ牴觸シナイ限り自由デアリマシテ、帝國議會ニ於テモ亦自由ヲ持ッテ居ルモノト思ヒマス

○清瀨委員 言葉ノミ了解出來テ趣意ハ徹底致シマセヌガ、方面ヲ變ヘマシテ質問ヲ致シマス、ソレハ我國ノ政體ノ中デ民選議員ト云フモノヲ非常ニ重ク視ラレテ居ル、此事ハ私共賛成デアリマスガ、兎モ角モ別ニ見ラレテ、暴力手段デハナイ、合法ノ立法手段ニ依ッテモ之ヲ變更スルコトヲ問題トサレテ居リマスガ、他ノ立憲制度ノ三權ノ分立、即チ我國ハ天皇ノ名ニ依ッテ獨立セル裁判所ガ裁判ヲスル裁判ノ否定、是ナドハ此法案ノ中ニ這入ラナイト説明サレマシタガ、是ハ第二義的ノ輕イモノト思ッテ區別ヲ立テラレタノデアルカ、

其邊ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山岡政府委員 茲ニ政體ト書表ハシマシタル以上ハ、今日ノ憲法ヲ基礎トシテ此政體ト云フ字ハ現レテ居ル譯デアリマス、即チ三權ト云フモノガ存在シ、而シテ其三權ノ一ツデアアル立法ト云フコトガ憲法政治ノ本デアアル、立法アレバ茲ニ之ヲ運用スルト云フ途ガ出テ參リマスノデ、ソコデ立法ト云フ機關ハ最モ憲法政治ニ於テ大切デアアル、而シテ更ニ進ンデ其立法府ハ代議士ヲ以テ構成スル、即チ民選議員デナケレバナラヌノデアアル、民選議員デナイ所ノ立法府デアッタナラバ所謂今日ノ立憲政體デハナイ、斯ウ云フ根據ニ立チマシテ、而シテ其立法府ガ法律ヲ制定スル、法律ト云フモノハ申上ゲルマデモナク制定シタダケデ目的ヲ達スルモノニ非ズシテ、之ヲ適用シ、之ヲ活用シテ始メテ効果ノアルモノデアリマスカラ、立法シタ以上ハ當然之ヲ運用スル機關ガ現レテ來ルノデアリマス、其現レタル機關ガ司法デアリ、行政デアアルト考ヘルノデアリマス、是故ニ三權ト云フコトハ政體ノ意味ニ於テ認メナケレバナラヌ觀念デアリマスガ、何所ガ立憲政體ノ基礎デアアルカト申シマスト、立憲政體ノ基礎ハ民選議員ヲ基礎トシタル立法府デアアル、而シテ其立法府ハ民選議員ト云フモノヲ含ンデ居レバ宜イノデアリマシテ、今日ノ組織ヲ以テ絶對ナリト考ヘル必要ハナカラウ

ト思ヒマス、兎ニ角民選議員ヲ基礎トシタル立法府ト云フモノハ、此憲法政治ヲ立テル基礎デアリマスカラ、憲法ノ明文ヲ抽象的ニ觀察致シマスレバ、立法府ト云フモノガアレバ宜イノデアリマス、制定ノ由來ニ徴シテ民選議員デアレバ宜イノデ、ソレヲ變革スルト云フコトハ即チ根本的ノ變革デアアル、斯様ニ理會シ立法シタ譯デアリマス

○清瀨委員 我國ノ政治ヲ見マスト、天皇ニ種々ナル大權ガ附屬致シテ居リマス、宣戰、講和、軍隊ノ統帥、是等ノ事項ハ我國政體ニ故障ナキモノトノ御考デアリマスカ、又ハ是ハ國體ノ範圍ニ這入ルモノデアリマセウカ

○山岡政府委員 國體ハ萬世一系ノ天皇ニ依ッテ統治サレルト云フ範圍ノコトニ止マリマスルト申上ゲテ居ル譯デアリマス、隨テ此大權ト云フモノガドノ程度ニ存在シナケレバナラヌト云フ問題ニナリマス、自ラ別論ニナリマス、而シテ又政體ト云フコトハ、只今申上ゲマシタヤウニ立憲政體ノ基礎ト云フ意味デアリマスカラ、大權ノ範圍ガ制限サレル、或ハ擴張サレル、サウ云フコトニ依ッテ關係ハ致サヌノデアリマス

○清瀨委員 私ノ質問ノ答辯トシテハ寔ニ不明瞭デアリマシタガ、結局國體ト云フモノハ天皇ガ日本國ヲ統治サルルト云フコトデ、今私ガ舉ゲマシタ宣戰、講和、陸海軍統帥ト云フコトハ、國

體觀念ノ中デハナイト承ッテ宜シウゴザイマスカ

○山岡政府委員 統治ト云フ意味ガ關係致シマス、統治ト云フコトハ直接ニ御親裁ニナラナケレバ統治ニナラヌ、或ハ御親裁ニナラナイデモ統治ニナルカト云フコトニナリマス、是ハ憲法上重大ナ問題デゴザイマスガ、私共ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、統治權カラシテ他ノ機關ニ讓ッテ、而シテ其本ヲ統治ベルト、斯ウ云フ事サヘアレバ統治デアラウト思ヒマス、故ニ御親裁ニナッテモ、御親裁ニナラナイデ他ノ機關ニ之ヲ付託セラレテ居リマシテモ、本ヲ統治ベルト云フコトサヘアレバ統治ト云フコトニナルト思ヒマス、全部ノ事ヲ他ニ委託シテシマフト云フコトニナレバ統治ニナラヌト思ヒマス、ソコデ御質問ニナリマシタル關係ニ付テモ矢張左様デアリマス、此關係ヲ他ニ移シテ見タ所デ、本ヲ統治ベルト云フコトサヘアレバ宜イノデアリマス、故ニ大權ニ非ズシテ他ノ機關ヲ經テ統治セラレテモ、統治權ノ一ツノ行使形式ニ過ギナイト考ヘマス

○清瀨委員 統治權ノ行使形式ハ即チ政體デアリマセウガ、此所デ私ノ疑問ヲ懷キマシタノハ、衆議院ヲ左様ニ尊重サレテ、國民ノ代表ヲ重ク視ラル、コトハ私共賛成デアリマス、所ガ是ハ合法行為ニ依ルノ言議ヨリ許サヌ、天皇ガ陸海軍ヲ統帥サル、コト、宣戰、講

和條約ヲ締結サル、コト、是ハ樞密院ガ關與シマス、是等ハ我國ノ國體デハナクシテ統治權ノ一作用ト仰シヤル、此問題ニ付テハ合法的ノ行為ナラバ罪ニシナイデ、却テ衆議院ノ方ダケヲ罪ニスル、斯ウ云フコトデ此法案ノ統一ハ取レテ居リマスカ、吾々微々タル臣民カラ申シマスト、衆議院ノ存在モ亦國家ノ大本デアアルガ、天皇ノ大權亦是ヨリヨリ以上ナル根本方針デアルト思ヒマス、若シ衆議院ノ存在ニ付テ之ヲ損壞スル結社ヲ罰スルナラバ、陛下ノ陸海軍統帥ノ權限、宣戰、講和ノ權限ニ付テ言議スルコトモ亦同ジク罰セナケレバナラヌ、政府ハ皇室ニ薄クシテ議院ニ厚イ此謗ヲ免レマセウガ……

○山岡政府委員 決シテ二者ノ間ニ輕重ヲ置クト云フ意味デハゴザイマセヌ、寧ロ國體ガ我國ノ基礎デゴザイマス、其觀念カラ立案ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソコデ御質問ニ對シマシテ申上ゲタイノデアリマス、大權ノ範圍ト云フモノハ矢張是ハ先刻ノ御言葉ヲ以テスレバ職能デアアル、職能ノ範圍ノ伸縮ト云フコトハ未ダ根據ヲ失フニ至ラヌノデアリマス、ソレト同ジニ政體ニ於ケル職能ヲ増減スルト云フコトハ本法ノ毫モ關係ナイ所デアリマス、即チ議院ノ立憲政體ノ根據ノミヲ破壞スル點ニ本法ヲ適用セントスルノデアリマス、若シモ立憲政體ノ機關ニ委ネテアル職能ノ變更ヲモ本法ニ於テ許サ

ナイト云フコトニナリマスレバ、御説ノ如ク確ニ統帥權ニ關シテ保護ノ規程ヲ置カナイト云フコトハ、輕重大小ヲ誤ッタコトニナリマスカラ、本法ニ於テハ斯ノ如キ事ハ全ク規定外ニ置イテアリマス、即チ大權ノ範圍、議會ノ職能ト云フモノ、範圍、是ハ本法外ノ事デアリマス

○清瀨委員 政府委員ハ本法外ト言ハレテモ、此案文ガソレヲ示サナイ、獨リ案文ガ示サナイノミナラズ、國務大臣ノ今日マデノ説明ガ之ヲ示シテ居ラヌ、然ルニ之ニ付テ論議ヲ進メマス、又再ビ國務大臣ノ質問ヲ要シマスガ、事國家ノ重大事、根本デアリマス、天皇ノ統帥權ニ向ッテ宣戰講和ノ權限ニ向ッテ卑下——私ハ此卑下ト云フ言葉ハ惡イト思ヒマスガ、實際場合ニ依ッテ議會ガ之ヲシナケレバナラヌコトガアルノデス、例ヘバ日支聯邦ヲ造ラナケレバナラヌ場合モアリマセウ、國際聯盟ニ贊同シテ、其權限ヲ一箇所ニ集メナケレバナラヌト云フコトモアリマセウ、併ナガラソレ等ノ事ハ是ハ駁セズシテ、唯、民選議員々々々ト仰シヤツテ、衆議院デハサウ仰シヤルガ、又貴族院ヘ行ッタ貴族院ト仰シヤルカモ知レナイ、此案ヲ通過サセル爲メニ其場限リノ答辯ヲセラレテハ私共困リマス、山岡政府委員ヲ責メルニ急デハアリマセヌケレドモ、兎モ角此問題ニ付テハモウ一度國務大臣ノ御答辯ヲ戴クコトヲ

留保致シマシテ他ノ問題ニ進ミタイト思ヒマス、ソレデ政府ハ私有財産制ト云フコトヲ如何ニ見ラレテ居ルカト云フコトニ付テ私ノ意見ヲ少シ交ヘテ、政府委員ノ御見解ヲ伺ヒタイノデアリマス、我國ノ古來ノ風習トシテ、今西洋デ謂フ私有財産制、佛蘭西ヤ英吉利ノ人ノ謂フ私有財産制ト云フモノハ、爾ク我國ノ國民生活ノ根柢ヲ爲スモノデアルカドウカ、又如何ナルモノヲ私有財産制度ト仰シヤルカ、之ヲ聽カナイト、後日裁判所ガ之ニ付テ惑ヲ生ジマス、私有財産制ト云フコトノ見解ヲ要求致シマス

○山岡政府委員 私有財産ノ制度ト申シマス、現在ノ我國ニ於キマス民法商法其他ノ法令ヲ一切綜合致シテ考察致サナケレバナラヌノデアリマス、而シテ私有財産ニ關シマスル法令ノ保護スル秩序、是ガ即チ我國ニ於ケル財産ノ秩序デアリマシテ、ソレガ一つノ觀念トシテ見ラレル程度ノモノガ、之ガ一ノ制度ト考ヘルノデアリマス、ソコデ一二ノ例ヲ申上ゲマスルト、我國ニ於キマスル小作ノ制度、小作ノ制度ハ短キモアリマスルシ、永代小作ノ制度モアリマス、永代小作ト云フコトニナリマスレバ、單純ナル一ノ秩序デアリマセヌ、既ニ一ノ觀念デアリマス、小作權、斯ウ云フコトヲ申セバ是レ即チ私有財産ノ制度デアリマス、ソレ等ノ事ヲ總テ綜合サレタルモノヲ以テ之ヲ所謂制度ト考

ヘルノデアリマス、其次第ハデス、否認ト云フコトニナリマスレバ元ヲ一ニ致サンケレバナラヌノデアリマス、幾多ノ觀念ヲ綜合シテ、茲ニ一ツノ纏ッタル大本ヲ毀損スルト云フコトデアリマスカラ、段々此席ニ於テ質問應答ガゴザイマシタガ、私有財産ノ中ノ最も大切ナル生産ヲ脅スモノデアリマシテ、サウ云フ事ハ矢張私有財産制度ノ根柢ヲ破壞スルモノデアアル、斯ウ云フ風ニ述ベテ居ル譯デアリマス、サウ云フ次第デ全體ヲ否認スル場合ハ勿論之ヲ否定スルトシテモ、此所デ謂フ所ノ否認ハ斯様ナ譯デアリマスカラ、各個ノ私有財産ニ關スル法律上ノ秩序ヲ一ツ々々ニ此所デ研究スル必要ハナイ次第デアリマス

○清瀨委員 誠ニ判リ難イ御説明デアリマス、何ダカ雲ヲ掴ムヤウデ、何ガ私有財産デアアルカ洵ニ譯ガ分ラヌ、小作制度マデモ私有財産ト仰シヤル、ソナモノデ私共ナイト思ヒマス、全體我國ニ於テ所有權ノ觀念ト云フコトハ、西洋ノ本ニ書イテアルモノトハ違フノデス、デ本來私有財産制ノ根柢ヲ成スモノハ、契約ノ自由ト權利ノ觀念、權利ノ觀念ハ申スマデモナク「ルネサンス」以來ノ法律上ノ假想デアリマス、假定デアリマス、我國ニ於テハソシナモノハアリハシナイ、日本ハ農業國デアノハ、制度手段ノ最も主ナルモノハ土地デアリマス、田地田畑デアリマス、我國

ノ社會ハ普天ノ下率土ノ濱王土王臣ニ非ザルナシ、土地ハ元來國有デアアル、明治二年ニ過チデアッタカ故意デアッタカ、土地賣買ノ令ガアリマシタガ爲メニ、之ニ依テ之ヲ所有權ナリト認メテ、今ハ日本ニ所有權ガアルト云フ風ニ考ヘラレタガ、實ハ我國ノ土地所有權ナルモノハ「ルネサンス」以來ノ法律上ノ假定トハ違フノデアリマス、西洋ノハ我國ノ如ク國民ノ生活ニ即シタ重大ナル觀念、議會ノ立法ヲ以テスルモ、否認スベカラザルヤウナ國民生活ノ根本ノ觀念デハナイノデアアル、政府ノ方デ左様ニ思召スナラバ、ドウカ我國ノ法制、社會史ヲ能ク御研究ヲ願ヒタイ、我國ノ領土ハ、領土ニ主權アルト同時ニ、土地所有權マデモ皇室ノモノデアアル、地頭ト云フ土地ノ頭、地頭ト云フモノガ之ヲ預リ、將軍ハ即チ日本帝國ノ總地頭デアッテソレデ年貢ト云フモノヲ——

借地科ト云フモノヲ幕府ニ納メテ、ソレデ以テ農業經濟ヲヤツテ來テ、之ガ日本社會ノ根幹デアアル、偶、明治二年カラ今日マデ所有權アルガ如クニ吾々ハ誤解ヲシテ居ルケレドモ、左様ニ國民生活ニ喰入ッタ深い制度ニハナツテ居ラヌ、此所有權ト云フモノハ非常ニ便宜ノモノデアアルガ、弊害ガアルト云フノデ歐羅巴デハ此間言ッタヤウニ、分量的ニ土地ハ取ッタ、家屋ハ取ッタト云フ風ニ所有權ヲ彼此レ云フノデハナク

第五類第十八號 治安維持法案(政府提出)委員會議錄 第五回 大正十四年三月三日

シテ、更ニ能ク考ヘテ見ルト、天上天下悉ク一個人ノ「モノボリー」ト云フカ私有財産制度ハ間違ッテ居ル、所有權ハ社會ノ爲ニ存スルノデ、神ハ個人ノ爲メニ此獨占權ヲ與ヘタモノデナイト云フ

法律關係ヲ保護スルノデアツテ、ソレ以上ノ事ヲ茲ニ考ヘルト云フコトデナイ、斯ウ御答申シマス

○清瀬委員 次ノ問題ニ移リマスガ、一言殘シテ置キマスガ、舊幕時代ハ權力アツテ私有財産制ガ無イ時代デアッタ、ソレカラ僅カ五十年間行ハレタ爲メ、私有財産ヲ保護スル亞米利加アタリノ拜金宗ノ法律ヲ眞似テ、茲ニ斯ウ云フモノヲ御出シニナルコトハ、輕率デアルト云フ言葉ヲ殘シテ次ニ移リマス、次ハ話ヲ簡單ニスル爲ニ政府デモ御承知デアリマスガ、此千九百二十三年三月二十日、英吉利ノ労働黨ガ決議案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○山岡政府委員 此決議ノ中ニハ「漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理」斯ウ云フコトガ重大ナル關係デアルト思ヒマス、漸次斯ノ如クニシヤウ、今日急ニ之ヲ變革シテ、所有權ヲ否定シテシマフト云フ風ニ之ヲ直ニ解釋スベキモノデアルカ否カ、此決議ヲ爲シタ討論ノ關係ヲ見マセスト、漸次ト云フ意味ガ如何ナル意味ヲ持ッテ居ルカ分リマセヌガ、我國ニ於キマシテ漸次私有財産制度ト云フモノヲ改定シテ行カナケレバナラス、斯ウ云フコトヲ言ウタカラト云ウテ、直ニ本法ニ抵觸スルモノトハ考ヘナイノデアリマス、本法ハ今日直接ニ私有財産ト云フモノハイカヌ、是ハ根柢カラ破壊シナケレバナラス、斯ノ如ク急激ニ直接ニ論ズルコトヲ以テ不都合ナリト考ヘル次第デアリマス、是故ニ茲ニ御提出ニナリマシタル其モノニ付キマシテハ、提案ノ趣旨、其他討論ノ關係ヲ審查シナイ限リハ分リマセヌガ、漸次ト云フ言葉ハ餘程緩ニナツテ居リマスガ、寧ロ或程度マデ許シ得ル事柄デアラウカト思ヒマス、之ニ對シテ「イエス」「ノー」ト云フ御答ハ出

今度ハ方面ヲ變ヘテ申シマスガ、他ノ犯罪ニ於テ陪審ノ議ニ付セラレル決心ガアルノカドウカ、ソレヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 深ク御研究ノ結果ヲ御説明ニナリマシタノデ謹聽致シマシタ、此私有財産制度ト申シマス、今日ノ法律ガ保護スルモノヲト云フノデ書イテアリマスノデ、是故ニ國民性ニドレダケ深ク入ッテ居ルカト云フコトノ事實問題ハ、今日五十年ノ間行ハレテ居ルト斯ウ申スヨリ外ハナイノデアリマス、法律ニ於テ行ハレタル所ノ其

法律關係ヲ保護スルノデアツテ、ソレ以上ノ事ヲ茲ニ考ヘルト云フコトデナイ、斯ウ御答申シマス

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

由、之ヲ永久不可侵ノモノトシテ、此根柢ニ向ッテ政治上ノ結社ヲ爲シタ者ニ十年ノ刑ヲ以テ臨ムト云フコトハ、全ク私ハ法律觀念ノ誤リカラ來タモノト堅ク信ジテ居リマス、私ノ間ハント欲スル所ハ要スルニ政府ガ、所有權ト云フモノヲ如何ニ見ラル、カ、之ガ我國ノ國民生活ニ爾ク喰入ッテ、國體ト合致スルホドノ大制度デアルト思ハル、カドウカト云フコトデアリマス、此點ニ付テ簡單ニ「イエス」「ノー」カヲ御答辯ヲ得テ次ノ質問ニ移リタイト思ヒマス

案トシテ議會ニ提出シタモノガアリマス、今之ヲ政府委員ニ渡シマスガ、一寸私讀ンデ見マス、斯ウ云フモノガ本法ニ觸レルカドウカト云フコトデアリマス、資本主義制度ト天然資源並ニ生産力ヲ適當ニ利用組織スルコト又ハ多數國民ノ生活ノ必要ナル基礎ヲ樹ツルコトニ失敗セルニ鑑ミ、而シテ又其失敗ノ原因ハ私有制度及生産分配ノ管理方法ニ存スルコトヲ信ズルヲ以テ本院ノ立法手段ハ宜シク漸次資本主義制度ニ代フルニ公有制度並ニ生産分配機關ノ民主的管理ニ基礎セル生産的及社會的組織ニ向ッテ努力セシコトヲ決議ス」フキリッ」氏ノ提案ニ係ル有名ノ決議デアリマス、之ヲ御覽下スツテ、斯ウ云フ事ヲ日本ノ議會デアルコトガ出來ナイカドウカ

○清瀬委員 甚ダ遺憾トスルノデアリマス、斯ノ如キモノニ博學多識ナル政府委員サヘモ「イエス」「ノー」ガ言ヘナイ、斯ウ云フコトデハ日本國ハ成立タヌノデス、吾々ノ立憲主義ノ考カラ言ヘバ、斯ンナモノハ一言ニシテ「イエス」「ノー」ト言ヒ得ベキモノデアアル、此位ノモノガ議會ニ決議案トシテ出セナイヤウデハ、我國ノ立憲政治ヲ布イタ價值ハ何所ニアルカ、議會ト云フモノ

○山岡政府委員 御質問デアリマセヌデシタケレドモ、此事ハ矢張り此案

ハ立案者サヘモ中ヲ能ク見ナイト分ラ

ニ付テハ頗ル大切ナル事デアリマスノ
デ、一言前ノ御質問ノ關係ニ付テ敷衍
ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマ
ス、曩ニ御質問ニナリマシタル事ハ、斯
ウ云フ風ナ決議ヲ此法文ニ照シテ、果シ
テ私有財産制度ノ否認ニナルカドウカ
ト云フ斯ウ云フ「ロジック」法律論ニナ
リマス、此一切ヲ審査シテ上デナイト
法律論ハ難イノデアリマスカラシテ、曩
ニ御答ヲ致シタルデアリマス、ソコデ只
今ノ帝國議會ハ今日ノ議場ニ於テモ申
上ゲマシタヤウニ、院外ニ於テ責任ハ
一切負ハヌノデアリマス、如何ナル行
動ヲ議院ニ於テ執リマシテモ、其効果
ガ發シマシテモシナクテモ——シナク

テモト申上ゲテハ甚ダ語弊ガアリマス
ガ、兎ニ角如何ナル事柄ニシテモ、先程
御説明ノアリマシタヤウニ、男子ヲ女
子ニハ出來ナイ、其以外ノ事柄ハ大體
ニ於テ議院ト云フモノハ自由ナル立場
ニ居ルノデアリマス、之ヲ以テ直ニ本
法ニ牴觸スル行動デアルトハ申サレナ
イノデアリマス、即チ院內ニ於ケル行
動ト云フモノハ、一切是等ノ法ノ支配
ヲ受ケヌノデアリマス、政治上ノ關係ト
法律上ノ關係トハ此點ニ於テ重大ナル
差違ガアルト考ヘマス、而シテ陪審ニ
付スルヤ否ヤノ問題デゴザイマスガ、
別段制限ガアリマセヌカラシテ、陪審
ニ付セラレルコトモアルノデアリマ
ス、又付セラレナイ場合モアルノデア
リマス

○清瀨委員 セラル、場合セラレナイ
場合ト云フノハドウ云フノデゴザイマ
スカ、陪審法ハ法律ニ依ッテ定マッテ居
ル

○山岡政府委員 本人ガ辭退致シマシタ
時トカ、或ハサウ云フ例外ガゴザイマス
○清瀨委員 三年以上ノ刑ヲ盛ツタモ
ノハ陪審法第二條ニ付セラル、コトニ
ナルト思ヒマスガ、違ヒマスカ

○山岡政府委員 法廷陪審制ト任意陪
審ガゴザイマス、法廷陪審ニ入ッテ居ル
限ハ當然ハハヤラナケレバナラス

○清瀨委員 ドッチニナルノデス、是ハ
最下短ガナクシテ、最長ガ十年ニナッテ
居ル

○山岡政府委員 私ガ宙ニ記憶スル
所デハ、此モノハ法廷陪審デナイヤウ
デアリマス

○清瀨委員 驚入ッタ事デアル、斯ノ如
キハ國民ノ權利ニ重大ナル關係ノアル
事デアル、陪審制ハ政友會ノ最モ重大
ナル政綱ト思ッテ賛成ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、今ヤ陪審制施行ノ經費マ
デモ議會ニ要求セラレツ、アル、ソレ
ガ陪審トノ關係モ研究セズニ之ヲ御出
シニナツタコトハ、實ニ私ハ驚入ルノデ
アリマス——左様ナル愚痴ヲ申スモ如
何デアルカラ更ニ次ノ質問ニ歸リマ
ス、此法律ニ十年ノ刑期ヲ御盛リニナ
リマシタガ、他ノ犯罪ト如何ナル權衡ヲ
保ッテ十年ト云フコトニサレタノデア
ルカ、往年過激社會運動取締法ガ提出

サレタ際ニモ十年デアッタガ、貴族院ハ
二回マデモ審議ノ上之ヲ三年削ッテ居ル、
然ルニ又十年ヲ固執サレタ原因ハ何所
ニアリマスカ、ソレヲ伺ッテ見タイ

○山岡政府委員 此點ガ先ヅ第一條ノ
此法律ニ依ッテ保護シヤウト云フ秩序
ノ事カラ申上ゲマス、往年ノ過激社會
運動取締法案ニ於キマシテハ、朝憲ノ
案亂ト云ウテ極メテ廣ク保護スルコト
ニナッテ居リマス、其中ノ極ク一部分ヲ
此所ヘ抽出シテ本法デ保護スルニ過ギ
マセヌ、即チ非常ナ重要ナ部分ダケデ
ス、其次ニ社會制度ノ根本關係、社會ノ
根本組織ヲ變革スルト云フコトヲ保護
致シタルガ過激社會運動取締法デア
ル、所デ私有財産制ハ其中ノ本當ノ一
部分ニ過ギナイノデゴザイマス、サウ
云フ風ニ今日ノ國情ニ照ラシテ最モ保
護シナケレバナラス重大ナモノダケ
ヲ、此法律ニ依ッテ保護スルノデアリマ
スカラシテ、此點ニ於テ法域ガ先年ノ
法案トハ重大ナモノデアリマシテ、非
常ナ差異ガゴザイマス、デアアルカラ法
域ノ重大ナル點ニ於テ此十年以下ト云
フコトヲ規定致シタ次第デアリマス、
而シテ他ノ法律トノ權衡問題ヲモ申上
ゲテ置キタイノデアリマスガ、朝憲ヲ
案亂スルコトニ暴動ノ手段ヲ用キマス
モノガ内亂罪デアリマシテ、其豫備陰
謀ハ懲役一年以上十年以下デアリマ
ス、ソコデ是ハ暴動ト云フ手段ハゴザ
イマセヌケレドモ、朝憲ト云フ廣イモ

○山岡政府委員 違ッテ居ルト申シマ
スノハ私ノ言葉ガ足りナカッタノデ、質
ガ違ッテ居ルノデハゴザイマセヌ、朝憲
案亂ノ中ニハ國體政體ヲ變革スルコト
ガ這入ッテ居ル、併ナガラ朝憲案亂ト申
シマスレバ、申上グルマデモナク宗教
ノ自由ヲ否定スルコトモ朝憲案亂デ、

○清瀨委員 片言隻語ヲ捉ヘルデアリ
マセヌガ、過激運動取締法案ト、此法ト
法域ガ違ッテ居ルト云フノハドウ云フ
譯デス、私ハ同一ノ法域ヲ眼中ニ置カ
レテ立法サレタモノトシテ今日マデ審
査シテ居リマス、法域ノ違ッテ居ルト云
フノハドウ云フ譯デス

○山岡政府委員 違ッテ居ルト申シマ
スノハ私ノ言葉ガ足りナカッタノデ、質
ガ違ッテ居ルノデハゴザイマセヌ、朝憲
案亂ノ中ニハ國體政體ヲ變革スルコト
ガ這入ッテ居ル、併ナガラ朝憲案亂ト申
シマスレバ、申上グルマデモナク宗教
ノ自由ヲ否定スルコトモ朝憲案亂デ、

○清瀨委員 片言隻語ヲ捉ヘルデアリ
マセヌガ、過激運動取締法案ト、此法ト
法域ガ違ッテ居ルト云フノハドウ云フ
譯デス、私ハ同一ノ法域ヲ眼中ニ置カ
レテ立法サレタモノトシテ今日マデ審
査シテ居リマス、法域ノ違ッテ居ルト云
フノハドウ云フ譯デス

○山岡政府委員 違ッテ居ルト申シマ
スノハ私ノ言葉ガ足りナカッタノデ、質
ガ違ッテ居ルノデハゴザイマセヌ、朝憲
案亂ノ中ニハ國體政體ヲ變革スルコト
ガ這入ッテ居ル、併ナガラ朝憲案亂ト申
シマスレバ、申上グルマデモナク宗教
ノ自由ヲ否定スルコトモ朝憲案亂デ、

○清瀨委員 片言隻語ヲ捉ヘルデアリ
マセヌガ、過激運動取締法案ト、此法ト
法域ガ違ッテ居ルト云フノハドウ云フ
譯デス、私ハ同一ノ法域ヲ眼中ニ置カ
レテ立法サレタモノトシテ今日マデ審
査シテ居リマス、法域ノ違ッテ居ルト云
フノハドウ云フ譯デス

其他舉格來ルト際限ハゴザイマセヌ、此所ニアリマスノハ憲政ノ根據デア
ル、是レ自體ヲ動カシテハ我國ノ今日
ノ存在ヲ失フノデアル、斯ウ云フ重大
ナモノダケデアリマスカラ、即チ質ト
云フヨリモ程度ニ於テ最モ重キモノ
ミデアリマス

○清瀨委員 質ノ方ノ範圍ハ錯綜シテ
居ッテモ、一番重キ罪ヲ科セナケレバナ
ラヌノハ日本ノ國體、ソレハ兩方共包
含シテ居ルノデアリマス、コチラハ「國
體」ノ文字ヲ用キ、前ノハ「朝憲」ノ文字
ヲ使ッタガ、一番上ノ所ハ同一デアルガ
故ニ、刑期ノ最長期ハ前ニ三年ト云フ
コトニサレタナラバ、又三年トナリサ
ウナモノデアル、下ノ方ガ違ッタ所ガ、
最下短ノ方ハ限ガアリマセヌカラ問題
外デアル、最モ重キ罰スヘキ法域ハ同
一チヤナイカ

○山岡政府委員 最モ重イ方ハ同等デ
ゴザイマス、唯、併ナガラ今附加ヘテ申
上ゲルノハ結社ト云フ點ガ陰謀トハ
違ッテ居ル、斯ウ云フ事ニ依ッテ十年以
下ガ刑法ノ比較ニ於テ相當ナリト考ヘ
タ譯デアリマス

○清瀨委員 ソレカラ第三條ニ七年ト
アリマス、是ハ煽動デス、之ニ索聯スル
モノヲ調べマスト、現行法デハ新聞紙
法デアリマス、出版法デアリマス、新聞
紙法出版法ノ朝憲紊亂ノ記事、是ハ二年
デアリマス、朝憲紊亂ノ宣傳流布ト見
ルト、ソレヲ煽動ト見ルトハ其間一髪

デス、新聞紙法ノ現行法ヲ御改正ニナ
レバ兎モ角デアリマスケレドモ、現行
ノ新聞紙法ヲ二年、出版法ヲ二年、治安
警察法ヲ一年トシテ置カレテ——法域
ハ同ジデス、見方一ツニ依ッテ煽動カ宣
傳カト云フ、一寸ニレバ二年ガ一躍十
年ニナルト云フコトハ如何デゴザイマ
セウカ、新聞紙法ヲ眼中ニ置カル、ナ
ラバ二年半トカ三年ト云フコトニ相成
ルベキデハナイカト考ヘマス、第三條

○山岡政府委員 第三條ノ關係ガ、即
チ新聞紙法其他ノ只今御舉ゲニナリマ
シタル治安警察法ニ關係致シマス、單
純ニ其事柄ヲ書表ハシタダケデ、未ダ
實行ノ方面ニ向ッテ働ガ生ジテ居リマ
セヌ、デ新聞紙法治安警察法等ニ於テ
ハ、唯、此事項ヲ宣傳流布シタニ止ルノ
デアリマスカラ、其刑ヲ今日急ニ上ゲ
ナケレバナラヌト考ヘテ居ラヌノデア
リマス、此所ニ規定致シマシタノハ其
事柄ノ實行ニ向ッテ活動ヲ始メ、而シテ
其事ガ流布ニ止ラズシテ、實行ヲ爲ス
ヘク勸誘煽動ヲ致スコトデアリマスカ
ラ、此刑ヲ七年以下ニスルガ相當ナリ
ト考ヘタ譯デアリマス

○清瀨委員 此御答辯ヲ私了承致シタ
ノデアリマセヌガ問題ヲ更ヘテ進ミマ
ス、此法案ニ依レバ手段ノ暴行手段タ
ルコト、不法手段タルコトヲ要セズシ
テ罰セラル、ノデアリマス、暴行手段
ニ依ル國體政體ノ變改ハ革命ニ接近

スルモノデ、甚ダ容易ナラヌモノデア
リマス、而シテ議會ニ今申スヤウナ決
議案デモ出サウト云フ運動ハ、私共ノ
寧ロ好イ事位ニ思ッテ居ル、暴行カ脅迫
ノ場合ト合法手段ニ依ル場合ト一緒ニ
十年ニスルト云フ、玉石俱ニ焚クト云
フコトニナリマスガ、是等ノ點ハ御考
慮ノ上ノ立法デアリマスガ、何故ニ之
ヲ同一ニシタト云フコトニ付テ承リタ
イ

○山岡政府委員 國體ノコトハ御説ノ
通りデアリマス、是ハ議論ノ餘地ハナ
イコトデアリマス、政體ノ點ニ付キマ
シテハ廣イ意味デ行クト、相當制限ヲ
シテ變化ヲシテ行ク必要ガアルガ、差
向キニ於テ政體ノ變革即チ立憲政體ノ
根本ヲ破壞スルト云フコトハ、不法手
段デアッテモ他ノ方法デアッテモ今日ニ
於テハ許サナイ、斯ウ云フノガ立法ノ
趣旨デアリマス、然ラバ合法手段ニ依
テスルノガ何故惡イト云フ反問ガ出テ
來マスケレドモ、ドンナ合法手段ト雖
モ、今日ノ立憲政治ノ根本ヲ破壞スル
コトハ直ニソレガ不法デアルト云フ風
ニ見テ居ルノデアリマス、此事ハ絕對
ニ許サヌノデアリマス、サウ云フ事ヲ
爲セバソレガ即チ許スベカラザル行動
デアルト云フ趣旨デアリマス

○清瀨委員 ソレハ寧ロ法律技術ニ關
スルコト、思ヒマスカ、亦本法ノ價值
ニモ影響致シマスカラ、第七條ニ付テ
御尋ヲ致シマス、是ハ刑法ノ二條ニモ

アル法文デ珍ラシイモノデハナイガ
「本法ハ何人ヲ問ハス本法施行區域外
ニ於テ罪ヲ犯シタル者ニ亦之ヲ適用
ス」何人ヲ問ハズデアリマスカラ日本
人ニ限ラナイ、外國人ガ外國ニ於テ日
本ノ政體、私有財産權ヲ否認スル結社
ヲ致シタ、之ヲ此方カラ犯罪ダト云ッテ
モ、二階カラ目藥デ何ニナルカ甚ダ疑
フノデアリマス、現ニ御承知ノ通り全
世界ニ私有財産制ヲ否認スル結社ハ多
多アル、有名ナ第三「インターナシヨナ
ル」此様ナ極端ナモノハ別ト致シテ、英
國ニハ「フエビアン」協會ト云フモノガ
アル「ギルド、ソシアリズム」ト云フモ
ノガアル、先ヅ「サンジカリズム」ア
イ、ダヴリユーダヴリユー「斯ウ云フモ
ノハ大分エライモノトシテモ、サウデ
ナク世界中ニ私有財産制ヲ否認スル結
社ハ澤山アル、ソレヲ遙ニ日本カラ犯
罪ダト云ッテサウ云フ者ガ日本ニ來タ
時ニ捕ヘル考デアリマスカ、前ニ「ラッ
セルト云フ教授ガ來タ、斯ウ云フ者モ
向フ」デ私有財産制否認ノ結社ヲ組織シ
テ居ルカモ知レヌ、之ヲ刑法第二條ノ
犯罪トシテ——斯ウ云フ主義ニ於テ斯
ウ云フ立法ヲ爲サレタモノデアリマセ
ウケレドモ、本件ニ付テ斯ウ云フモノ
ヲ採用ナサルコトハ了解ニ苦シムノデ
アリマス、承レバ司法省ト内務省ト非
常ニ苦心シテ作ッタト云フ御自慢デア
リマスガ、其經過ニ付テ御尋ヲ致シマ
ス

○山岡政府委員 外國人ガ外國ニ於テ

部分ハ他ノ委員カラ御尋ガアリマシタ

ラスト云フト、男女ノ關係ニ於テ今日

タイ

政體ハ別ト致シマシテ、私有財産制ニ

カラ省略致シマスガ、前ノ過激社會運

差支ナイト申上ゲテ宜イカ、先ヅ今日

○山岡政府委員 政府ハソレハ本法ニ

付テ唯今御話ノ如キ結社ヲシテ居ルコ

動取締法案ノ中ニ「社會ノ根本組織」ト

ニ於テソレヲ罰サナクトモ社會秩序ハ

含マレナイ積リデアリマス、即チ將來

トハ御話ノ通りデアリマス、併シサウ

云フコトガアリマシタ、而シテ之ニ對

案ルモノデナイ、斯ウ云フ風ニ見テ居

有權ヲ——私有財産制度ノ根本ヲ否定

云フ者ヲ以テ直ニ本法ガ犯罪トスルト

シテ貴族院ノ委員會ニ於ケル質問ニ依

○清水委員 先程ドナタカノ御質問ノ

リマス

社ガ日本ノ私有財産制度ヲ破壊スルト

制度ヲ破壊スルコト、例ヘバ婦人公有

中ニ、生産事業ノ國營問題ニ付テ再三

○清水委員 先日日本會議デアリマシタ

云フ意味ヲ含ンデ居ル場合ニ本法ヲ適

論ノ如キハ此中ニ含ムト云フコトヲ言

ノ御質問ガアリマシタガ、其時政府ノ

カ「レフレンダム」ノ事ニ付テノ質疑ガ

用スルコトニナリマス、大體ニ於テア

ハレタ、今回ハサウ云フモノヲ認メナ

御答ニ依リマス、或程度ヲ賠償スレ

アリマシタガ「レフレンダム」ニ付テ現

ノ結社ノ何所マデモ目的トスルト云フ

イト云フヤウニナッタラシク思ハレマ

バ宜イト云フヤウナ御話モアッタノデ

在ノ代議政體ヲ認メテ居ル其下ニ於テ

コトハナイノデアリマス、亞米利加ナ

スガ、ドウ云フ理由ニ依ッテサウ云フモ

致シタイノハ、確カ二三年前デアリマ

ノ「レフレンダム」ハ差支ナイト云フ風

ラ亞米利加ノ私有財産制ヲ破壊スル結

社ハ、我ガ法律ニ於テ處罰スル限リデ

シタカ伊太利ニ於テ生命保險ノ國營ヲ

其程度ノ問題デアリマスルガ、代議政

ハナイノデアリマス、外國人ガ我ガ日

本國ノ制度ヲ破壊シナケレバナラヌト

依リマス、今マデノ生命保險ニ對シ

體ヲ認メナイデ「レフレンダム」ダケヤ

云フ趣旨ヲ以テ、日本人ト聯絡シテ結

社スル、斯ウ云フ場合ニ於テ本法ハ之

マシテハ其儘ニシテ置ク、次年度カラ

ルト云フコトニナッタ場合ニ於テハ、例

ヲ取締ラントスルノデアリマス、而シ

テ御承知ノ如ク今世界的ノ運動トナッ

府ニ於テ之ヲヤルト云フ一種ノ私有權

會議或ハ縣會見タヤウナモノ、或ハ州

テ、殊ニ猶太人系統ノ者ガ斯ノ如キ事

ニ付テ資本ヲ各マズ活動シテ居ル次第

ノ沒收デアリマス、サウ云フ風ノ事ヲ

會、亞米利加ノ「カリフォルニア」デヤッ

デアリマス、サウ云フ者ガ我國ノ此方

タノデアリマス、又國民ノ之ニ對スル

策問題ニ於キマシテモ、或ハ生命保險

云フ計畫ノアッタ場合ニ於テ、此中ニ含

面ニ實力ヲ向ケテ來タ場合ニ於テ、之

考ト云フモノモ相當理解スルコトガ出

ノ國營問題デアルトカ、貯蓄銀行ノ國

マレルヤウニナリマス、如何デアリ

ヲ取締ルト云フコトガ最も大切デア

來タノデアリマス、デ廣イ範圍ニ互ッテ

營問題ト云フヤウナ事ガ將來必ズ出テ

マスカ

ノデアリマス、デアリマスカラ此法律

法律ヲ取締ルト云フ如キコトハ大體ニ

於テ適當デナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ

○山岡政府委員 地方問題ハ本法ニ關

ヲ以テ、外國人ガ外國ニ於テ我國ニ對

於テ適當デナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ

ノデアリマス、ダカラ今日ノ事情ニ於

係ハゴザイマセヌ、本法ハ中央ノ政體

スル私有財産制度ヲ破壊セントスル場

合ニ之ヲ取締ラントスルノデアリマス

テ最も害ノ有ル是ダケハ今日ノ實情ニ

ニ於キマスル所ノ代議政體ヲ破壊スル

○清瀨委員 第一ノ日本ノ立憲政治ニ

於テ許サレナイ、斯ウ云フモノダケヲ

茲ニ列舉致シマシタ譯デアリマス、ソ

レ故ニ唯今御説明ノ婦人公有ノ如キモ

關スル質問ダケヲ保留シテ、其他ニ付

テハ是デ打切りマス

○清水委員 極ク簡單ニ伺ヒマス、大

ノフ今日我國ニ於テ取締ラナラレバナ

○清水委員 極ク簡單ニ伺ヒマス、大

ノフ今日我國ニ於テ取締ラナラレバナ

含マレヌノデアリマス、ソレヲ伺ヒ

マス、而シテ此本法ノ私共ガ一番遺憾

第五類第十八號 治安維持法案(政府提出)委員會議錄 第五回

大正十四年三月三日

二五

二五

ニ思ヒマスルノハ、再三議論モアリマシタガ、立法部ハ分リマシテモ、實際行ヒマスル所ノ司法官ナリ或ハ警察官ナリガ取扱ニ困ル、政府ガ若シ之ヲ發布シタ後ニ於キマシテ、委員會ニ於テ質疑應答サレタヤウナ重大ナル問題ヲ、或ハ地方ノ判檢事ナリ若クハ警察官ナリニ周知セシムル事ニ付テノ方法ニ付テ、何カ御考ガアリマスカドウデスカ

○山岡政府委員 此點ニ付キマシテハ、此治安維持令ヲ實施致シマシタ時ニ於キマシテモ必要ナル調査ヲ致シマシテ、サウシテ注意ヲ致シマシタノデアリマス、殊ニ此法律ヲ實施スル場合ニ於キマシテハ、最モ慎重デナクテハナラヌノデアリマスカラシテ、出來得ル限リノ方法ヲ以テ此精神ヲ司法官殊ニ檢察官ニ對シテ理解致スヤウニ致サナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○清水委員 理解致スト申シマス、ドウ云フ方法デ實際問題トシテオヤリニナル積リデアリマスカ、一切ノ事ヲ連記シテ知ラシテ置キマスカ、ドウ云フ風ニヤッテ居リマスカ

○山岡政府委員 其方法ニナリマスト云フト、法案ノ成立チ及議會ニ於ケル質問應答ノ事柄、ソレカラ更ニ成案ヲ得タ後ニ於ケル解釋、是等ノ事ニ付テ遺憾ナク整ヘル、サウシテ然ルベキ方法ヲ執ラナケレバナクスト考ヘルノデアリマス

○熊谷政府委員 一寸ソレニ附加ヘテ一言申上ゲテ置キマスカ、大抵裁判所デハ裁判所ノ判事檢事ノ會同ガアリマス、又裁判所長檢事正ノ會同ガアリマス、重要法案ニ在リマシテハ、斯ウ云フ機會ヲ利用シマシテ、其法案ノ精神ガ那邊ニ在ルカト云フコトヲ十分ニ徹底スルヤウニ其會議ニ於テモヤルノデアリマス、山岡政府委員ヨリ申上ゲタ方法ト同時ニ、更ニ今申上ゲル方法ニ依ッテ、十分ニ此法案ノ精神ノ在ル所ハ徹底シタイト思フノデアリマス

○前田委員長 次ハ中村啓次郎君デスガ、今内務大臣ニ交渉シテ居リマスケレドモ、マダ出席出來ルカドウカ貴族院關係デ返事ガ參リマセヌガ、若シ内務大臣ガ參ラナクテ宜シケレバ今御願致シマス、内務大臣デナケレバナラストナラバ次ノ禱君ニ發言ヲ許シマス

○中村(啓)委員 ソレデハ大臣ノ來ルマデ留保シテ置キマス

○前田委員長 禱君

○禱委員 今マデノ質問應答ニ依リマシテ、大體政府ノ趣旨ノ在ル所ハ分リマシタケレドモ、尙ホ了解ニ苦シム點ガアリマスカ、此點ニ付テノミ質問致シタイト思ヒマス、全體此刑罰法規ノ立法ハ、法域並ニ其處罰セントスル行爲ガ明確ナル事ガ嚴格ナル文句ヲ以テ揭示セラレナケレバナヌコトハ申スマデモナイ、若シサウデナケレバ、人民ハ何時處罰セラレ、カ分ラナイヤウ

ナ結果ニナッテ、即チ裁判官ト行政官トノ手加減デ、此人ハ罰セラレ、此人ハ罰セラレナイト云フ結果ニ陥ッテシマフノデ、結局法律ニ依ル法治デハナク、人ニ依ル法治ト云フコトニ歸著シテ行カウト思フノデアリマス、若シ法案ガ其用語ニ於テ正確ヲ缺イデ曖昧デアッタナラバ、或ハ善良ナル國民、或ハ憂國ノ士ガ、氣紛レナル當局ノ爲ニ牢獄ニ押込メラレナケレバナラスト云フ危險ガ包含サレル、即チ此刑事立法ノ法域並ニ行爲ト云フモノハ嚴格ナル言葉ヲ要スルト思フ、其意味ニ於キマシテ本法ハ甚ダ不明確デハナカラウカト思フ、此本法ノ第一條ニ規定シテアリマスル國體、政體、私有財産制度、是ハ幾多ノ質問應答ガアリマシテ、政府ノ説明ヲシテ居リマスル所ヲ今マデ速記録、並ニ私ガ出席シテ居リマシテ聽イタ所ニ依リマスルト、國體ト云フ觀念ハ是ハ萬世一系ノ天皇ヲ奉戴シテ居ル其國體ダ、斯ウ云フ大體ノ説明ノヤウニ思ッテ居リマス、ケレドモ是ダケデハ私ハ意味ヲ成シテ居ラヌ、説明ニハナッテ居ナイト思フ、今日マデノ普通唱ヘテ居リマスル所謂一般ノ人ガ唱ヘテ居ル「國體」ト云フ文字ハ、多クノ人ニ於テ其意味ヲ異ニシテ居ル、即チ或ハ日本デ言ツタナラバ是ハ忠孝一致ノ國體デアッテ、或ハ尙武ノ國體デアアル、又國法學者ニ言ハシテ見タラ、此國體ト云フ事ハ人ニ依ッテ説ニ異ニシテ居リマス、外

國ノ學者ハ殆ド「國體」ト云フ文字ニ付テ餘リ國法學者モ多クハ説明シテ居リマセヌ、ケレドモ日本ノ學者ニ於テハ既ニ御承知ノ如ク美濃部博士、一木樞密院顧問官ナドノ説ニ依リマスト、天皇其モノ、性質ニ付テ其見解ヲ異ニシテ居リマス、即チ穗積博士若クハ上杉博士ニナリマスト、此日本ノ國體ト云フモノハ主權ガ君主ニ存在シテ居ルノデアアル、或ハ其他ノ人即チ嚮ニ例ニ舉ゲタヤウナ學者ニナリマスト、天皇ヲ統治機關トシ、即チ主權其モノハ國家ナル法人デアッテ、天皇ハ機關デアアル、斯ウ云フ學說ガ現ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、サウシテ見ルト此「國體」ト云フ文字ダケヲ用キテ規定シタナラバ、其裁判官其警察官ガ穗積博士ノ學說ヲ奉ジテ居ル人デアッタナラバ、是ハ日本ノ天皇其モノヲ更ヘヤウト言フタナラバ罪トナリ、天皇機關説ヲ奏ジテ居ル裁判官警察官ガ居ッタナラバ、或ハ天皇ヲ更ヘテモ此法律ニ觸レヌコト、ナリ、罰スルコトガ出來スト云フコトニナル、斯様ニ同ジ主張ニ對シテモ同ジ言論ニ對シテモ、或人ハ罰セラレ或人ハ罰セラレナイト云フコトニナルノデ、此「國體」ナル文字ハ、其意味ニ於テ甚ダ不明瞭デアアルト云フ疑ヲ持ッテ居リマスカ、是ハ此儘デハ到底承認スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスカ、此點ニ於テ唯、我國ハ萬世一系ノ天皇ヲ奉戴シテ居ル國體デアアル

是ダケデハ説明ニナラヌト思ヒマス、此點ニ對スル政府當局ノ御意見ヲ今一應明確ニ承ツテ置キタイ

○山岡政府委員 成程天皇機關説色ミナ學說ノアルコトハ御説明ノ通りデアリマス、併ナガラ憲法第一條ニハ「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」ト云フコトガ明瞭ニ書表ハサレテ居ルノデアリマス、此事ハ此法文ガアルカラス様ニナルト云フノデナイ、在來ノ歴史ノ關係總テノ關係ヨリシテ、斯ノ如キ事ヲ此所ニ唯形式ニ現シタニ過ギナイト云フコトハ解釋ノ一致シテ居ルモノト考ヘマス、ソレデアリマスカラ其事實、而シテ此法文ノ形式上有スルコトガ我が國體デアアル、斯ウ云フ風ニ政府ニ於テハ本案ニ於ケル國體ヲ解釋シテ居ルノデアリマス、而シテ學說上此所ニ謂フ所ノ天皇ガ國家法人タル所ノ機關デアアル、或ハ國家其物デアアル、サウ云フヤウナ事ニ付テ、此法文ガ國體ニ二三ヲ生ジナイト思ヒマス、結局政府ノ考ハ事實及形式ニ現レタル第一條ヲ基礎トシテ、此萬世一系ノ天皇ニ依ツテ統治サル、ト云フコトヲ以テ國體ナリト考ヘテ居ル譯デアリマス、天皇ガ機關ナリヤ或ハ國家ナリヤ、サウ云フ事ニ付キマシテ支障ハナイト考ヘマス

テ決メル、或ハ是ハ唯單ニ其形容ニ過ギナイ、意義ヲ異ニシテ居ルノデアリマスガ、シテ見ルト今申上ゲマシタヤウナ非常ニ不都合ナ點ヲ生ズルコトヲ私ハ虞レルノデアリマス、其意味ニ於キマシテ先日モ山岡委員カラ政府ニ對シテ質問モアリマシタガ、若シ之ヲ變ヘラレテモ差支ノナイト云フ御意思デアリマスナラバ「國體」ノ文字ノ解釋ニ付テノ質問ヲ打切りタイト思ヒマス、此點ニ付テモウ一應政府ノ明確ナル御答辯ヲ煩シマス

○山岡政府委員 其點ニ付キマシテハ山岡委員ノ御質問ニ對シテ司法大臣ヨリ御答辯ガアリマシタ通り、左様ニ御了承ヲ願ヒマス

○禱委員 政體ニ付キマシテモ今マデ質問應答ガアリマシテ、略、此議會政治ヲ立憲政治ガ意味スルノデナケレバ政體トハ言ハヌ、同ジヤウナ議論ガ生ジテ學說上世間ニ唱ヘラレテ居リマス、吾々ノ説カラ考ヘテ、又吾々ノ常識カラ考ヘテ、殊ニ現行憲法ノ解釋ノ上カラ考ヘマシテモ、此立憲政體ト云フモノハ即チ法治權統治ノ形式デアッテ、其中ノ立法權ダケ重クシテ視ナケレバナラヌト云フコトハナイ、然ルニ政府委員ノ説明ニ依リマス、大權ハ無クナツテモ或ハ司法權ハ否認シテモ、立憲政體ハ議會政治ガアレバ宜シイト云フコトヲ述ベラレテ居ルヤウニ了承シテ居リマスガ、併シ立憲政體ト云フ意味

カラ、立憲政體ハ即チ三權ガ獨立シタル機關ニ依ッテ、統治權ガ行使セラル、ニ依ッテ國家ガ圓滿ニ治ッテ行クト考ヘテ居リマスガ、何故ニ議會政治ガアリサヘスレバ、立憲政體ガ維持セラレテ行クト云フ根據ガ私ニ於テ了承ガ出來ナイノデアリマス、先ヅ其點ノ御答辯ヲ今一應伺ヒタイ

○山岡政府委員 議院制度サヘアレバ、ソレデ立憲政治ガ行ヘルカドウカト云フコトガ御質問ノ主要ナ點デアルト思ヒマス、立憲政治ハ此點モ繰返シテ申上ゲタ所デアリマスガ、法治國デアアル、法律ヲ以テ國ヲ治メルト云フコトガ肝要ト考ヘルノデアリマス、ソレデ豫算ヲ協賛スルト云フコトモ大切デアリマスケレドモ、議會ハ立法部デアリマス、斯ウ申上ゲテ宜シイノデアラウト思ヒマス、故ニ議會ノ存在スルコトハ法律ヲ制定スル、法律ガ制定サレタ以上ハ之ヲ運用スルト云フコトハ當然ノ結果デアリマス、運用シナイ法令ト云フモノハ無イ譯デアリマスカラ、此運用スル場合ニ法ノ適用ヲスル場合ニ於キマシテハ、裁判官ガ或ル法ノ範圍内ニ於キマシテ國利民福ヲ増進スルコトガ行政トナル、ソコデ立法部ナルモノガ立憲政體ノ基礎デアアル、之ヲ失ハナケレバ政體ト云フモノハ今日ノ狀態ニ於テ持續シ得ルモノデアアル、即チ立憲政體ハ立法部ヲ持續サヘスレバソレニ依ッテ持續ハ出來ル次第デアリマ

ス、敢テ裁判司法及行政ヲ輕ク視ルト云フコトデナイノデアリマス、固ヨリ三權分立ト云フコトノ前提ハ認メルノデアリマス

○禱委員 サウスルトドウモ我が憲法ガ甚ダ危殆ニ感ゼラレル譯デアリマス、結局立法部ダケアレバ宜シイ、立法部ガアレバ司法行政ハ當然行ハレルノデアアル、議會自ラ行ッテモ宜シイト云フコトニナル、議會自ラ監督シテ行フコトモ出來ル、申上ゲルマデモナク英國ノ如キハ御承知ノ如ク議會ニ於テ大權ヲ行使シ、議會ニ於テ國務大臣ノ責任ヲ問フ、斯様ニナッテ居リマスカラ、議會專制ノ政治デアラウト思フ、ケレドモ我が日本ノ今日ノ憲法ノ上ニ於テハ、大權即チ行政、立法、司法ト云フモノハ、何レガ重ク何レガ輕イト云フモノデナイ、何レガ壞レテモ日本ノ政體ガ變更セラレタモノト見ルノガ相當デアッテ、又憲法ノ上カラサウ解スベキデアラウト思フ、然ルニ唯、議會ガアリサヘスレバ宜イト云フコトニナレバ、結局日本ノ憲法ハ根本カラ破壊セラレルコトニナリハセヌカト思フ、今日ノ現行法ヲ根據ト致シマスレバサウナル、然ルニ裁判所ヲ否認シテモ、或ハ行政部ヲ否認シテモ、是ハ政體ノ變更ニナラヌト云フ所ノ根據ガ、唯、單ニ議會政治ガ本デアルト云フダケニ於テハドウモ説明ガ付カヌ、ソレデハ現行法ガ根本カラ破壊サルコトニナリハセヌカ

ト思ハレマスガ、ドウ御考ニナッテ居リマスカ

○山岡政府委員 司法及行政、若クハ大權ニ對シテ改廢ヲ致シマスル、政體ノ變更ニナルト云フ御説ハ是認スルノデアリマス、變更ニハナリマスガ、併ナガラ根本的ニ立憲政體ヲ破壞シタモノトハ政府ハ認メナイノデアリマス、勿論司法行政ノ今日ノ機關、若クハ大權ノ範圍ヲ變更スルコトガ宜シイト云フ考ハ持ッテ居リマセヌ、ソレヲ持續スベキモノデアルト云フコトハ、今日ノ此法案以外ノ法律ニ於テ保護スルコトヲ以テ十分ナリト考ヘテ居ル次第デアリマス、治安警察法、其他ノ新聞紙法、出版法等ニ於テ、左様ナ論議ヲスレバ其法律ニ牴觸シタ犯罪トナルノデアリマス、而シテ本法ニハソレヲ保護シナイノデアリマス、ソレハ何故カト申シマス、ソレハ前ニ申上ゲタ次第デアリマス、立憲政體ナルモノハ立法部――代議士ヲ基礎トシタル立法部ト云フモノガアレバ、之ニ依テ持續シ得ルモノデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘルガ故ニ、ソレダケヲ本法ニ依テ保護スルモノトスル次第デアリマス

○小川國務大臣 一寸私カラ申上ゲマス、今禱君ノ御問ノ事ヲ先刻委員長ニ御答シテ置キマシタカラ補足致シマス、ソレハ今ノ山岡政府委員ノ答辯デ盡キテ居ルノデアリマスガ、實際ノ場合ニ於テ、議會ト云フモノ、存在ヲ認

メテ、裁判所ヲ廢スル、行政部ダケヲ廢スルト云フヤウナ者ハ無イト云フコトガ一ノ理由ニナッテ居ルノデアリマス

○禱委員 今司法大臣ノ言ハル、ヤウナコトハ實際ニモ出來ルト思フ、現ニ露西亞ノ執行委員會ノ如キハ、司法權モ、行政權モ、立法權モ實際ニヤッテ居リマス、又英吉利ニシテモ形式ハ立憲政體デアルケレドモ、實體カラ考ヘレバ是ハ即チ議院政治ノ國デアル、吾ハ將來日本ガ斯ウ云フヤウニナッテ行クコトハ甚ダ危險デモアルシ、又日本ノ國體ヲ根本カラ破壞スルコトニ導クモノデアルト思フカラ、司法ニ向ッテモ、行政ニ向ッテモ容喙サセナイ方ガ寧ロ妥當デハナイカ、何故ニ獨リ立法權ト云フ代議政體ヲ變革スル者ノミヲ取締ラントスルノデアルカ、頗ル疑フノデアリマス、併シ是ハ説明ヲ俟タナイデモ大體政府ノ意ノ在ル所ハ察セラレマスカラ答辯ハ求メマセヌ、次ニ私有財産制ノコトニ付テ、是モ度々質問應答ガアリマシタケレドモ、ドウモ成程ト首肯出來マセヌノデ、依然疑ヲ挿ンデ居ルノデアリマスガ、私有財産制デ私有權ヲ根本カラ否認スルト云フノハ、所有權ヲ奪去ルコトデアルト云フコトデアリマスガ、吾々ノ私有財産ナルモノハ、獨リ所有權ノミデハナカクウツ思フ、或ハ債權モアリマス、其他ノモノモアリマス、ソレナラ此等ノ所有權以外ノ權利ヲ全然否認スル者ハ本法ニ觸

レナイト云フノデアリマスガ、詰リ所有權以外ノ私權ハ全然否認シテモ構ハヌノデアリマスガ、所有權ダケハ保護スルガ、其以外ノ私有財産ハ保護シナイ、例ヘバ私權ト云フモノハ全部認メナイコトニシヤウト云フ目的ヲ以テ結社ヲ作ツタ者、或ハ作ラウトスル者ハ、本法ニ觸レナイト云フ御趣意デアリマスカ、又サウデアラナラバ、何故ニ此間ニサウ云フ區別ヲ付ケラレタノデアルカト云フコトヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 債權ヲ全部否認スルト云フコトニナリマス、民法ヲ考ヘマスレバ、民法ニ債權篇ト云フモノガアツテ、是ハ重大ナル部分ニナッテ居リマス、非常ニ重大ナル部分ニナッテ居ルコトハ申スマデモナイ話デアリマス、其趣旨カラ自然御質問ガ起ッタモノト思ヒマス、然レドモ私有財産ト云フコトハ、兎ニ角所有ト云フコトガ基礎ニナッテ參リマス、此制度ヲ否定スルト云フノハ、根本ヲ否定シナケレバ否認ニナラヌ、一部ヲ否定スルト云フコトハ私有財産ノ否認デハナイノデ、一部ヲ否認スルト云フコトハ本法ニ關係ノ無イ事デアリマス、即チ根本的ニ私有財産制ヲ否認スルト云フコトニナリマス、ソレガ一番ノ財産ノ基礎ニナリマスカラ、只今マデノ問題ハ其點ニ於テ攻究サレテ來タ譯デアリマス、隨テ債權ヲ否認スルト云フコトノミナラ、本法ノ關スル所デハナイノデアリマス

○禱委員 サウスルト私有財産否認ト云フコトモ、ドノ點マデヲ否認スレバ所謂本法ノ否認トナリ、ドノ點マデヲ否認シナケレバ本法ニ觸レナイカト云フコトハ頗ル不明確デアリマス、サウスルト所有權其モノヲ否認セザル限リハ、私有財産ノ否認デヤナイト云フヤウニモ考ヘラレマス、即チ債權ハ否認シテモ宜イ、人ト契約シテ、其契約ヲ履行シナイデモ宜イト云フヤウナ結社ヲ作ルコトハ、本法ニ觸レナイト云フコトニ歸著スルヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○山岡政府委員 ソレハ債權ト雖モ、所有權ト云フコト、何レノ點ニ於テ區別ガアルカト云フ民法論ハ、少シ變ヘナケレバナラヌト思ヒマスガ、國庫債券ノ如キモノ、債權、之ニ對シテハ私有權ノアルコトハ疑ナイ所デアリマス、又不動産ニ付キマシテモ、或者ガ債權ヲ持ッテ居リマシタ所デ、其債權ヲ否定スルト云フノハ、所有權ヲ否認スル意味ニ於テ否定スルナラ本法ニ觸レマヌガ、單ニ債務ヲ不履行ニシヤウト云フダケノ意味ナラバ、敢テ所有權ヲ否認シタコトニハナラヌノデアリマス、古イ規定ニ於テハ債權ノ不履行ハ犯罪ニナッテ居リマシタガ、今日ノ法律ニ於テハソレハ犯罪ニナッテ居リマセヌ、今日デハ債權ノ不履行ハ犯罪ト認メテ居リマセヌ、隨テ不履行ニナルト云フ觀念ハ進ンデ私有財産制度ヲ認メル意味

ニナルガ、之ヲ否定スレバソレハ別論
デアルト云フコトヲ附加ヘテ置キマ
ス

○禱委員 頗ル不正確デ満足シマセ
ガ、其點ハ止メマス、ソレカラ國體政
ニ關係スル私有財産ノ否認ノ程度
ス、御承知ノ如ク一條ニハ國體政體
變革スル目的ノ如キ、或ハ私有財産
度ヲ否認スル目的ノ如キ、色々ノ事
結社ヲ爲シテ居ル者モアラウト思
ス、是等ノ目的ヲ持ッテ居ル者モ
ト思ヒマス、ケレドモ、所謂今マデ
明ヲ伺フテ見マスルト、根本的ニ於
日之ヲ行ハナケレバ此法律ニ觸レ
ト云フヤウニ聽イテ居リマス、然ラ
繼續ノ意味ニ於テ今日ニ於テ斯ノ
キ目的ヲ持ッテ著々進ンデ居ッテ
謂ハ變革デナイノデアリマス、此
繼續シタル目的ノ下ニ於テ各、別
行動シタナラバ此法ニハ觸レヌ
リマス、其點ヲ明確ニシテ置キ
ノデアリマス

○山岡政府委員 目的トシテ居ッ
今日行ハナケレバ差支ナイノデア
ス、頭ノ中ニ描イテ居ッダケデハ、
變革ヲ現狀ニ於テ行フト云フノデ
ク、客觀的デアリマス、レバ本法ニ
致シマセヌ、然レドモ客觀的ノ全部
確定シテ實行ニ現レテ居リマス、
一條ノ行動ヲスルノデアリマス、
本法ニ牴觸スルノデアリマス

○禱委員 吾々ノ聞イテ居ル所、或ハ色

色ナモノデ見ル所デハ、世界ノ中ニ於
テ猶太人ハ、彼等ノ目的トスル所ハ「マ
ツソン」運動ト云フモノデ、世界ヲ統一
シヤウトシテ居ル、是ハ社會主義ヲ以
テ世界ヲ統一シヤウトシテ居ルノデ、
其爲ニ非常ナ計畫ガアルト云フコト
アリマス、而シテ彼等ハ其中ニ於テ
ウ云フ一條條ガアル、今ノ社會ヲ無
シテ、最大多數ナル勞働者ノ階級ニ政
權ヲ與ヘル爲ニ普通選舉ヲ普及スル、
而シテ之ニ依ッテ君主國ヲ崩壊セシ
テ行クノデアアル、現ニ或ル國ノ如
崩壊セラレテ居ル、單リ唯、日本ノ
完全ナル君主國ガアルカラ、此國ヲ崩
壊セシムルト云フ意味ニ於テ、此一
ノ目的ヲ彼等ガ達スルガ爲ニ、斯ノ
キ手段ヲスルノダト云フ、ソレニハ
多ノ手段ガアリマス、其手段目的ニ
テ日本ニ對シテモ色々ノ手段ヲシテ
ルコトハ、私ガ申上グルマデモナイ
トデ此一條ノ目的ヲ達スル爲ニ、第
條ニ於テ「マツソン」運動ニ參加ス
云フ爲ニ彼等ガ此行動ヲスレバ、本
ニ於テ罰スルト云フ趣意デアリマス
ドウカ、此點ヲ伺ヒマス

○山岡政府委員 此質問ノ所ハ、我國
ガ君主國トシテ存立シテ居ルコトガ
大ナル意味ガアルカラ、之ニ向ッテ
チ本法ノ第一條及第七條ニ依ッテ處
スベキ事項デアリマス

○禱委員 ソレカラ次ニハ六條デア
マス、此自首シタルトキハ其罪ヲ輕減

又ハ免除スルト云フ規定デアリマス、
是ハ頗ル危險ナル規定デアリマシテ、
此爲ニハ「スバイ」ト云フモノモ出
此爲ニ或ハ反對黨ノ方デ多數ヲ以テ
レルト云フ事モ出來ル危險千萬ナ
デアリマス、政府當局トシテハ斯ウ
フモノハ多クハ是ハ政策ト云フ意味
アリマセウケレドモ、之ニ依ッテ非
迷惑ヲ被ル所ノ國民ガアルト云フ
トラ憂フルノデアリマスガ、政府
ハ強ヒテ此六條ヲ存置セラル、ト
矢張御決心デアリマス、カドウカ伺
ス

○山岡政府委員 本條ハ取締法トシ
從來ノ立法ニモアルノデアリマス、
案ニ於ケルモノハ刑罰關係デハアリ
マス、一面ニ於テハ取締ノ關係デア
マス、殊ニ危險ヲ防止スルト云フコ
ガ制定ノ本旨デアリマス、害ヲ生
ズルコトハ成ベク減少シナケレバ
マセヌガ、此規定ハ之ニ依ッテ危險
發ニ防止スルト云フ意味デアリマ
テ、決シテ他ノ方ヲ陷レルト云フ
ナ「スバイ」ノ意味ノ立法デナイノ
デアリマス

○禱委員 先刻モ申上ゲマシタ通
此條文モ十分注意シテ取締ラレヌ
程困ル者モ出來ル、頗ル危險ナ規
アリマス、此儘之ヲ成立セシム
ト云フコトニナルナラバ、之ニ依
ハ善良ナル國民ガ此法ニ觸レルヤ
コトモ出來テ、甚ダ危險ト思ヒマ

ラ吾々ハ大ナル修正ヲ加ヘタイト云
意味ニ於テ、政府當局ノ意思ノ在
ヲ斟酌シテ修正意見ヲ提出スル考
リマス、ソレデ此質問ハ打切ッテ置
ス

○前田委員長 本日ハモウ如何
カ、五時ニナリマス、カラ是デ散會
ウト思ヒマスガ、其前ニ一寸御相
アリマス、理事ノ中谷貞頼君ガ委
セラレマシテ、理事ガ一人闕員ニ
マシタ、如何致シマス、カ選舉セ
スカ、或ハ私ヨリ指名致シマセウ
「指名ヲ願ヒマス」ト呼フ者
リ」

○前田委員長 ソレデハ廣瀨德藏君
理事ニ指名致シマス、本日ハ是デ
シマシテ、明日午前十時ヨリ始メ
○土屋委員 明日ハ内務大臣ニ御
下サルヤウニ御交渉ヲ願ヒマス
○前田委員長 内務大臣ハ明日貴
ニ普選案ガ懸ッテ居リマス、午
差繰レルカ午後ニ差繰レルカ知
スガ、交渉ハ致シマス
○土屋委員 内務大臣ノ御出席ノ
ル時間ニ、願クハ農商務省ノ御
出席ヲ願ヒタイト思ヒマス
○前田委員長 宜シウゴザイマス、
ニテ散會致シマス

午後四時五十一分散會

大正十四年三月四日印刷

大正十四年三月五日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社